

体験文集
Vol.3 秋号



体験文集
Vol.3 秋号





體驗文集

Vol.3 / 秋号

ありがとう、ごめんなさい、ありがとう

愛の半身浴をしながらいつものように肉體細胞に向けて「ありがとう、ごめんなさい、ありがとう」と自分なりに思いを向けた。今日は心に、いつも、いつも肉基準で生きてきた自分が見えてきた。ああ、いつもいつもどんな時もこの思いで、この思いから思いを発してきた。私は間違ってきた。これが間違いのもつた。私は間違ってきた。これが間違いのもつた。肉が前面に出ているとはこのことか……、愚かだと思った。傲慢だと思った。すべてにこの思いで接している。ありがとうから、愛から、まったくかけ離れた自分だった!!!

半身浴を終え、お風呂から出てからいつも付ける洗濯機の上の電気、いつもは点くのに一〇秒ぐらいかかる。遅い、なんで！ あかん、い

つもは散々な思いばかり向けてきた。さすがに今日は、「ありがとう」と思つてスイッチを付けたら、パツと一瞬で点いた。余りの予期せぬ出来事に「びつくりした」を通りこすぐらい本当にびつくりした。エツと、思つて、なんだか自分の胸にしまい込んでしまった。

嘘つ、そんなこと……、
信じられない、まさか……。

しばらくして、恐る恐るまた点けた。やっぱり点く、信じられないけど、本当に思いの世界が生きている。

次の日、また昨日と同じようにして、点けた。やっぱり瞬時に点く。

三日目、今度は念のため主人に確認をした。

「ねえ、洗濯機の上の電気直してくれたん？」

「うううん、なんもいじってないで、なんで

……、どないかしたん？」

と聞かれたので一連の話をした。

エーって主人もびっくりして、あの体験集に載ってた話みたいやなああって、ニコニコ顔で喜んでくれた。夫婦で喜べたのがまた嬉しかった。

今は身近で、色々な体験が出来ることがとても嬉しいです。

ありがとうございました。



とつても温ったかい涙……

朝起きようとしたら、腰のあたりがいつもと違って全体に痛くて、おかしいと思う。

いつもは目が覚めると「タイケトメキチ」って言つて心を愛に向けて、深呼吸をして自転車漕ぎを二〇回位して、手、足のストレッチをしてから起きているけど、今朝はそれどころでなく、横を向いても痛く、ゆっくり、ゆっくり起きて、階段の手すりを持つて降りて台所へ行き、水素水を反転して飲むもうと思つたけど、朝に水素水を作っているの、今は無い。仕方なくドリンク剤を飲んだが、一瞬、「針治療に行かないといけないかな？」って思つてしまう。

ここ半月程、左足や腕等、左ばっかりだるくて、知人が針をして治つた事を聞き、私も一週間に一回そこへ通つていた。

ふつと、「針治療に……」と思つたが、その時、愛の円盤のすごさを思い出した。

椅子に座つて、円盤を痛い所へ当てて、肉体細胞に、「ありがとう、ごめん、ありがとう」と言つて、何分かは覚えていないが当てていた。しかし、以前のようにはずぐには痛みは取れず、それでも治ると信じていた。

……しかし、なかなか治らない。

「今日はどうしてかな？ おかしいなあ、治るはずなのに」とか、いろんな思い（他力の思い）で愛の円盤を使つてきていた事に気付き、「私は間違つていた、間違つていた」。こんな想いで円盤を使つていたのだ。

以前も、びっくりした。これは、すごい円盤だと思つていたけど、まだまだ心から信じてい

なかったのかも知れないと思うと、肉体細胞に、自然治癒力に申し訳なくて、それから、心から肉体細胞に向かって、「ごめんなさい、本当にごめんなさい」って言って円盤を痛い所へ順番に当てていると、だんだんと痛みが無くなってきた。

私はそれから数十分、肉体細胞、自然治癒力、本当の自分（愛）に心に向けて「ありがとう、ありがとう、ごめんなさい、ありがとう」と心で言い続けた。

肉体細胞、自然治癒力、愛（本当の自分）は、どんなときも、全く同じように愛のエネルギーを私に流し続けてくれていたんだ。

この私の腰の痛みは「どうして痛くなったのかを分かってほしい」と気づかす為に、愛のエネルギーを流してくれていたんだと思うと、涙が止まらなく出てきて、「ああ私は間違っていた、針とかを私の肉体細胞に打つことは反対の

事をしていたんだ」とも気づいた。

「本当にごめんなさい、ごめんなさい……」

涙が止めどもなく出てきて、いつのまにか「お母さん、ありがとう、お母さん、ありがとう」って勝手に言っていました。

その涙はとっても温かくて、ビックリしました。こんな涙は初めて経験しました。

嬉しかったので書かせていただきました。ありがとうございました。



蜂の一刺し

六月のある日、蜂に刺されました。

庭のベランダにある鉢植えの春の花が咲き終わり、今からの花に植え替えることにしました。その鉢の中に宿根性の草花があり、まず、その根を庭に植え替えることにしました。植え替えが終わりに、最後の整地をしていた時です。右手の薬指の第二関節外側に激痛が走り、虫に刺されたとの思いで、払いのけました。

黒い小さな物体が飛んでいきましました。それまで、虫に気が付きもせず、威嚇いかくもしなかつたのですが、突然の出来事です。もちろん半分ゴムの手袋（表はゴムで外側は布製）はしていません。布の上から刺されたのです。黒くて蜂としては小さい虫でした。くまん蜂や足長蜂ではありません。後からインターネットで調べました

が、蜂を詳しく目視していませんでしたので、わかりません。

この時期、くまん蜂や足長蜂は我が家の庭を常時飛んでいます。我が家はそれらを追っ払うこともなく、共存していこうとの思いで生活しています。先日、普段使いのものを置いていた低い場所に足長蜂が巣をつくり、困ったもので、悩みに悩んだうえ、やむなく撤去しました。それが今回につながったのでしょうか。

昔、蜂に刺されたことがあり、その体験はしていますが、今回はかなり痛い感じでした。すぐに医者に行かなければとの思いもありました。すぐに手袋を取り、皮膚をつまんで中の液体を出そうとしましたが、液体や血液が目に見えません。部屋に戻り、純水で流し、そのあとす

ぐに水素水で流し、それと並行して家内に水素水のついた脱脂綿（「酵母くん」も数滴たらし、Kさんに教えていただいたもの）を準備してもらい、バンドエイドで患部に貼り付け、愛の円盤の上に手を置き、置いた手の上に水素水を付けたハンドタオルを置き、田池留吉に心を向けながら三十分ほど経過を見ました。

その時点で、やっと「蜂に刺された心を見なければ」と、家内と話しながら、どんな思いで作業をしていたか、今まで蜂にどんな思いを向けていたか、家内に対してどう思っていたかなど自分なりに心を見ていました。刺されたことを嫌うこともなく、心を見ました。

だんだんと痛みが取れ、不思議な体験をしたものです。腫れてもきません。痛みがほとんどなくなり、二時間後にはバンドエイドをそっととりはずしました。ごく小さな水ぶくれのようなものがありました。全く生活に支障がありません。蚊でもあれだけ腫れるのに、不思議な



体験をしたものです。
今度は蚊に刺されたとき、水素水と愛の円盤を使ってみたいと思っています。

たくさんの自分と語りたい

ちようど、六月の有馬セミナー一日目でした。頭が痛くて、気分が悪い。セミナーに集中できず、終わった途端にベッドへ横になり、気がつけば、セミナー二日目の朝九時。もやもやしたまま、二日目のセミナーに参加しました。終わった後もすつきりしなかつたので、どうしてなのか自分に聞いてみようと思いました。そして、頭に愛のプレートをあてて、思いを向けてみました。「苦しい。苦しい。苦しい。苦しい。私の思いを聞いてくれ。苦しい。苦しい。私の思いを聞いてくれ。こんなに苦しいと言っているのに、私を見捨てる気か。苦しい。苦しい。」

どうして、あなたは苦しんでいるのですか？

「私は、約束を守らなければならない。守らなければならぬ。でない、またひとり。一人になってしまふ。あの苦しみはもう味わいたくない。今まで築いてきたものが全て崩れてしまふ。苦しい。苦しい。苦しかった。ずっと、ずっと苦しかった。苦しかった。語ることができない。なんて。語ることは裏切りだと思つていた。苦しいなどと言えない。苦しいなど言つてはならない。私は苦しくなんかない。そう言い聞かせてきた。でも苦しい。苦しいぞ。苦しい。苦しかった。」

あなたは、どうして苦しいと言えなかつたのですか？

「苦しいということは裏切り。裏切ってはならない。裏切るということは、また一人の世界になる。それが怖い。怖かった。私はそれが怖かった。怖かった。怖かった」

あなたは誰を裏切るのですか？

「それは……神です。私は神に生かされている。神こそ素晴らしい。神は存在する。だから、私はそれに逆らうことが怖いんです。」

あなたの神とは何ですか？

「アマテラス。アマテラスは素晴らしい神として、私の心の中にあります。アマテラスは素晴らしい。素晴らしい。素晴らしい。」

衝撃でした。私は、神は存在しないと思っていたのに、自分で素晴らしいと語っていました。

しつかりとありました。衝撃と同時に、やっばりそうかという感じもしました。ふと、少し前に、自分の生活をしているところに思いを向けたときの思いを思い出しました。

「アマテラスを思ってください」、その時は、自分とは別のもののように受け取っていたけれど、自分自身のアマテラスのことだったのかな。

自分自身に「苦しかったね。一緒にお母さんを思おう」と語りかけて瞑想しました。涙がいっぱいあふれてきました。お母さん。ありがとうございます。私はどうしても真実が知りたかった。

たくさんの苦しい自分を、母の温もりで包めるやさしい自分になりたい。そう思いました。その後、頭も軽くなり。うれしくなりました。ありがとうございます。

愛の水素水

愛の水素水、楽しいです。

今までは二年ほど前に宝珠さんから買った機械の方で作っていました。この間の先生のお話を聞いてからは、赤い「2007」を使って作り始めました。

朝食後に作り始めて、二回目までは夫婦で飲んで、後はタイマーを掛けながら時間を倍々にして、その間は瞑想をしたり、家事をしたりしながら進めて、そうしていると午前中の時間がなんだか楽しいというのか、嬉しい時間になりました。きつといつも愛の水素水というのが、自然と田池留吉に心が向いていくのかなあって……、そうしていると、五回目が終わってもまだ出るのです。

三秒間隔ぐらいで水素が出てくるので、先生

は六回目はるくでもないと言っておられたのですが、今日は六回目も作っています。

これは植木にあげたり、熱帯魚にあげたりしようと思っています。一時間たった今でも、七秒間隔で水素が出ています。なんだか楽しいです。

何かにつけて、肉の打算ばかりしている自分は本当に愚かですね。結局はすべてが肉基準で、その中から抜け出していない自分を感じます。違う、もつと違う何かがある。そんな体験を身近な体験から学ばせてもらっている、そう感じます。欲の皮が突っ張ってどうしようもなかったけれど、今はどんなに小さな体験も、とても大切なものだと感じています。

ありがとうございます。

電池式の置時計

一年ほど前に電池を換えても動かなくなってしまう時計。捨てるには忍びなく、そのまま放置していました。今日、例のごとくそうだ！愛タッチをしてみようと思つて、まずはほこりを拭いて、新しい電池を入れて、時計のオンオフのスイッチを二、三度入れたり切ったりしていたら、すっかり動き始めました。

これは愛のエネルギーと言うよりも、この肉体的な作業によつて動き始めたのかもしれないけれど、それでも、愛タッチをしようと思つたきっかけで起きた現象。

今は台所に置いて、コチコチコチと一定のリズムで聞こえてくる秒針の音がとても心地良く優しく、台所がもう一つ嬉しい場になりました。一つひとつ家にあるものと、調和が取れていく、

仲良くなつていくようで嬉しい。

それでもう一つ、キッチンバサミもやつてみよう……。よう……。よう……。

予期せず、主人がキッチンバサミを買つてきた。手にしてすぐにこんなじゃないのが欲しかった。キッチンのは私は任してくれればいいのに……。使つたら重いし、切れ味もいまいち、もつといいのがあるのになあ……。使い始めてしばらくしたら持ち手のゴムが外れ、何度元通りにしようとしても、すぐに外れてしまうのでそのままにしていた。

今日取れた持ち手のゴムをきれいに洗い、愛タッチをして、元の位置に戻した。きれいに収まっている。あんなにイライラしてたのに、愛おしい思いに変わつてる。ありがとう。

円盤に乗り物酔いの薬をのせました

今月八日から二泊三日、娘の修学旅行がありました。

娘の最大の難関は、極度の乗り物酔いです。

ひどい時はものの五分も車に乗っていただけ、途中で降ろしてもらい、歩いていくことも度々。

おごと温泉から出る送迎バスのホテルまでの距離さえもたず、行きで辛い思いをした娘は、帰りは、炎天下、おごと温泉駅まで父と歩いて帰りました。私だけバスに乗って、駅で待ちました。

今回は、定番の京都奈良で、バス巡りはもち

ろん、班別にタクシーも用意されていました。

薬は、まったく飲まない生活をしている我が家ですが、この時ばかりは、「酔い止めを買ってきて」ということで、薬局で子供用の比較的小さいものを買ってきました。

今までも服用したことがありますが、薬程度で安心できるレベルの乗り物酔いではなく、気休めというか、何もしないよりは、という程度で、相変わらず酔ってしまうことには変わりありませんでした。

今回、酔い止めの薬の箱を円盤の上に乗せてみました。娘はオーリングを私とよくやってく

れます。のせる前は、柔らかく、のせた後は「硬い」と確認することができました。

それでもリュックにはどっさりどエチケツト袋をつめこんで、送り出しました。

行ってしまえば私も羽を伸ばし、そんなことも忘れていましたが、昨日、帰ってきて開口一番、玄関で言った言葉は、

「お母さん、聞いて、聞いて！一度も酔わなかったよ！」

……よっぼどの事だったようです。嬉しさいっぱい帰ってきました。なので、移動先の食べ物みんなおいしく頂けたとのこと。

バスが楽しくて、みんなが降りて見物するのに、まだまだ乗っていたかったぐらいだったとも。

私は「すごいね！」と言いました。

乗る前は緊張して、車の匂いを思い出したりして、少し気持ち悪くなりかけた時、「反転したんだよ」と。

彼女なりに、色々やっていたようです。途中でも、「あつ、そろそろ来たかな」というときに「反転」って思ったようで、そうしたら、「あれ、大丈夫じゃん。まだまだいけるかな」とかなんとかやっているうちに、どんどん様子がいつもとは変わっていったようです。

結局ビニール袋は一枚も使いませんでした。

ちなみに、十四歳は一回にふた粒飲むものですが、一日目はふた粒、二日目は一粒、一番きついタクシーにのる三日目はふた粒、二泊三日で五粒だったそう。

こんなにご機嫌で、快適に乗り物の移動時間を過ごしたことはなかったようです。

ありがとうございました。

娘に、「言った通り書けている？」と文章を
読んで確認してもらったところ、オーケーが出
ました。

「でも、円盤にのせたからかどうかは分かん
ないけどね。反転したからなのか……？も分か
らないけどね」と、半信半疑といった感じ。

ただ彼女なりにやっていただけで、実感はな
かったようです。

最後に一言、

「……楽しかったから酔わなかったのかもし
れない」

とかなんとか言っていました。ま、結果オー
ライですかね。良かった！



たばこが軽くなった気がする?!

いつもお世話になっております。

勉強していない夫が喫煙するので、干支のカードの上にたばこを載せてから吸うと軽くなった気がする」と反応がありました。

これを機に夫とも、もつと干支のカードを利用して心を見ていく勉強をしていきたいと思いました。

ありがとうございます。

それからこれは干支のカードは関係ないので、夫と「子供をもう一人もうけるかどうか」の話を東北瞑想会の後にしました。

本当に産まれてくれたということは凄いことだと感じるとともに、自分たちの采配で子供を

持つかどうか決めようとしている、その自分の偉さに気付かせてもらいました。

先生が「己が偉すぎて、偉いことも分かってない」と仰っていました。本当にその通りだと思いました。

自然に、逆らって、逆らって存在し続けてきた自分でした。

本当に学びに出会えてよかったです。沢山の自分とともに喜びに帰っていききたいです。

ありがとうございました。

ジタバタしなくて良かったんだ！

今回のセミナーでの指を合わせるお勉強、前に出たい、指を合わせて貰ったらどれほどの凄い世界を感じられるのか？ 欲一杯の思いが反対に自分を前に出るので押し止めた。そして、その事を思い切れないまま帰宅した。

そうだ、私には愛のカードがある。これを体に付けければ同じ事なのでは？ と思い立ち、早速カードをファイルに挟み形を丸く切り、端にゴムを付けた。ちよつと嵩張るけど服の下に入れば大丈夫。これで何か変わるのかな？ 嬉しい気持ちで実験を開始しました。

かといって、そんなに直ぐに何かが変わるわけでもないと思ってました。

ところが、何となく何時もの会話がスムーズ？ 面白くなり、極力何時ものように振る舞

うようにしました。相手からの反応が柔らかい。これって、私の波動が変わったから反応が変わったのかな？ 次に、私のつまらない冗談もギクシヤクなく受け入れてもらえました。何かトラブルがあっても何が原因なのか分からないう事が沢山ありました。言葉、行動どんなに考えても何がわるいのか分からなかった。それは、やっぱり私の波動が原因だったのか？ ハッとしました。理屈ではないのです。あれだけの事が起こるにはどれだけの凄い波動を流してきたかということでした。頭では自分の思いが自分の目の前の事を現象化させていると分かっている、私はそれを本当には認めていなかったんだ。言葉、行動は昨日までと同じなのにこの違いに驚く他ありません。ドキドキと嬉しい気持ち

ちで一日が過ぎ、明日はもう少し挑戦することにしました。

いつもならこの領域は機嫌を損ねるので、手を出さない事してみました。

ごく普通に、当り前のようにはしてみました。なんでもなくすつと過ぎました。又、他の事にも挑戦しました。今度は、機嫌を損ねるところからお礼を言われました。

三日目も挑戦しました。

相手から流れる波動を苦しく感じる場面もありましたが、それも、今まで私が流してきた波動が原因なのだろうと、ただ私は愛に、田池留吉に心を合わすだけ、それだけで良かったんだ。ジタバタなんてしなくて良かったんだ。そう思えました。すると心も軽くなりました。

愛のカードが嬉しくて。ちょっとごわごわするけれど、何にも気にならない位嬉しくて。

有り難う、愛のカード。田池先生、有り難うございます。そしてUTAブックさん、有り難

うございました。



愛のハンカチは波動を送る

私は昨日の夕方から急に鼻声になっていた。自分でも「うん？鼻声かな」と思っていました。

まあ、そんなに酷くならないだろうからと、そのままにしておいたのです。ここで肉体細胞さんに思いを向けて、自分のこころを観ればいいのですが、そのままでした。

夜、学びの友と電話で話をする機会がありました。するとすぐに、「鼻声だね。早く思いを向けて！愛のハンカチをマスク代わりにして、寝て。」と言われました。

私は「ハッ」としました。自分に、そして肉体細胞さんに冷たかったのです。

仕事中に感じていたのです。帰宅する時にも寒気を感じていたのです。

分かっているのに、知っているのに、知らんぷり。

自分は「以前と違って体質が変わった。冷え症になった」「汗が出なくなつた」「代謝が悪くなった」と思い込み、嘆いているだけでした。

これではダメなのです。すぐに思いを切り替えました。

愛のハンカチに思いを向けました。内なるタイケトメキチにこころを向けました。そして肉体細胞にも「ありがとう。ごめんね。ありがとう」と言いながら、たまごで身体をさすりました。

そして、昨晚、愛のハンカチをマスク代わりにして寝たのです。

どうでしょう？

朝、起きたら鼻声はすっかり治っていました。愛のハンカチから愛の波動を頂きました。またも、肉体細胞さんから愛で気付かせてもらいました。

私は愛です。



わたしの意識が愛に目覚め始めました — 内なる愛を感じる喜び —

三月のセミナー参加後から、本格的な学びが始まりました。

規則正しい生活、朝晩の瞑想、そして瞬時、瞬間にタイケトメキチに意識を向けることを心がけてきました。

日々、瞑想。

お休みの日は、瞑想三昧となります。日々の自分のところを観ることも大分、馴染んできたようです。

共に学ぶ友と交わすメールで、日々、それぞれに、内なるタイケトメキチにところを向けて、その時の心で感じた事を言い合うと、共通する意識を感じ。私はあなたであり、あなたは私であると感じる日々……

まさに鏡であると思えてきました。

ふたりで学ぶことににより、自分の中心棒からのズレにいち早く気づくことができるのです。

動機の修正も欠かせません。

肉と関わっている以上、少々ズれることは、頻繁に起こりますが、いかに早く、最小のズレで留めるか、これが大事なんだと気づきはじめてました！

ふたりだと、その点が上手く行くんだなと感じていきます。

今、大いなる意識が、私たちの意識が学びにいきないます。

意識は繋がって流れています。

学びを通して瞬時瞬時に、タイケトメキチに

想いを向けています

日に何時、タイケトメキチを呼ぶでしょう
か？

タイケトメキチに想いを向けることが喜びに
感じられることに気付きました。



いつのまにか治ったね

人間ドッグでひっかかった肝臓の超音波検査行ってきた。秋田の病院からたまに指導に来るらしい有名な先生が、検査してくれる日に当たりました。

ギャラリーがいつばいで見世物のようでしたが、後日かかりつけの女医の先生に診察してもらおうと思っていた大きくなった筋腫も超音波で診てくれて、「手術の必要はない」と言われひと安心でした。

女医の先生には手術をすすめられていたのですが、もう手術したくなかったのです。総合病院の肝臓のドクターはお正月に施設の利用者さんが激痛を訴えて私が救急科に連れて行った際に担当した人で、はじめは感じがよかったです。

ですが、ノ口かもしれないことを所長に報告し、所長は病院に入院するように頼んで言うので仕方なく看護婦さんに頼んだら、そのドクターに冷たいことを言われてカチンと来たことがあったのです。

それが、今日は一転して「お待たせしました」と言うのです。検査代は高いですが有名な先生に診てもらえてラッキーでした。手術しなくていいと言ってもらえて良かったです。肝臓のしこりも大丈夫でしょうとのことでした。

うちの家は古いのですが、台所やお風呂場はリフォームしまして新しめなのですが、台所のシンクの蛇口を止めても水がポタツポタツと落ちていたのです。

昨晚、母親がいつのまにか治ったねと言うので、思い出しました。

水道水の実験が効いたのかもしれない。その調子で体を治せと言われましたが、体ではなく意識を転回するのだとようやく思えました。



愛の円盤の体験談

私は、便秘に長い間、悩まされていました。いつの頃からか辛い時には漢方の便秘薬を飲むようになり、漢方でも薬を飲み続けることは良くないと思いつつも、薬になりたい一心で、一日一錠を常用するようになりました。しかしながら、薬を飲んでも、いつも、いつもスツキリという訳にはいかず、どうにか楽になるという状態でした。少しでも生活環境が変わると、例えば、セミナーに来た時はほとんどの場合お持ち帰りでした。便秘状態が続くというのは本当に辛いもので、セミナー最終日にはお腹が張って食事も入らなくなります。同室の友達にいつも便秘の辛さを訴え、友達からは、友達の愛猫の（便の）量よりも劣っていると笑われていました。

そんな私が、水素水を飲み始めてから何となく良い感触を得てきました、そろそろ便秘薬を減らしてみようと、一日半錠にしました。お通じの状態は一錠の時も、半錠の時もあまり変わりませんでした。半錠でも大丈夫だ、水素水のお蔭だと思いました。

三月のセミナーで愛の円盤をいただいてからは、愛の円盤の上に水素水を入れたカップを置き、田池留吉に心向けて飲むようになりました。しかし、依然として私のお腹はスツキリ感がなく、相変わらず薬無しでは辛いという状態が続いていました。

四月の後半でしたか、いつもの通り田池留吉に心に向けて水素水を飲んだ時に、ふと「私は

田池留吉を信じていない」という思いが伝わってきました。

そんなはずはない！反発する思いが出てきました。薬は良くないと思いつながら、なぜいまだに半錠を飲んでいるの？良くないと思うのなら、なぜスパッと止めないの？心の向け先はどこ？田池留吉？私は本当に愛の水素水を飲んでいるの？

一瞬のうちにいろいろな思いが出ました。そうです。その通りです。私は間違っていました。本当に間違っていました。私は愛の水素水ではなく、ただの水素水を飲んでいました。心の向け先が全く別の方向に向いていたのです。水素水を飲めば良くなるという結果を求めての他力の思いでした。なぜ薬をスパッと止められなかったのでしょうか。田池留吉の愛のエネルギーを信じていないからです。もし止めたら苦しくなるだろう、辛いだろうという不安の思いの方が勝っていました。全く肉、肉の愚かな私でした。

その日、薬を飲むのを止めました。そして、水素水を入れたカップを愛の円盤の上に置き、田池留吉を思いながら、愛の円盤から流れる愛のエネルギーを信じて飲みました。

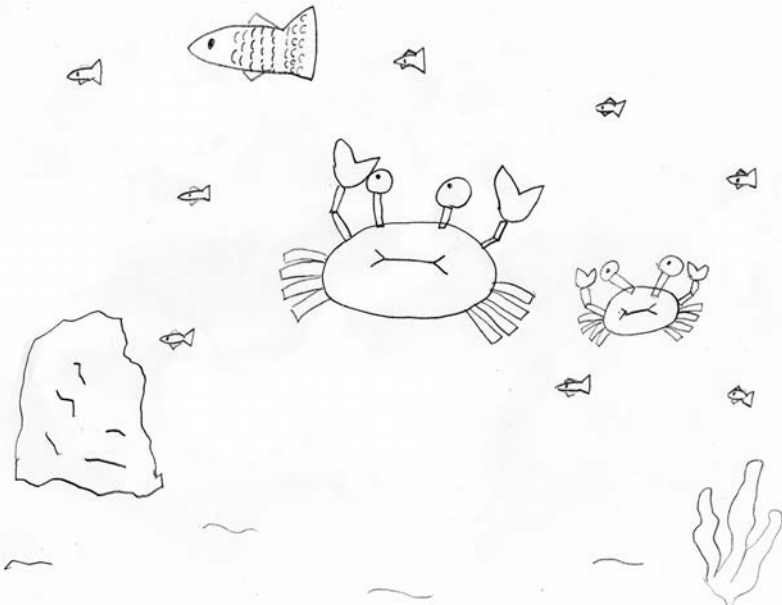
翌朝、なんとお通じがあつたんです!! 驚きました。奇跡がおきたようでした。嬉しくて嬉しくて。薬なしでお通じがあつたなんて何年振りでしょう。十数年、飲み続けていたあの薬は一体何だったのでしょうか？

それ以来、薬はきっぱり止めました。そして愛の円盤から流れる愛のエネルギーを信じて愛の水素水を飲んでいきます。たまにはスッキリしない日もありますが、お通じは毎日あります。便秘解消、悩み解消です。こんな嬉しいことはありません。

尾籠びろうな話で終始しましたが、便秘という現象

を通して肉体細胞は、私に間違いを気づかせてくれました。田池留吉を信じる、思うことがいかに大切であるか、そして、心の向け先をいつも確認しなさいと教えてくれました。肉体細胞さん、ありがとうございます。ごめんね。ありがとうございます。

愛の円盤から流れる愛のエネルギーを受けるも遮るも、すべて私の田池留吉を信じる心ひとつです。田池留吉を信じていこう。田池留吉の愛のエネルギーを信じていこう。改めてそう思わせてもらった体験でした。ありがとうございます。ました。



愛の円盤を使って米作り

五月、田植えが始まりました。去年までは夫と義兄でやってきた米作りですが、今年からは数を増やして私達夫婦で作るようになりました。

苗植えは機械ですが、カーブしている所や狭い所は手植えでします。

孫の手で田んぼの水をかき混ぜながら、オーリングテストをして植えていきました。

苗を植え付けると水管理が重要になってきます。棚田という地形での米作りは水が上から下へと流れていくようにしてあるので、下の方まで水が流れていくように気をつけていくことが必要です。

ある日、田んぼに行くと、下の方の田んぼに水が少なくなっていました。雨がずっと降らなかったのです。少なくなった水の中に円盤を入

れました。稲に「頑張ってね」と言いました。

そうしたら、なんと次の日に雨が降ったのです。愛のエネルギーの注入で稲は元気になってくれるかな、とは思いましたが、まさか雨が降ってくれるとは思いませんでした。その次の日からは、また晴れの日が続いたのです。

雨が棚田がある地域に降ってくれたこと、必要な量だけ降ってくれたこと、驚きました。

必要なときに必要なだけエネルギーは働くのだと、天気まで変わっていくことに、この体験は愛のエネルギーの存在を信じるしかありませんでした。

七月、大きくなり始めた稲の雑草取りに行きました、円盤を水の中に入れました。オーリングテストをして固くなったことを確かめなが



ら、稲に小さな青蛙あわがえるがのっついて、可愛かったです。

ぬかるみに足をとられながらおたまじやくしやアメンボ、鳥の声、蝉の音、こんなにうれしくて楽しい米作りができるなんて、ありがとうございます。

義兄の田んぼが私たちの田んぼの下にあるの

で、円盤を使った米とどのような変化がおきるのかを確かめることにしています。

セミナーに来てくれる回数は少ない夫ですが、オーリングテストをしてくれて、自分でも驚きの体験をして、夫婦で学びの話しができることがとてもうれしいです。

ありがとうございます。

愛の円盤を使つての体験

一、ある日の夕方、食事の支度をしていて、手首に痛み感じながら手を使っていると、だんだん痛みが増してズキズキしてきました。

手首をさすったりしながらしていましたが、
“ああ、そうだ愛の円盤をと” 思つて、円盤を痛いところに当て、タイケトメキチを思つて、肉細胞 “ありがとう、ごめんなさい、ありがとう” と何回か繰り返ししました。少しして、スーッと楽になり食事の支度が出来ました。

円盤に愛がありがとう、ありがとうと言いました。今も痛みは出ていません。

二、七月のセミナーから帰つて間もなくの事、お風呂に入ろうとして気が付きました。両足が

かなりむくんで、足の甲も少しむくんでいました。(夕方何だか足がだるいなあと思っていた。)

愛の円盤を沈めたお湯で、ゆっくり半身浴をしながら、タイケトメキチを思つて瞑想をしました。時々足首がむくんでいるなど思う時があります。円盤を入れたお湯で、ゆっくり半身浴をしていると、お湯から上がるときにはむくみが引いて、吃驚きつぱきょうだったんですが、その日はややむくみは少なくなりましたが、すっかりしませんでした。翌日もやはりむくみが残っていました。

朝瞑想をしていて、ここしばらく塩気の多いものを食べていたことに気付きました。それで腎臓に負担がかかって腎臓の働きが弱くなっていたのかも、と思いタイケトメキチに思いを向

けて、愛の円盤を左右それぞれの腎臓に当てながら、“肉体細胞に負担をかけていたなあ、ごめんなさい、ごめんなさい”の思いを流していました。

一時間ほどしてトイレに行きました。不思議なこと通常の二倍、三倍もの量の尿が出たのです。でも不思議でも何でもなかったんですね。円盤の愛のエネルギーでした。愛と思い、嬉しくなりました。円盤の愛、しっかり信じられます。嬉しいです。

それから頻繁にトイレに行き、夕方には殆ど元の状態に戻りました。

愛の円盤に、心からありがとう、感謝です。いつも円盤を見ると嬉しくなります。これから食物にも気を付けて、肉体細胞に負担をかけるないように肉体も大切だと思います。有難うございました。



胃下垂を元に戻す体験

14年6月18日 夜

愛の円盤と五回目に出てきた水素水を愛のハンカチに浸して、現在、胃下垂がどの様な状態か確かめました。

そけいぶ、下腹部、手は中まで入りますが、胃袋は下腹部で留まっています。お腹が少し硬いです。

- 1、胃の上に水素水で濡らした愛のハンカチを置く。
- 2、胃の真下に愛の円盤を置く。
- 3、田池留吉に心を向けて、胃に思いを向ける。ありがとう、ごめん、ありがとう、田池留吉に思いを向けて瞑想。
- 4、終わってから又確認しました。
- 5、エエ!! お腹がとても柔らかい。胃袋の

下に横にした四本の指が指入る。確りしつかと上がつている。凄い。直立して立ってみた。背筋が伸びているようだ。三面鏡の前で、合わせ鏡で確認。凄い、背筋がくつきりと筋が通り、姿勢が良くなっている。ビックリです。こんなこと考えられません。目の前の現実に本当にビックリ、信じられないけれど本当に現実です。自分で体験させて頂いているのです。一体これはどういう事なの。愛の円盤と水素水で濡らした愛のハンカチ、田池留吉、胃袋の肉体細胞に向けて瞑想での結果です。

何と凄いこと！ビックリ、驚きを通り越していました。

- 6、次の朝、背中が真っ直ぐな気がする、お

腹は引つ込んでいる。凄い、もう一度背中を写してみる。背筋が伸びてくつきりと筋が入っている。凄い、凄い、何と凄いなだ。こんなに凄い現象は、初めてです。本当にビックリです。何も言う事などありません。驚きです。

(私は、胃下垂あげ、沢山やってきました。簡単に手技で上げられます。但し、其の前に下準備をしてから仕上げに一分までかからなくて完了です。但し胃袋を支える力の無い人は、立って時間が経つと胃は下へ下がってしまいます。私もその一人です。)

14年6月19日

(檀原の勉強会終了後)

もう一度体験したいと思いました。愛の円盤二個と水素水に浸した愛のハンカチ一枚。
檀原の勉強会終了後に直ぐ実行しました。

やり方は全く同じです。追加したのは、愛の円盤を胸の上にも置きました。

田池留吉に心を向けてから、胃の肉体細胞に思いを向けて、ありがとう、ごめんなさい、ありがとう。田池留吉に思いを向けて五分くらい瞑想をしました。

確認しました。お腹は、一回目の昨夜よりも、もっともつと柔らかい。赤ちゃんのお腹のようになりました。びつくり！驚きです。

これは凄い、驚きを通り越して言葉もでません。

胃袋は考えられないくらい上にあがっています。胃袋は腸骨と腸骨を結んだ線上、正常な位置に戻りました。お腹に手を入れると背中まで届きそうです。スカスカにすいています。立つて姿勢を確認、背筋が伸びてくつきりと線が入っています。

(私は背骨を理科の実験室に在る人体骨格模型の通りに、元々通りにする事が大好きです。こ

の技術は誰にも教えてもらっていません。沢山の背骨の歪んだお客さんから、必要に迫られて思考錯誤して出来た整体です。胸椎の一番から一二番までと腰椎一番から五番までと仙骨、尾骶骨の先までの矯正です。これだけは、沢山のお客さんから学ばせて頂いた何処にもない治療方法だと確信してきました。

本日の体験、もうビックリも通り越して、凄い、凄い、本当に凄いことです。

田池留吉のエネルギーって本当に凄いですね。これこそ本物です。私は、田池留吉に脱帽です。もう、全て降参です。

私は間違ってきました。田池留吉を見下してきました。余りにも己が偉すぎました。私は肉で出来ないことなんか何もないと豪語してきました。

余りにも己が偉すぎました。ちっぽけな事で誇って奢って現してきました。本当に、本当に申し訳ございません。肉で頑張ることの愚かさ、

私は余りにも、余りにも傲慢でした。己が偉くて、偉くて、余りにも愚劣極まりない心癖を培い、使い続けてきました。

肉体細胞は本当に素直だと思いました。それに比べて、肉の私は、程遠いです。

田池先生、未だかつて体験したことの無い、物凄い、言いようのない体験をさせて頂きました。チャンス頂きありがとうございます。本当にありがとうございます。

ずーっと長い間、反抗勢力をやり続けてきました。もう何もかまなくり捨てて自分のために生きていきます。貴重な体験を糧として、自分の心を見ることを確かりとやっています。

田池先生、本当に、本当にありがとうございます。

私の干支えとは、辰とです

先生の講話中、愛の円盤が無いことに気付く！

第二二回セミナー二日目の昼食時に使った愛のカードを、テーブルの上に置き忘れてきた！

講話そつちのけにして、二回三回とカバンの中を探すが、やはり無い！

ショック、ショックで、講話が耳に入りません。ショック！

ふと、我に返り、問う。

「愛の円盤と、田池留吉の講話とどっちが大事ですか？」

「どっちも大事だけれど、今は講話です。」

ということではし忘れるが、休憩時間となると一目散にUITA会の方に「届きましたなら、

私のですので宜しくお願いします」という旨を伝えていました。

購入してから、いつも一緒だったということもあり、愛着がとても強かったことに気付きました。

私の干支えとは辰とです。絵の具合といい、配色といい、とても気に入っています。色、形への拘り、「私の物」という執着心は天下第一品!!です。

私は、その私をないがし蔑ろにしていました。

「これから、どんな現象が起ころうとも、あなたは真実に心向けられますか？」と、問われます。

「わたしは愛 あなたは愛 ひとつ」を確立していく道、半歩でも一歩でも、愛のグッズに頼ることを少なくして、歩を進めて下さいとい



うことだったのですね。

私の辰の愛の円盤は、また何処かで仕事をしているのでしょうか。

三日目最後の休憩時間だったと思います。

背後から優しく肩を叩いて下さる方に振り向くと、お願いしていたU T A会の方でした。

「帰って来ましたよ」と、辰の愛のカードを差し出して下さっていました！ 諦めていました。驚きました！

とってもうれしかったです。届けて下さいましたU T A会の方ありがとうございました。

これからも辰の愛の円盤、愛のグッズ達は、沢山、たくさんのお付きを伝えてくれることを楽しみに、私は元気に学んでいきます。ありがとうございました。

付「愛のバスタオル体験談」

学んでいない夫に、バスタオルを枕に包んで愛用させています。

愛のバスタオルを愛用する前は、蓄膿症でもないのに、就寝中にだけ鼻汁が流れ出て、タオルを汚していましたが、十日もしないうちに全く流れ出なくなっていました。

それ以来、今も全く流れ出ていません。

夫に確認してみると、「ア？ アア！」それが返事でした。

私は、U T Aの輪の文字が表に出ない様に隠して枕を包んでいたのに、夫が自ら枕の真表に、U T Aの輪の文字を出して包んでいました！

私が夫を、U T Aから遠ざけていることは分かっていたが、再確認させていただきました。

半身浴と、愛の水素水

半身浴を始める前の体の状態は、湯船に浸かっても汗など出ませんでした。

学びに集うようになり、半身浴をするようになり、五分位で額から汗がぽたぽたと流れるようになっていました。

そして、今年の一月末に水素水を飲み始めました。

水素水を飲み始めて一週間くらい経った頃に、湯船に入って一〜二分で額から汗がポタポタと流れるようになりました。

これは！と思いました。（第一の変化）

一か月も経たないうちに、足の裏がなんだかスルスルする様になり、顔の皮膚もツルツルになってきました。（第二の変化）

そして、二か月位になると、内臓が柔らかくなってきました。

私は、色々な理由で四回も開腹手術（内二回は帝王切開）をしていたので、多分、癒着やらでひどい便秘症でした。

便が出ずらく、まともに出たのは何カ月前かしら……という位。

ほとんど正常の便通ではなく、いつもその事があり、苦しかったです。

又、肝血管腫があり、五ミリだったものが七ミリに大きくなっていったという心配もありました。

人間ドッグには年に一回行っていましたが、お医者さんによると、「ありますけれど、そう心配する大きさではありません。」という事でした。

セミナーで田池先生のお酒の話があっても、「まあまあ、少し位」とやっています。でも、また二度目にお酒の話を聞いた時に、きっぱりとお酒を止めることができました。

しかし、お酒を止めたからと言って肝臓の硬い感じはなかなか治るものではないな、と思っています。

ところが、水素水を飲み始めて二カ月位から、内臓やお腹にメスを入れた時の跡の奥の方で硬い感じが無くなりつつありました。

肝臓のあたりに、しこりのようなものが奥に確かにコリコリとあったのです。それが見当たらなくなっているのです。

お腹の中全体が、柔らかくなってきているのです。(第三の変化)

そして、三月のセミナー（UTA一九回セミナー）の時に、宇宙に向けての瞑想が初めてされた時に、前に出させて頂きました。

奥の奥にしまいこんでいた、固くて重い思いが、一気に出てきました。

ものすごく大きな声で、自分の体をつんざくようなエネルギーでした。

私はとにかくありったけの力で叫んでいたと思います。

宇宙と言われて、なんであんな風になったのか、肉の私にはよく解りませんでした。

でも、私にはまだ最初の一步が踏み出せていなかったのだと思いました。

そしてあのような態度でも、中では、「間違え続けてきました。ごめんなさい。」の思いでした。

帰宅後、翌日から毎日快便が始まったのです。(第四の変化)

それは、嬉しかったです。

半身浴と、水素水を飲んで、そして毎日瞑想をして、「準備が整った」というGOサイン！

宇宙と言われて「大丈夫だから出てきてもら
ん」という感じだったのかと。

あれだけの内臓の硬さと、手で分かるしこり、
閉塞しかかっている腸を硬い便が通過するとき
の激痛。

それが今は何も無く、

内臓の柔らかさ、色、動き方の変化。

「今までありがとう、今までごめんね」の思い
が、ふっと出てきます。

ただ、素直に「はい」とやってみなさい。

その優しい言葉を信じて沢山の体験を頂き、
信じずにはいられないと、愚かな肉も頷いてい
ます。

「伝えていただいて本当にありがとうございますま
した。」

円盤の絵がニツコリ笑っていた

セミナーで、前に出て指に触れる現象をしている人達がとても羨ましくて、

「ああ私もして欲しいなあ、いいなあ」

そんな思いばかり出していました。

二日目の午前中、どうしても自分もやってみたくて、友達に「一緒にやってみよう」と頼みました。愛の円盤を持って、田池留吉に心に向けて指を触れてみました。

嬉しかったです。本当に嬉しかったです。意識の世界は一つ、信じて信じてやっていくしかないと思いました。

セミナーから帰って、愛の円盤が一枚足りないことに気づき、どこを探しても見つからない。

「大丈夫、きっとどこかにあるんだろう」

そう思っていたけど、どんどん心の中から不安、恐怖の思いが出てきた。あれは大事な物だ、失くしたら大変だ、どうしよう……。

翌日、仕事場でいつも置いてある所を見たけれど、やっぱり無い。諦めかけていたら、目の前のタオルの間に挟まっていた。円盤の絵がニツコリ笑っていた。ほっとすると同時に、不安と恐怖の思いが出た時に、しっかりと心を見られなかった自分をはつきりと感じた。

夫のパソコンの調子が悪くなり、「もう買い替えよう」と言っていたので、「反転」と思い、パソコンに指をチョンと触れたら動きだしてびっくりしました。

心はびよんびよん飛び跳ねます

田池先生が愛の円盤の上に置いて

水素水をつくる説明をしてくれました。

そして その水を飲みました。

飲んだ後、もう、心は大喜び。

嬉しくて、嬉しくて、

心はびよんびよん飛び跳ねます。

凄い、凄い、凄い。

愛の円盤の上に置いてつくる水素水は、

喜び、喜び、喜び、

嬉しい、嬉しい、嬉しい、愛のパワー。

違いを認識するためのたくさん

以前からあった、たくさんのスプーンの中に
一本だけ愛のスプーンがある。

その、たくさんある中の

ひとつというのが、よかった。

確かに違う。

一本だけ違う。

それを愛のエネルギーというのだろう。

違いが分かる。

認識した。

だから、もう言い訳はできない。

学びをしていない妻と「愛」のグッズ

妻は学びをしていません。愛のグッズにも殆ど関心を示してくれなくて、愛のグッズは肩身の狭い思いをしていました。その妻との体験です。

① 孫の手

最近、妻が「頻尿気味でよく眠れない」と言い出しました。そこで、「試しにこれを持って寝てごらん」と、特に何も説明せずに愛の孫の手を渡しました。

私自身半信半疑でした。

ところがビックリ、その夜トイレが一回で済みぐっすり眠れたというのです。正直驚きでした。もう二ヶ月以上経ちますが、大抵は一回で済んでいるようです。七十歳を過ぎれば一回は

普通だと思えます。今では孫の手がすっかり手放せなくなっています。

② 愛の円盤

録画機の調子がおかしくなりました。番組表が歯抜け状態になって、一部チャンネルの録画予約ができないのです。（メーカーでも原因が分らず、修繕方法が明示されません。）

そこで愛の円盤の登場です。夜、円盤を録画機の上に置いて寝ました。朝チェックするも変化なし。それではと今度はしっかりと田池留吉に心を合わせ、その思いを録画機にも向けて円盤を置きチェック、やはりダメでした。

「ムリなのかぁ」と、私はすっかり諦め気分になりました。

ところが、ところが……、妻がやってみるとなんと見事に回復しているではないですか。

「何やったの」と聞かれました。

「これを置いただけだよ」と円盤を見せ、

「この円盤からは特別な波動が出ているんだよ」と説明しました。

妻はふくんというような怪訝けげんな顔をしていましたが、その日から食卓に妻用の羊の円盤が置かれるようになりました。

③ 水素水

私は愛の水素水を目薬として使っています。目が痛いとき、疲れたとき、ゴロゴロするとき、痒かゆいとき、よく効きます。スポイトで点眼します。妻にも薦めたところ、効果を感じたのでしょう。その後も使い続けています。

④ 愛の卵

愛の卵を使って、毎晩のように妻にマッサージ

ジをしています。足、腰、背中、肩、「とても気持ちがいい」と言ってくれます。その思いが伝わってくるので、私もまた今晩もと思えるのかも知れません。

愛のグッズは我が家では片隅に追いやられた存在でしたが、最近、少し様子が変わってきました。徐々に市民権を獲得し始めたようです。嬉しいかぎりです。

次は何にしようかなと楽しみながら思索しているとあります。

ありがとうございました。

求心のスパイラル

幸せて、今この瞬間、瞬間だと気づき始めた今、喜びで溢れ、ぬくもりで、満たされている自分がいました。

今迄は、外に外にと、遠心のスパイラルの中で、もがいてましたが、学びを通じて、正しい瞑想をやっていく中で、内へ、内へと求心力のスパイラルに入っていくようになってきたように感じられます。喜び、幸せ、ぬくもり、やすらぎが全てだったのです。

気づかない、あるいはわからないのは、今の問題ではありません。今までの生き方、考え方、やって来た事、そのものの結果である事が分からないということなのです。分かってやってき

たようで、分けのわからないことを、やってきたという事なのではないか？

今、やっとそんな感じがしてきました。

今は、過去のやって来た事を振り返るチャンスと捉えています。

ここに浮かぶこと、ここを向けて……じつと、そこにころ合わせています。

間違った事をしてきたと思ったら、反省し、受け止め、認めて、反転します。

「こうすれば良かった」と思えば、今でも、出来る事があるはず。「今からでも、遅くない」と思いながら、自分のころを観続けていたら、状況が少しずつ変わってきました。

訳の分かる世界が待っていました。全ての過去の結果が今なのです。

未来は、今が創るように感じます。

「過去のあやまちも、未来の不安も、今が幸せであれば、全てが幸せになるのではないか」と思える、今……がある。

過去も現在も未来も、「現在」「今」しかない。
永遠の今だから！

改めて自分に問いかけます。

「幸せって何なのでしょう？」って……

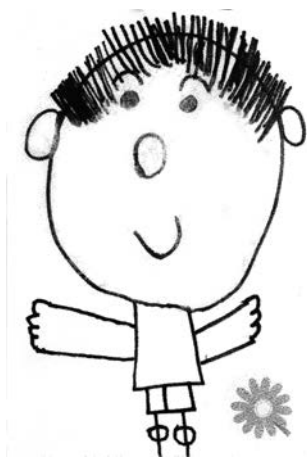
それは、内なるタイケトメキチにころを向け、合わせ、繋がっていき、愛に蘇ることです。

今、私は分からないところに居ても、行くところ、行く目的先は分かっているのではないか。

「今の立ち位置から目的地までどう行くか」ではなくて、今瞑想を通じて、ぬくもりを感じ、喜びを感じていれば愛の側にいるという事なのだ……

「そこから、今の立ち位置を覗いてください」と、

内なるタイケトメキチのメッセージが届きました。



不思議な出来事 体験文集

体験文集V01・2を、七月のセミナー中に途中まで読み、その後、今まで読まずにいた。

続きを、今日、最後まで一気に読んだ。読みながら、「ふくん」とか、「へえ〜」とか、普通のリアクション。そして自分の体験文を読んだ、「私のはいつも体裁は整えられているけど、本当に心と合ってるんかな〜」なんてぼんやり思っていた。

最後の方になり、思わず笑える文面に少し噴き出しながら、虎が出てきて、その瞬間、田池留吉に心が向いたのかな……、突然涙と共に「ごめんさい、お母さん、ごめんさい、私が間違っています」と噴き出してきた。なんで突然こうなるの……と思いつながら、不思議な世界だなぁって思ってた。

自分の中は、自分を責めなくていい、そんな自分も全部受け入れられている、愛の中、そんな思いが広がっていた。優しいなあ。

日常生活の中に、自然と愛のグズズやUTAブックがあちこちに、後は自分が心に向けていけばよいだけのこと。気負わず自然にもっともっと愛を楽しんでいきたい、そんな思いになりました。

愛の円盤体験 — 壊れかけたアイホンが直りました —

ある日、使い始めて一年半になるアイホンの調子がおかしくなりました。最初のうちは、まあ、こんなこともあるだろう程度でしたが、電池の減りが早く、何もしていないのに本体が熱くなるのが数回、そのうえ表示が圏外になってしまうので、通話やメール・ネットもできない状況が頻繁に起こるようになってしまいました。ネット依存でない私でさえ、さすがに不便を感じるようになっていました。

そんなある日、アップルストアの近くで用事ができ、その帰りにお店に寄ってみました。

お店の方に見てもらったところ、「電波状態が非常に不安定ですね、本体の交換が必要かと思いますが。」とあっさり言われました。おまけ

に修理には事前にバックアップを取っておく必要があるとのことで、後日出直すことにしました。その時に出た思いは、私は物を大事に扱うし、まだ二年も使っていないのに故障か!? もっと長く使えるいいもの作れ! 機械操作に疎いのにいるいる面倒だな、等々でした。

ふと、もしこれが愛の円盤で直ったらすごいなあと思ひ、いつも携帯している愛の円盤とアイホンを密着させてバッグに入れておきました。

そうして、自宅に着いてからアイホンの電源を入れてみると、なんと、アンテナが立ち、LTEと表示されているのです。直っているのです! ビックリしました。

愛のエネルギーが働いたんだ、すごい!! と思

いました。

あれから一か月程経ちますが、不具合が生じたことは一度もありません。

心の向け先の重要性を教えていただけたととても貴重な体験でした。



愛のエネルギーのすごさに浸った一日

夕飯の支度中、電子レンジの中の物を取る時、指を火傷やけどしました。かなり痛くてこれは強くいったなど直感しました。

すぐ水道の水で冷やし続けました。

そして目の前にある水素水に気付き、ティッシュを愛の円盤に載せ、それを水素水で浸して指に巻くことを繰り返しました。

夕飯の支度を終え、食べ終わり、かなり痛かったのも少し和らげられました。茶碗を洗うのは指サックをして片付けました。

水ぶくれになるのを覚悟し、とにかく水素水に浸すのを繰り返しました。

一日も終わり、風呂に入ろうと思い、指サックを取ると、赤くもなんともない。いつもの指でヒリヒリもなにもない。元の指でした。

だから熱い風呂の中に入れました。

火傷をしたのも忘れて、愛の替え歌「ふるさと」を歌っていました。驚きでした。

愛のエネルギーのすごさに浸った一日でした。

愛の円盤、愛のタオル、愛の水素水を使って

五月のセミナーの四日前、高校の同級生と、つつじの花を見に行き楽しい時間を過ごしました。

紫外線対策もしっかりしていたのに、翌日の朝、なんか顔が痛い、ヒリヒリする。おかしいと思つて急いで鏡を見ると、なんと両方の^{まぶた}瞼と両方の頬のまわりが真っ赤に腫れ上がつて日焼けなのか、かぶれたのか、どうなのかさっぱりわからず、とにかくヒリヒリを何とかして欲しい、薬局で良さそうな軟膏^{なんこう}を買つて、愛の円盤にのせて塗つてみました。

塗つて一日目は、なんかこのままで治ると思つていました。ところが治るどころか、どんどん赤みが増し、まさに「助けて」の思いで皮膚科に受診しました。皮膚科で処方する軟膏は

ステロイド系なのはわかっていましたが、セミナーの日が迫っていたので、やむなく愛の円盤の上にその軟膏と皮膚の炎症を抑える飲み薬とをのせて処方してみました。

翌朝、少し赤みが引いたような気がして、「このまま治るだろう」と思いセミナーに出掛けました。

セミナー一日目の終わりごろ、肉体細胞に思いを向ける瞑想がありました。

他力の思いばかりで、肉体細胞にやさしい思いを向けられない冷たい自分を感じました。

大腸ポリープの手術のときも、良姓でよかったの思いだけで、肉体細胞にやさしい思いを向けられなかった。

肉体細胞に「ありがとう、ごめんなさい、あ

りがとう」の思いを向けてみました。なにか温かい感じがしました。

その夜、軟膏も、飲み薬も止めて、愛の円盤に愛の水素水をつけた愛のタオルを顔にのせ、肉體細胞を思う瞑想をしました。

子供の頃、遠足の前日に風邪で熱をだしたとき、母が神棚にある、通称「神さんの水」を、何か赤いマークのついた神さんの和紙に付けて、頭にのせてくれた時のことを思い出しました。

「明日遠足に行けるよう早く治して」と祈ったのに、結局、遠足にいけなかった。

「こんなまやかし信じられない」と思っています。愛の円盤「愛の水素水」「愛のタオル」に対して、そんな思いのままだったと確認しながら、知らない間に眠ってしまいました。

翌朝も、前日と変わらず顔の赤みとヒリヒリ感は治りませんでした。

セミナー二日目の肉體細胞を思う瞑想で、田池留吉に思いを向けて、顔を両手で包み、肉體

細胞に「ありがとう、ごめんなさい、ありがとう」の思いを向けてみました。

一日目の時よりも、もっと体の中から湧き上がるような暖かな感覚がきたと思ったら、

「私は、あなたを苦しめる思いはありません。あなたに気付いてほしいのです。いつもいつでも、私はあなたに愛を流しています。」

肉體細胞からの思いを、ただ「ありがとう、ありがとう」と声をあげて号泣していました。

肉體細胞に対しても「我に従え、わたしの言うことを聞け」の思いでいました。「申し訳ない、ごめんなさい、ありがとう、嬉しいです」。それ以外の言葉はありませんでした。

その夜も、愛の円盤に愛のタオルを置き、愛の水素水を湿らせて顔にのせ寝ました。

翌朝は、顔のヒリヒリ感もなくなり、赤みも薄らいで不思議な気持ちで、帰宅しました。

その二日後、今度は、顔全体に湿疹がでて、

ステロイドを抜くための好転現象が始まりましたが、あの愛の三点セットと肉体細胞に思いを向ける瞑想で、すぐにおさまりました。

不思議な体験でした。肉体細胞さん、「ありがとう、ごめんなさい、ありがとう、うれしいです。」有り難うございます。



血液検査

左まゆ毛の上に、七、八年前からイボがあり、大きくなったり小さくなったりしていましたが、今回、病院で診察していただきました。

「悪性か、良性か血液検査をして調べてみます」と言われました。

後日、結果を聞きに行き、「悪性ではないが、取った方が良い」と言われました。

病院で血液の検査結果を見せてもらったところ、看護師の方が、私の年齢をみて、良い結果なのに驚かれ、「何か特別なことをされているのですか？」と訊かれました。

そこで「食事と運動等をして気をつけるようにしています」と言いましたが、もう一つ、「水素水を飲んで」と答えました。

「水素水のことは知らない」と、看護師の方が

言われましたので、後日、パンフレットを持参することにしました。

私自身も、検査結果をみて、「今後、体を大切に、田池先生の学びに、元気で邁進していきます」と、自分自身に誓いました。

※この原稿は、体験文集・春号「愛のエネルギーの体験」（82～83ページ掲載）の追加原稿として送られてきましたが、締め切りに間に合わなかったため、この秋号に掲載させていただきました。

愛のグッズは波動です

セミナーの中で田池先生が「愛の円盤を使って、愛の水素水を作りましょう」という話をさっていたのを聞いて、さっそく作り始めました。今までも円盤は使っていたが、心の向け先ということを意識して作るようになりました。作っているとなぜかは分からないが、ただただ嬉しくて、嬉しくて、自分の中から喜びがふつふつと湧き出てくるようでした。

数え切れないぐらいたくさんのお世話たち、今世も含めて、外、外、外、肉、肉、肉ばかりに向いていた心を、ようやく内へと向けるというのを伝えていただきました。探し続けてきたものが本当は自分の中にあった。確かにここにあった。初めから愛しかなかったことがほんの少しでも感じられる。凄まじいブラック一色

だった私の宇宙は本当に喜びでした。

円盤に限らず愛のグッズは波動でした。自分の周りにあるものは、全部愛でした。いつもいつも心に伝えてくれていました。今という時間を大切に、自分と向き合っていきたいと思いました。

ホンマかいな、それ！

先日の八月十日〜十二日の少人数セミナーの時、家でライブ映像を見ながら学ばせていただいております。最初はヘッドホンで音声を聞いていましたが、やはり現象の最中は体も動きまますので、スピーカーで聞いた方がゆつたりできると思い、スピーカーを探しました。しかし、見つかったのは初めてパソコンを買ったときに使用していたもので、ほこりまみれで十年以上使用しておらず、ためにパソコンと接続しても、やはり音声は流れてきませんでした。

そこで、愛の円盤の上にスピーカーをのせ、愛を思い、もう一度パソコンと接続し直してみました。でも、やはり音声は流れず、「さすがにこれは無理だろう、どう見てもこのスピーカーから音が出るのは絶望的だ」と、潔くあき

らめることにしました。

そして三日目のセミナーの日の朝になり、ライブ映像が始まるまでに「体験文集」を読んでいます。体験文集のみなさんの体験は、やはりすごいものばかりで、「いくらなんでもそんなことが……」という体験がたくさん紹介されていて、改めてびっくりし、感心していました。

また、みなさんが故障した物や体の不調な部分に、とても優しい思いを向けておられることも強く伝わってきました。そして読んでいるうちに、だんだん自分の中に先程のスピーカーへの思いが募ってきました。

「よくよく振り返ってみると、自分はスピーカーにありがとうの思いを心から向けていたのだろうか、単なる実験気分ではなかったらうか」と。

スピーカーから音が流れるのは実際のところ絶望的だとは思いましたが、みなさんのように、せめてお世話になったスピーカーにありがとうの思いだけは向けなければ、スピーカーに申し訳がないと思います、もう一度、愛の円盤を使って思いを向けてみることにしました。愛の円盤を左手に持ち、右手でスピーカーに触れ、「これまでどうもありがとう。共にこの学びをしてきた仲間だったね。あなたと私は、一つ。本当に、これまでありがとう。」と思いを向けていました。本当に、自分とスピーカーが一つになり、スピーカーにも命がかよったような、そんな感覚になりました。

最後にもう一度パソコンと接続してみようと、思い、これまでと同じように接続してみました。すると、今まで全く、かすかにも反応しなかったスピーカーから、過去のセミナー動画の音声が出ているのです。音は明瞭ではありませんでしたが、確かに鳴らないはずのスピー

カーから、田池先生の声が聞こえてきているのです。一瞬、「えっ」と思いました。しかし次の瞬間、このことがものすごく自然なことにように思えました。もともと愛の中に存在しているスピーカーに、思いを向けることで愛のエネルギーが働き、ありのままの状態に戻っただけ。ごくごく自然な現象なんだ、と伝わってきました。不思議と音が出たことをすんなりと受け容れていました。

体験文集を読んで、恥ずかしながら「ホンマかいな、それ！」という思いをたびたび流してきましたが、今回の現象を通し、一見不思議に思える現象も、ごくごく自然なことであることを実感しました。愛のエネルギー、確かに働いているんですね。うれしかったです。

夫と共に

私が本を手にしてから六年が経ちました。夫と学び始めてもうすぐ八カ月。

去年十二月のセミナーで「夫婦で学ばなければこれ以上学びは進みません」と云う田池先生からのメッセージを受け、私は夫に「折角ここまで学びを進めてきた、まだまだ先がある。これから一緒に学んで欲しい」と話しました。

すると、夫は「こんな気持ち悪い本が読めるか。頭で分らんモノがどうして学べるか。田池をぶっ殺してやる、セミナーに包丁を持って行っていいのか」と怒りを露わあにしました。

私は「いいよ。」そして「初めてだね。気持ち悪いって話してくれてありがとう……私に見下されると思えば言えなかった夫の胸の内でした。夫との学びが始まりました。

そうは云っても、出るわ出るわ「くそ田池」の連呼です。今年三月、夫は初めてのセミナーに参加。それ以降は、それまでは書いてくれたノートも手つかずになり、またまた、出るわ出るわ「くそ田池」に「くそ〇〇」と、ついに私にまで「くそ」が付き始めたのです。だから私が愛だと云う証だと嬉しくなりました。

夫は、結婚しても本当に良い夫でした。私だけを大事にしてくれました。それなのに、これから夫が自分自身を包めるようになるまで、「くそ〇〇」を連呼する苦しい日々を送るのかと、暗澹あんだんたる思いになりました。

そんな時、愛の円盤の登場です。七月のセミナーからは、愛の円盤をそれぞれ持つての生活を始めました。

……けんか腰になる時には、互いに愛の円盤を持っていません。そんな時は、私も愛の円盤を持ち、ハイハイと夫に愛の円盤を手渡します。学びの事でケンカしてるのに、愛の円盤を手渡そうとすると夫はもう笑っているのです。

こんなモノと投げ付けたりせず、微笑みながら受け取り、仲直りです。

「もういい、出ていけ」が収まるのです。

田池留吉は凄い、愛の力と喜んでいました。そして、故郷の替え歌です。毎日、夫と二人、それぞれに愛の円盤を持ち、手を繋ぎ歌います。ケンカの最中にも「歌うよ」と云うと、夫が手を繋ごうと手を差し出すのです。嬉しくておかしいです。そして、一緒に歌います。私は、その後も異語で四番まで歌います。もちろん手を繋いだままです。

これからも夫と共に学んでいきます。夫は私の田池留吉です。そして私も夫の田池留吉です。大事に大事にしていきます。私はあなた、あな

たは私。私達はひとつの世界へ必ず必ず共に歩んでいきます。異語が上がり、涙が出てきます。……嬉しい、嬉しい、嬉しい、お母さん。ありがとう、ありがとう、ありがとう、お母さん……だから、私も思います。ありがとう、ありがとう、ありがとう……異語が止めどもなく湧き上がります。もう全開です。

田池先生、ありがとうございます。こんなにこんなに幸せな人生を歩ませて頂いてます。本当に本当にありがとうございます。私に反転。」

「そう云ってくれた、あなた、私に反転。」

愛の円盤体験報告

二十一回セミナーの翌日、興奮冷めやらぬまま帰路につきました。機内食の後、少し休もうとリクライニングシートを倒そうとそうとするのですが、どうしたことか後ろに傾いてくれません。足を踏ん張ってみたり、腰で押してみたりするのですが、背もたれははびくとも動かず、固定されたままです。こんな状態で後十時間余り過ごすのはあんまりだと、少し憂鬱ゆううつになりました。客室乗務員に手伝ってもらおうか席を変えてもらおうと辺りを見回せど、食事の後片付けに忙しいのか誰も見当たりません。

ふと思いついて、カバンに忍ばせておいた愛の円盤をひじ掛けのボタンに当てたところ、いきなり後ろにストン！

後ろのヒトもビックリしたでしょうが、私は

もつとビックリ！セミナーの余韻よゐんに浸っているようでも円盤の存在をすっかり忘れ、先ず助けを呼ぼうとしていたことに反省しきりでした。

ほとんど丸一日掛かって我が家にたどり着いての初仕事は、愛の水素水を作ることに。

遠く私と共に海を越えてやって来てくれた愛の円盤と水素水ボトルが愛しくてなりません。先ずは、仲間が教えてくれた愛の水素水で早速歯磨き。歯磨き粉が不要であることは半信半疑でしたが、確かに何とも言えない自然の気持ち良さ。歯もツルツルです。夜だけ米粒サイズの僅かな量の歯磨き粉を付けていますが、これまでは爽やかで磨いた気になっていたミントの香りが、実は歯に良くない薬品臭だと感じられるようになりました。

北米は水は良いのですが硬水なので、お風呂には何か柔軟剤を入れないと肌がカサカサに荒れてしまい、特に冬など手足が粉吹き状態になります。毎回、日本から温泉の素を持ち帰り、それで半身浴をしていました。先生の講話を聞いて、今回からは愛の円盤風呂。日本では毎晩楽しんでいましたが、こちらでも何とも言えないマイルドな気持ち良さ！ 肌もスベスベです。その上、利用後お風呂用洗剤を使って洗う必要もありません。タオルでさっと拭くだけで汚れが少しも残らないのです。

先日はスチームアイロンに愛の水素水を入れてアイロンかけをしたところ、生地がふわっと仕上がって優しい香りがしました。

こんな異国の地で、愛のグッズに囲まれながらの平凡な生活。

UTA・BOOKライブラリーには、もう次の日に貴重な少人数セミナーのビデオがちゃんとアップロードされています。何て幸せなので

しよう！
たった数年で、あれやこれやスゴいことが現実となつているのがまだ夢のよう。
ありがとう！ 自分との約束、忘れることなく進んでいきます。



「愛の円盤」体験談

うちでは母が、毎年夏にシソジュースを作ります。今年はたくさん作ったので、仕事先の方たちに差し上げました。もちろん差し上げる前に「愛の円盤」に載せました。

みなさん喜んで飲んでくださり、「美味しかったです」と言ってくれました。

その中の一人の後輩の男性が「次はいつもらえますか？」と聞いてきました。おかわりをほしいと言ってくるのは珍しいことです。聞くと「うちの病弱な嫁さんがあれを飲んだら元気になった」ということでした。

彼の家庭はワケありで、詳しくは知らないけれど、奥さんが鬱系の問題を抱えていて、家事が満足にできず、彼が幼稚園の息子の送り迎えをするため、16時頃に一度退社し、20時頃再び

会社に来て働く、という変則勤務をしているのです。学びのことを伝えたいなあと思っっている方のひとりです。

その奥さんが少し元気になったというのです。愛が仕事をしたのだと思いました。



ある日の出来事

「愛」草書体入り

「ふるさと」の歌詞カード

私は普段一人になった時、リビングのテーブルには「愛のボールペン」、「愛の円盤」、「愛の湯呑み」等が置いてあつたりします。

ある日のこと、急に息子が仕事から帰り、すぐに身支度をして出かけようとしていました。

そしてその時に言った言葉が、「ふるさとの新しい歌詞か？」

私は「あつ、そうやで……わかる」、とつさにメロディーはつけなかつたけど、三番まで朗讀しました。

その場を離れる事もなく、何だか静かに耳をかたむけていたかのように思いました。

そのあと、言葉はありませんでしたが、なんとなく機嫌よく出かけて行きました。

わが家では、セミナー参加は私ひとりで、家族は男ばかりで、口数も少ないですが、このように家の中には、「愛の円盤」があちらこちらにあつたり、また「ふるさと」がパソコンからながれたり、時にはヒストリウムから流れる田池先生のお話しを聞いても何も言わずとも、家族皆の協力を得て、この三十年余り、よくく学ばしてもらったなあーと感謝と嬉しさで一杯です。

「愛の円盤」とお風呂の湯船

私は最初にいただいた「愛の円盤」をお風呂の浴槽にいれてました。

熱いお湯が苦手なので、ぬるめのお湯なのですが、まったりといつもより温もるな〜と思います。

そして他の家族は、シャワー派なので、水替えもあまりしてませんが、「愛の円盤」をいれるようになってからは、前にもまして、もっともつと水のもちもいいようです。

そんな時、主人が急に、自分の実家の湯船が臭いと言っています。

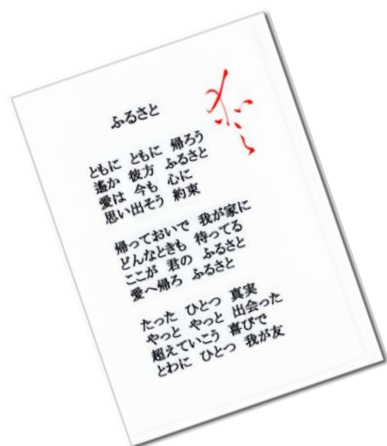
それは、それは、すつごくいいタイミングで「いいのがあるよ。次回のセミナー後に渡すね」……その後、十二支の「愛の円盤」が手元に届いたので、実家のお風呂の湯船にいれにきました。

そうすると臭いが、すごくましになったそうです。そして次は冷蔵庫にもはりつけると、「もちもよく美味しいよ」と伝えると、もう一つ「愛の円盤」を持っていききました。少しは「愛」が伝わったのかと嬉しかったです。

最初は一枚だったのが、二枚も素直に持っていき、私は驚きにちかいです。

そして私が先日、主人の実家に行ったのですが、以前だったら、玄関先からその家の匂いがあつたのですが、全然感じなくなっていました。セミナーに参加していない主人ですが、私と一緒に色んな体験をができてありがたいです。

思うことの大切さと、「愛」の凄さと、肉ではどうしようもできなかつたのに、意識はわかつてくれました。ありがとうございます。



愛の体験

円盤の体験ではないので、体験談を出す気は全く無かったのですが、前回のセミナーで同室の方より、「勇気が貰える方がいるかも？」と言われて、出させていただけようかと思いました。

六年前に急にリウマチになり、全身が動かなくなりしました。その頃は学びから離れていました。自分の心が原因とわかっていましたが、歩くことさえ出来なかつたので、病院に行きステロイドを五ヶ月ほど飲みました。体が動くようになると正気に戻り、肉体に悪いことをしているのが怖くなり、漢方の病院を受診しました。そして、第一回UTA会が始まるとのことです。勇気を出して出戻りました。

ステロイドが抜けるまでかなり体が大変でしたが、床には座れないけど、どうにか歩けるようになり、左手は何とか動くので料理もしていました。セミナーでは椅子席に座り、布団から起き上がるのが大変で同室の方から驚かれる位でした。家ではほぼ引きこもりの生活でした。

漢方は高額で支払いが厳しくなり、二年でやめました。その後、反転の勉強が始まり、愛のTシャツが販売され、家では寝るときに使用していました。「これを着れば良くなる」という思いは特になく、姉がプレゼントしてくれた物で、着ないと勿体無いなどという思い半分、体にいいと先生が講話で言われていたし、体のだるさが少しでも和らいだらいいなあ……と、軽い気持ち半分でした。草書体の愛のラミネートを

頂いた頃は、右手の手首の腫れている関節や、足の膝の腫れている所にあてて思いを向けていました。今思えばこれはお札的な使い方になっていて、「良くなれ」と念じていた感じでした。当時はセミナー会場では足がとても軽くなり、なんとか中に座る事が出来ていました。

二年前に純水の機械を設置し、身体に入るものはすべて純水にしました。その頃生活費に余裕が無くなり、仕事を探し初めてすぐに決まり、セミナーに自分の給料で行くことが出来るようになりました。お金は回ってくるという先生のお話を実感しました。

これまでリウマチで足の裏に出っ張りが出来、一歩一歩を、そーっと歩いていたのですが、頂いた愛の靴下を履いていると、それがだんだん無くなり、ある程度のスピードで歩けるようになりました。愛の靴下は履き心地がすごくよくて、とても気に入って履いてましたが、これには本当に驚きました。

愛のタオルを使い、愛のお風呂に入るようになってから、右手首の腫れがだんだん無くなり、車のキーや、ライトを左手でしか回せなかったのが、右手で回せるようになりました。膝の腫れは残っていますが、痛みが全くないので、正座は無理ですが、床に座れます。肩が痛く、洗濯物を竿に干せなかったのが、出来るようになりました。

私自身は相変わらず他力のままですが、すべて愛のグッズからのエネルギーの成果です。自分が愛だと気がつく事が出来ない私に、目に見える形で教えてくれたんだと思いました。くれぐれもお札の様にならない様にと思っています。リウマチにならなかつたら、この学びに戻ることが出来なかつたし、自分を愛だと思えなかつた。肉体細胞に本当に感謝しています。これからも頑張ります。

私の友人に起こった愛の体験

久しぶりに会った友人は、一年以上前に整形外科の病院に行き、五十肩と診断されましたが、今も、自動車のドアを自分で閉めるのも痛い様子でした。

友人には、これまで勉強会の話と学びの本をあげていたので、この機会に愛の円盤と愛の水素水の効果を確かめる実験をする事にしました。

友人の家で、まず二人でオーリングテストをした後、愛の水素水を痛い左肩と左腕に噴射しました。

友人に、目を閉じて産んでくれたお母さんをお願い、痛いところに意識を向けて「お母さん、ありがとう、ごめんなさい、ありがとう」と思いを向けてもらいました。私は田池留吉に思い

を向けながら、愛の円盤で左肩から左腕をなでました。

その後、友人は左肩を何回も回して、痛みが消えて軽くなったと言いました。一回の試みで、五十肩が治りました。私は愛のパワーの凄さを再認識しました。

田池留吉、お母さん、ありがとうございます。これからも愛を信じていきます。

父の奇跡の回復

父（八十六歳）が糖尿病の高血糖と肺炎の併発でこん睡状態になり、去年の十二月の初めに、入院して集中治療室で十日間過ごしました。肺の細胞の大部分がびしょびしょになっており、人工的酸素吸入装置で圧力を加えてやっと呼吸ができる状況でした。

「ありがとう」の本を思いだし、父に意識で「田池留吉」をとともに思いましようとは何度も伝えました。医師は回復の見込みは薄いので覚悟をするようにと言われました。その後、こん睡状態から少し回復して一般病室に移りましたが、まだまだとても弱っている様子でした。そんな時、田池先生に愛を一杯注入していただいた、水素水を病院に持って行き、父に「田池先生の愛」がいっぱいに注入された水素水であると説明し

て、飲んでいただきました。愛がたくさん注入されている水素水を父に届けなさいと言っていたいただいた先生の優しい思いに、父も母も大変感激して、父は一口一口、たくさんの愛を感じながら、先生の優しい愛を感じながら飲んでいました。父は、穏やかな顔で、嬉しさがにじみ出ているような表情でした。心の中で、父と母と三人で、「田池先生、ありがとう」と言い続けていました。こんなに嬉しい事はありません。最高に嬉しい一日でした。

残りの水素水は、母にあげました。母は、嬉しくて、嬉しくて、勿体無いから少しずつ飲むと言って、飲みながら、「田池先生、ありがとう」を声に出して言い続けていました。

父と母が、こんなにも喜んでくれたのを見て、

私も嬉しくて、嬉しくて、思いは伝わる、愛の思いは伝わると、この日の嬉しさを、心に刻みつけました。

その後も、見舞いに行った時に、草書体の愛のカードを父の体に触れ、父の意識と一緒に「田池留吉」を思い出しようと話しかけました。以前からの脳梗塞の後遺症で、言葉を話す事がほとんどできない父でしたが、首を縦に振って何度も、「ありがとう」と母と私に言っているようでした。

本当に奇跡が起こりました。愛の水素水と草書体の愛のカードのおかげで、一時は危篤状態であった父が、回復し、二月初めに、無事退院する事が出来ました。とても嬉しかったです。

退院した父は、その後、介護付きの施設に入所しましたが、病院に入院中から自力で、おしっこが出来ないので、管を付けた状態が継続していました。また、自力歩行が難しいので常に車

いす状態でした。

母と父の施設に訪れた時は、愛の円盤を、父の体の各部に触れ、ともに「田池留吉」に心を向けるようにしました。すると、五月の始めごろに訪れた時には、おしっこがなくなっていました。施設の方は、自力でおしっこをしたような素振りがあったので、医師の了解を得て、管をはずしてみましたと言う事でした。六か月以上もの期間、付けていた管を外せるようになるとは、思ってもいませんでしたので、父も母も私も、とてもとても嬉しかったです。

そして、その次に訪れた時には、車いすでなくて、ふつうの椅子に座っていました。自力で歩けるようになったと言う事でした。また、管をはずした後、一度もおしっこを漏らした事は無く、トイレで出来るようになりましたと、施設の方も、大変喜んで説明してくれました。

まさに、愛の水素水と、愛の円盤の奇跡が次々と目の前で起こってくる事を、目の当たりに見

せていただきました。こんなに嬉しい事はありません。最高に嬉しい出来事でした。父も、母も、私も最高に嬉しかったです。今は見舞いに行つて父の手を引いて一緒に歩ける事がとても嬉しい事です。

父の入院からの一連の出来事を通じて、「愛」のエネルギーの実在を確信させていただきました。学びに繋がった貴重な今世の時間、空間を大切に、日々、自己確立に向かって邁進して行きます。



愛の円盤と猫

我が家の七歳のメス猫のお腹に、柔らかいけど塊があるのは気づいていました。引越しもあつて、獣医に連れていく余裕がありませんでした。新居に移ってから元気がなくなつて、よく吐くし、痩せている。いよいよこのままではいけないと近くの獣医を訪ねました。

獣医いわく、この塊は乳腺の腫瘍で、飼い主が子宮を摘出していなかつたせいだと。もう長くは生きられない。せいぜい三、四ヶ月。今更、避妊しても臓器を痛めるだけで死を早めると。

私は猫になんだか申し訳ない。この愛しい子がいなくなるのかと思うとやはり辛い。それでも寿命もあるし、最後の時まで優しい気持ちで一緒にいられたらいい。そう決めました。

それから愛の円盤の実験が始まりました。お

腹の塊に当てて、田池留吉に向けて反転。水や食べるものの下に円盤を置く。寝床にもコースターを置くことをしました。不思議ですが、凄く具合が悪そうな時はそのままにしているのですが、良くなるとコースターを外に出します。すぐに結果はわからないけど、生きている物はみんな死が来るのだから、それにこだわらないで、愛だけ見つめようと実行していました。

一ヶ月位経つて、調子が戻り、食欲も出てきたのですが、また吐くのが続いたので、以前お世話になつていた獣医さんのところに連れていきました。容態を見て、これは悪性の腫瘍ではないし、ただの脂肪の塊だと。柔らかいし、もし今の状態から変化したら、また見ますとのことでした。

もう猫の死を覚悟していたのに、嘔然でした。吐くのは胃が荒れているからと注射を一本打ってもらおうと、食欲も戻り、今も前と同じくらい元気です。痩せてはいますが、この子は痩せ型なだけですよと言われました。

猫に意識を向けてから、愛に反転すると、なんと言うか、さらっとしていて透明な感じ。反発する思いが全然なくて、凄く素直な感覚でした。田池留吉に向けたから治ったのか、それとも最初の獣医の誤診だったのか、わかりません。ただ、何だか猫は元気になっています。宣言された寿命を越えています。良い容器ではないのですが、水素水の噴霧器で朝からじゅんじゅんかけています。その後で、猫の体を拭くと、毛がさらさらできれい。くしですくのも嫌がっていたのが、ぐるぐると喉を鳴らして、喜んでいきます。怒ってうなっていたのが嘘のようです。

それとまた不思議なのですが、ふるさとのリコーダーの演奏で、歌を歌っていると部屋に入ってきて、側にいます。猫は愛の波動に素直です。



愛の水素水の実験

約四、五年前から左右の目の開き方が違い右目が開きにくい状態で、運転をするのにも支障があった。右目の目頭のほうが引きつっているような感じがする。

左の目とは明らかに感じが違う。

自分なりに色々と体操をしたりして運転をするのは随分ましになったが、右目の目頭の引きつった感じや違和感はまだ残っている。

そこで五月のセミナー終了後から愛のタオルを愛の円盤の上において水素水を浸して左右の目の上に載せて田池留吉を思い肉體細胞にありがとう、ごめん、ありがとうと思ひ、その後三分間、肉體細胞の瞑想をする実験をした。

何がどうとかわからないが、とにかくやってみた。

そしたらやっている間、右目の目頭の奥が緊張しているような動いているような感覚があった。終わると何か良い感じがする。

「えっ、何やるう?」「愛のエネルギー?」「水素水?」何がどうなのかわからない状態だったが、それから毎日水素水の実験をしている。

毎日やっている、今度は目の状態が緩和していくのと鼻が通っていく感じがした。今まで自分が鼻づまりがあると、という感じはなかったが、明らかに鼻が通って呼吸が入ってくる(トンネル貫通という感じ)。

私の場合は根深いものがあるから、とにかく続けることだと思ひ続けている。

自分でも目の開きが良くなってきたのがわかるし、力を入れなくても右目は開いている状態

になった。

七月のセミナーで友人と話していたら

「何か前と違うと思ったたら右目が開いている!!」とビックリしてた。

自分では変わったと思っていたが、友人がそういったことで変化に確信が来ました。

今まで肉体細胞に優しい思いを向けることもなかったし、自分の肉体細胞を、自分の思い通りに、当たり前前に使ってきたし、「思う」ということを甘く甘くとらえていました。

今回、自分の身体を使った実験で、これだけはっきりと違いが体感できたことはとても良かったし、お勉強になりました。ありがとうございました。



黄色いクジラ

いよいよこの学びも最終段階に入ってきて来て、今このチャンスに、自分の思いをまとめてみたくなり、書いています。

田池留吉、本当に肉を持って下さって、ありがとうございます。

私の今世の人生は、前代未聞の人生を歩かせていただいています。まだまだ私の感じている世界は小さい事は承知です。でも、それでも、こんなにも幸せな人生が展開していく事に感謝と驚き、そして、増々、この道一筋でいこう、という思いが自分の中から湧いて来ます。はい、自分の死期をふまえて、どのような人生をこれから歩いていくのか、道が見えています。

そして、肉の事はとるに足らない事を現象(自分の周りに起こる)を通してみせてもらっている

ます。今まで、こんなに楽な、そして、心が満たされた人生を歩いた事ありません。それにもまして、心を田池留吉にあわせるだけだと、つくづく瞑想とそして、その結果変わっていく自分の周りの現象とのフィードバックで、再確認させていただいています。ただ、これからは、もっと自分の死後に焦点を合わせ、そして、必ず二五〇年後に意識を伝えていけるよう、これからの時間を過ごしていかなばならないと思っています。

愛の円盤、愛の水素水、愛の霧吹き、本当にありがとうございます。一昨日も、ニュージャーシーの海岸に、愛の円盤を浸けてきました。これが二回目ですが、前回浸けた時、とても不思議なことが起こったので、それをここに書きます。

海に浸けたその翌日だっと思えますが、電車の中のテレビで、私の周りの子供たちが「クジラだ、クジラだ」と叫んでいるので、ふっとそのテレビを見ると、何と黄色いクジラが、私の真ん前のその画面で、潮を噴いて、泳いでいるのが見えました。説明によると、その黄色いクジラは、二十年か三十年か、よく覚えていないのですが、とにかく姿を現すのはとつても稀だという事です。その黄色いクジラが、潮を噴いて元気に泳いでいる姿が目に入り、私は、ハッと思いました。愛の円盤を浸けた事に反応してくれている！えっ！田池先生が、クジラの群れの意識という事をセミナーで言われていました。それとのマッチもあります。とにかくそのタイミングが、愛の円盤のせいだと思えないうタイミングでした。

今でも思いを向けると、涙が出てきます。人間たちの何と愚かな事か、心に響いて来ます。私達の姿を見て下さいと心に伝わってきます。

喜びでしかないその姿が、潮を噴くというその姿が、今でも^{まぶた}瞼に焼き付いています。嬉しい喜びで波間を泳いでいたその黄色いクジラが、本当にありがとう……と私の心が反応しています。

だから私もクジラのように生きていこうと思います。本当に優しい本当に優しい。でも力一杯、その喜びを体一面にみなぎらせ、喜びで海の中に生きていくクジラたち、本当にありがとう。愚かな人間のその人生を、私は終わりにします。これからは、意識一筋で生きてゆきます。本当にありがとう。愚かな愚かな間違った人生しか歩いてこなかったです。

過去、その転生の繰り返しでした。しかし、田池留吉、有り難う、私は、この千載一遇の人生を決して無駄にしません。残されたセミナーの時間、そして、その後、自分が肉を放すまで、私のこの意識を必ず二五〇年後に繋いでいきます。そして、決して、決して宇宙のモクズにならないように、毎日を歩いていこうと、ここ、

ニュージャージーで、今思つて書いています。
ありがとうございます。ありがとうございます、
このチャンスありがとうございます。



全部、自分が自分に設定して、 お母さんに産んでいただきました

六月の檀原セミナーに、抽選で選んでいただきました。このことは、まだまだの私が「私にプレゼントした」というしか今も、思えません。本当は、たいしたことでは無いのに、私は、檀原に行かせていただく直前のとき、ある現象を頂き、真っ黒い思いを一杯出させていただきました。そして、まさしく、私の頭は、右往左往して、お粗末そのものでした。

(実は、以前に文を纏^{まと}めさせていたでいていました。しかし、今回、提出するに当たって、現象を頂いたその肉の内容や経過は、「もう、どうでも良い」と思いました。

初めから、簡潔に記しなおります。そして、素直に記させていたかどうかと思います。)

現象は、亡き母から相続した、今の住居が、突然、差し押さえになったことから始まりました。差し押さえは、全く、私の借金ではありませんでした。

肉の世界から見ると、もう、理不尽極まりない方法で、異父姉の作った大借金のためからの、差し押さえでした。

「住むところが無くなる」から始まって、私の中から、真っ黒い思いが、いっぱい出ました。異父姉やその関係者に対し、真っ黒い思いを、いっぱい出させていただきました。

そんな中、檀原に行かせていただきました。温かい波動を、私なりに感じさせていたでいて、「もう、何も要らない」と思いました。

そして、平日の三日間、セミナーを用意して

いただいて、続いて、そのセミナーに何の問題もなく参加できた私は、「これほど幸せ者はいない」と思いました。

帰ってから、たとえ差し押さえになっていく自宅でも、娘と一緒に住んでいるぎりぎりまで、さらに、愛のカード等で、今までより、いっぱいにしようと思いました。

不思議と、肉では淡々と債権者の方々との話し合い等にお付き合いできました。ただ一つ、話し合いをする場所を、この愛のカードいつぱいの私の自宅にしてくださいました。私から債権者の担当の方をお願いしたのは、「この場所を話し合いの場所にしてください」という、ただこれだけでした。

「何とかなる」とか「負けるが勝ち」とか、おかしいくらいに、こんな言葉ばかり、話し合いのときに思いました。

そして先日、本当に突然でした。債権回収担当の方が、いきなり、こう言われたのです。

「とりあえず、一年、差し押さえを待ちましよう。一番、責任を取らなければならぬ方々(異父姉たち)に、どん底からでも、その責任を取っていただきますよう。そうしなければならぬ、と、僕は思いました。」

ですから、自分、私は、まだ、今の自宅の所有者になっていくことになりました。

「死んだら、家なんか関係ありません。」

私が私に、伝えてくれました。「生きているときに住むところがあれば、それでいい」と思いました。

そして、私は思い始めました。「全部、自分が自分に設定して、お母さんに産んでいただきました。だから、全部、肉持っているあいだに、学ぶチャンスをお願いしているだけだ」と。

私は、今世、お金は、申し分なく整っておりました。この学びをさせていただく上で、お金に苦労したことなんか、全く、ありませんでした。

この環境の有難みを、私は、今まで、本当に、ないがしろにしていました。

ありがとうございます。ありがとうございます。す。

今、この思いが、私の中でいっばいです。

これからも、肉ではいろいろあるかも知れませんが、けれど、何だか、「続く」として、楽しみになってきました。

そして、です。提出日ぎりぎりになってしまった今日、広島で、土砂崩れがあり、その災害報道ばかりになりました。

何ということでしょう。家の現象での勉強をさせていただいた私に、また、プレゼントがありました。綺麗な家が、あつと言う間にずたずたになり、沢山の方々が亡くなりました。

「大切なものは、愛以外ありません」と、私に伝えてくれました。「広島さん、ありがとうございます、ありません。」



ほんまや、あつたかーい！

Fさんはパソコンを打つのが不得意だ。それでも、なんとかご自分の体験を伝えられないかと思っておられる。「それでは」ということで、Fさんがクボ・ホールに来られた時、お話しを聞かせていただくことにした。

話の内容はこうだ。Fさんには妹さんがおられるが、この方は我々の心の学びには参加されていない。「本」を渡しても、決して読もうとはされない。

ところが、ある冬の寒い日のことだ。その日は冷え込み方が特に激しく、外は、身を切るような冷たさだった。

そんななかを、妹さんが訪ねてきた。

家に入るなり「寒い」「寒い」を連発。体に触ってみると、本当に氷のように冷たい。「こ

れはいけない」と、Fさん、何を思ったか、「愛」のカードを二枚取り出した。

その頃は、まだ「愛」の円盤もなく、知人に頼んで、ホームページから「愛」の文字を印刷しラミネート加工してもらったものだ。

そのカードを二枚、何も言わず、妹さんの両手に挟むように握らせた。

「ワアツ、何これっ？ あつたかーい！」

勉強には今ひとつ興味を示さない妹さんも、このカードの威力にはびつくりしたという。

後日、勉強の仲間にも試してもらったが、その感想は、

「ほんまや、あつたかーい！」

WEB瞑想会関係者セミナーに参加して



キーボードの演奏で「ふるさと」を歌う



全員で宇宙に向けての瞑想

苦しみと喜びが混在するようにな……

私は、肉の自分が肉の力で肉の人生を切り開いていく、そして、幸せになつてやるといふ思いが非常に強かった。

「我は神なり」のエネルギーを基盤に、この思いを田池留吉に突き付けてきました。

間違っていると頭で思つていても、心で気付かせませんでした。

でも、肉の人生は、どんなに努力して頑張つても、その努力に見合った結果が出ない、ガツンと大きな壁に突き当たつたようにどうにもならないものを感じていました。

そして、今回のセミナーの直前から、自分の向いている方向が間違つているのだと少しずつ心で気付き始めてきました。

私が間違つていたのだと思いました。

以前から、田池先生の言われることは一通りやってきました。

今でしたら、必須三題と課題四題は、自分なりにやっていました。

でも、私の基盤は肉であり、その肉の自分は「我は神なり、我を認めよ、我に従え」と叫ぶエネルギーでした。

密教のパワーをはじめ、今まで自分の中に作り上げてきたたくさんのお神仏、宗教者のエネルギーを基盤に肉で頑張ってきた、その思い、その方向が間違っていました。

今回セミナーに参加させていただいて、はつきりとその間違いを確認しました。

そして、嬉しかった。本当に嬉しかった。

私は間違つていたと気づけたことが本当に喜

びでした。

田池留吉に向けたとき、今までは、密教のパワーで田池留吉を殺し、母親を殺すエネルギーしか出ませんでした。

我は神なりと誇るエネルギーが噴出してきました。

でも、七月の琵琶湖セミナー辺りから少し変わったような感じがしました。

今回のセミナーでは、そういうエネルギーが、お母さんと呼んで、狂いながらも喜んでいるように感じました。

「お母さん、ごめんなさい」、「お母さん、ありがとう」の思いが噴出してきました。

愛に向け、宇宙に向け、反発する思いも出ました。

「愛が何だ、田池留吉の宇宙が何だ、私の宇宙の方がずっと、ずっと素晴らしい」と、自分が支配し君臨する宇宙を絶対に崩すまいとするエネルギーも、たくさん、たくさん出ました。

でも、嬉しい思いも出てくるのです。

自分でも不思議でした。

宇宙に向けてあれほど苦しかったのに、喜びが爆発するように体が動いていくことが不思議でした。

苦しみと喜びが混在しているような感じでした。

ワンポイントメッセージでいただいたように、お母さんの反省を中心にしつかりと学びを進めていきたいと思っています。

お母さんに使った心をしつかりと見て、修正して、苦しかった自分を優しい思いで包んでいけるような自分が変わっていきます。

必ずお母さんの温もりを心に広げ、自分を変えていきます。

今回はWEB関係者の少人数セミナーに参加させていただき、本当にありがとうございました。貴重な体験ができました。

神奈川県の方々に、心から感謝しています。

お寺という環境に生まれてきました

遙か彼方ふるさとを捨て、今世は、真実に
出会うための大事な大事な肉体を産んでもらっ
たふるさとを捨てました。お寺という環境を嫌
い心から捨て去りました。この学びを始めて
二十五年余りですが、物心付いた時からずっと
心の中から消し去っていました。

今世のふるさと、お寺の意識に思いを向けま
した。お寺そのものの意識は優しいです。すべ
てを受け入れてくれていたのを感じました。そ
れを人間の欲の思いで凄まじいブラックのエネ
ルギーが渦巻く、喜びも温もりも優しさの欠片かけら
もない真つ暗闇の世界、「己一番、我は神なり」
の世界を作り上げていました。

私も愛を捨て、この世界と同じエネルギーと
化してしまった意識です。この世界で心を修正

し、真実を伝え愛を流す約束をたくさん私の私と
して肉体を産んでもらったにもかかわらず、そ
れを忘れ捨て去ってしまった意識です。思いを
向けることさえもしてこなかった意識です。

今回のセミナーをきっかけに、やっと、やっと、
自分の心の奥底に思いを向けることができまし
た。ブラックのエネルギーが渦巻くお寺の意識
の世界で、苦しみのたうち回り、悲鳴を上げ泣
き叫んでいるたくさんの方に思いを向けること
ができました。心の中に蓄積してきた他力のエ
ネルギーを解き放す時が到来したことを感じ、
やっと、やっと、たくさん私の私との約束を果た
すことが出来ます。嬉しいです。ありがとうございます。

田池留吉を思い、お寺の意識に、「ありがとう、
ごめんなさい、ありがとう。」と、温かい優しい

思いを向け、苦しみのうち回っているたくさんの私を思い、ふるさとの替え歌を口ずさむだけで喜びが噴き上がってきました。こうして喜びが噴き上がってくることで、ただ思いを向けるだけで愛のエネルギーが流れ仕事をしていることを確信できたことも嬉しいでした。

田池留吉に心を合わせ、お寺の意識に思いを向け、その世界で間違い続け狂いに狂い苦しみのうち回っているたくさんの私、そして、その他のたくさんの意識達を思い、温もりで包んでいく実践を積んでいきます。思いは必ず通じるといふことを信じて実践を積んでいきます。

また、田池留吉を思う瞑想、宇宙を思う瞑想では、心の中が波動を感じ、心の奥底から喜びが噴き上がってくる体験を何回も何回もさせていただきました。喜び幸せをいっぱい共有させていたただいた、嬉しい嬉しいセミナーでした。

私は子供の頃から歌が大好きで大きな声で歌っていました。毎朝目が覚めてから寝るまで

の時間、田池留吉を思い、家族に思いを向け数え切れないほどふるさとの替え歌を口ずさんでいます。心の奥底に波動が響き渡っていき、喜び幸せをいっぱい堪能させてもらえる嬉しい嬉しい時間と空間です。

三人の孫達と一緒に暮らし、それはそれは騒がしかった家の中が、家族に思いを向けふるさとの替え歌を口ずさむことで少しずつ静かになっていく手ごたえを感じます。三人で仲良く遊ぶ姿が多々見られるようになり、ふるさとの替え歌から愛のエネルギーが流れているのを確信できることが嬉しいのです。

これから先も、田池留吉の意識が伝えてくれる真実を、そして、「意識の流れ」のHPに掲載されているメッセージを指針に、一歩、一歩、学びを進めていきたいと強く深く決心させられた、嬉しい嬉しいセミナーでした。

WEB瞑想会関係者のセミナーに参加させていただきます、心から感謝の思いでいっぱいです。

根本的に間違っていました

今回も、またワンポイントメッセージをいただきました。

「あなたも自分の心を見つめてください。聳え立っている心があります。『時間を作ってください』と前回のセミナーで申し上げました。どうぞ、どうぞ、ご自分の心をもっともっと見つける時間を作ってください。」

はい。ああ、聳え立っていました。聳え立っていた。イエ、聳え立っているということの意味をはき違え、どれだけ聳え立ってきたのかを自覚することのないまま、のうのうと、本当にデカイ顔をして、凶々しく、当然のように、当たり前のように存在をしておりました。

少しずつ、少しずつであります、その聳え立っている自分を思った時「恥ずかしい、顔から火が出る、どのツラ下げて、何様のつもり、無知……」そんな感覚がグルグルと自分の中を駆け巡ります。聳え立っているの意味をはき違えてまいりました。聳え立っているという本当の意味がわからないまま来てしまいました。

間違ってきた自分がどれだけ受け入れられているのか、闇をまき散らしてきた自分に真実を伝えてくれている田池留吉のありがたさ、すごさ、そこに対する感謝の思い……。私の「ありがとう」は薄っぺらかった。自分で感じます。どんなに涙を流して絶叫しようとも、私のありがとうは薄っぺらかった。どれだけ受け入れられているのかわかっていなかったから、どれだ

け間違いつけてきた上で許され、愛され、チャンスをおいただいたのかわかつていないから、「ごめんなさい、ありがとう」と思えば「ハイ喜び、ハイ嬉しい、ハイ出来た、ハイわかった。」……幼いというか幼稚というか。心の見方が浅い。チャンスを生かし切っていない。まだまだ自分に都合のいいようにしか心を見ていませんでした。

田池留吉を軽く見る思い、バカにする思い、疑う思い、あしらう思い、委ねきれない思い、舐めて（なめて）いる思い、あります。あります。あります。あります。あります。さらにそれらを反省につなげることなく野放しにし、でも先生にはバシてはいないだろうという思い。聳えたつていながら、一生懸命に学んでいる自分を前面に出しているつもりで頭隠して尻隠さず、愚か。客観的にどうか、そんな自分を感じれば感じるほど、肉でも本当に顔から火が出る様な恥ずかしさを感じま

す。

ですが嬉しい。落ち込んでいない場合ではない。とにかく前を向いて、恥ずかしいからと言って隠れて、間違っている部分を直して、また直つたら出てくるとか、そういうんじゃない。

はい、そうです。どんどん、どんどん田池留吉に向いて行つてください。もつともつと、もつともつと田池留吉に心を向けて行くんです。愚かな自分、間違つてきた自分、どうしようもないほど聳え立つてきた自分、それにも気づかず、に当然のような顔をしてのさばつてきた自分等々、そんな自分をしっかりと自覚しながら受け止めながら、前を向いていくんです。田池留吉に向いていくんです。まだまだまだあなたの心の方は甘いんです。もつと、もつと掘り下げてご自分の心を見てください。愚かな自分に気付けてください。ありがとうの思い、厚くなり

ますよ。熱く、そして厚くなりますよ。

愚かな自分に会うことは喜びです。人ではありません。自分です。「はい、どうしようもないほど聳え立っております。でもその事に気付いて本当に嬉しいですよ」と心の底から言えるあなたになってください。頭の反省はいりません。共に喜んでいきましょう。共に喜べるあなたになってください。待っています。

以前、友達の現象での姿を見ていて「どうしようもない自分でした」という思いを感じました。「でもそれが嬉しい。こんな自分が学べるのが嬉しい。こんな自分に真実を伝えてもらえて、田池留吉ありがとう、ありがとう、ありがとう、ありがとう、嬉しい、ああ本当に嬉しい、ありがとうございます、嬉しい、ああ本当に嬉しい、ありがとうございます、嬉しい。」そんな思いが伝わってきました。今回のセミナーで別の友達から同じような事を感じ、相対評価になってしまいますが、ごめんなさいの深さ、ありがとうの厚

み、質が私とまったく違うことを感じながら感動をしてみました。友を通して学んで行ける、それもまた嬉しいし、ありがたいです。

今回の体験を無駄にしないように学んでいかなければ、生まれてきた意味がありません。

日々の瞑想の時間を大切にしながら自分の愚かさ、もっと、もっとと出会っていく、それが次に続く喜びの流れ、ワンポイントからいただいた課題だと感じています。

貴重な少人数セミナーに参加させていただいて本当にありがとうございました。

思うことを大切にして素直に心を見つめていこう

とてもうれしい幸せな三日間でした。参加できたこと、参加させていただけたことがとてもうれしく、ありがたく、感謝しています。ありがとうございます。

前日の台風から「もう始まってるな」と思いました。電車を通る予定の三重県に警報が出ていたけれど、なぜか心は落ち着いていて「なるようになる、なんとかなる」と思っていたら、結果、セミナーの始まる前にホテルに到着することが出来ました。

ただこのような場で学ぶ機会が得られたことがうれしかったです。とても贅沢な時間でした。ワンポイントでは「お母さんの反省から始めてください。お母さんに使った心をもう一度丹念に見つめてください。」ということでした。

た。そして田池先生から（お母さんの温もりが分かっていないので）「本当の世界では劣等生」というコメントをいただきました。厳しいけれど、私には大切なポイントであり、コメントでした。

だけど、愚かな肉は少し落ち込んでいました。その日のセミナーの後、お風呂に行ったら、香世さんが湯船で「ふるさと」を口ずさんでいました。少し離れたところで聞いていたら、何か心に響いてじわーっとな涙が溢れてきました。劣等生に補習授業をしていただいたように思っていました。

三日目の宇宙に向ける瞑想は「待っていました。私は宇宙に向けたかった。」という思いがしました。席でと前に出て向けさせていただいて、

何も分からなかったけれど、「よかった。うれしかった。」という感想です。

香世さんが前に出ての瞑想は、何か分からないけれど心が反応して叫んでいました。頭を回さず素直に思いを出していいこうと思います。

セミナー会場以外でも、お部屋の人も、参加者の方もみんないい雰囲気で、楽しくてやさしい時間を過ごさせていただきました。こんなすばらしい学びに集えてつくづく幸せだと思いました。だからなおのこと、しっかりと結果を出していきたいです。

帰るときに田池先生と香世さんに挨拶する機会があって、にっこり笑って手を振ってくれたこともうれしかったです。

セミナーを終えてから自分を振り返ると「なんて己が偉いんだろう」と思う自分ばかりが見えてきました。そこまで自分を尊べ立たせることができるのは、神を握っているからに他ならないと思いました。

「私は素晴らしい。私ほど素晴らしい者はいない。」この思いがこびりついている私はアマテラスに向いているのだと思いました。「少しは田池留吉に向いているだろう」とんでもない甘い考えでした。

もう一度、母に使った心を見つめることから始めて、お母さんの温もりを心で分かるようになることを目標に、絶対評価で日々反省と瞑想を積み重ねていきます。

思うことを大切にして、素直に心を見つめていこうと心新たに思いました。

こんな貴重な機会を与えてくださって本当にありがとうございました。

地域の皆さんと協力してやっていきたい

温かいものを感じて、帰ってくることができ
ました。

ありがとうございます。

己を表したい、己を認めて欲しいという思い
はもう卒業したいと思いました。

1、不足不満を心に溜めません。「ぶつぶつ
思う」のを止めます

2、瞑想日誌をつけます。朝、夫と一時間、

ひとりで一時間

3、時間を守る。

4、かたづけをしてから寝る。

5、ありがとうございます、喜び、幸せ、笑顔
を忘れません。

塩川香世さんの喜びの波動を、正しい瞑想を
続けていけば、こうですと、目の前で見せて頂
きました事、決して忘れません。

地域の皆さんと協力してやっていきたいと思
います。

「瞑想日誌」、もうすでに始めている

三日目の前半のセミナー（トイレ休憩前）、
体調が悪く、体調の心配ばかり。

田池先生の話は頭にすら残らず、心も外へ外へ。

「顔が暗い人が三人」「病気は自分が作っている」というような言葉に、先生に対する反発の
思いが、出てくる。

心はさらに外へ。セミナーのことは全く耳に入らず、怒りと、さらに強い胃腸の不快感のみを感じて暫くしたところで、十分休憩。

十分休憩。不思議なことが起こった。

誰も、目があつても挨拶をしない。避けて通られているような気がする。

何故かわからないまま、後半へ。

前を出て、宇宙を思うことになった。色々と

感じることもあり、心は自然と中へと向いていく。講話はすつと自分の中へ入っていくようになった。塩川さんの波動を思い、喜びでセミナーを終了。

なぜか先ほどと違い、声をかけてくれる人達。避けられていない。

なぜ、さつきと違っている。違うのは、私が心を外に向けていたぐらい。

それで気付いた。セミナー中、心は田池留吉から遠ざかっていた。

休憩中、すれ違った人達は、形でそれを示してくれた。遠ざかっていたのは私だ。田池留吉から離れている、と。

そこで、ふつと思つた。

これって、意識の流れと同じじゃないのか。

違うものに心を向け、勝手に避けられたと思
い、固まって、沈む。

一方、田池留吉に向いている意識達のみで進
んでいく。

だから、心を内に向けていれば、喜び、喜び
で、同じ喜びの意識同士が集まり、流れにのる。

セミナー前半の思いのまま肉を失っていれ
ば、私は流れから自ら遠ざかり、宇宙の藻屑もくずと
なるところだった。

この、感じた思いは違うかもしれない。

だけど、違ったら、違うよ、と信号がくる。
だから、今はこれでいい。

このことに気付かせてくれた意識は、なんて、
なんて優しいんだろう。

これが、今回のセミナーで感じた、一番の私
の宝物です。

そして、もうひとつ。

二日目にチャネリングしてもらったあと、先

生が「今出た人はスパツというのができない」
と言った。

二日目でグツサリ自分に刺さったのは、この
言葉だった。

本当に、肉でもスパツと止める・始めること
ができない。ダラダラが私だ。

でも、折角突き刺さった言葉だ。

母親の温もりを感じるために、反省・瞑想を
しっかりとやっていきたい。

そして、瞑想日誌。もうすでに始めている。

瞑想日誌に書くことは田池留吉を遠ざける思
いばかりなのに、読み返すと、何故か嬉しい。

闇を温もりへ返していきたい。
ありがとう。

自分が自分に伝えてくれたことを信じていきます

セミナー中に、「ふるさと」の歌を何回も歌う機会がありました。回を重ねるごとにビンビンと心に伝わってくるものがありました。「思い出そう約束」「たったひとつ真実 やつとやつと出会った」歌詞もピアノの伴奏も、全部、全部波動でした。歌っていると本当に気持ちよくなって、喜びが心の中から噴き上がってきて、なんてすごい学びなんだろうと改めて感じさせていただきました。

二日目の現象で田池留吉を思った時、自分の中のブラックの思いが、「愛へ帰りたい、愛へ帰ろう、ともに帰ろう」とドカーンと噴き上がってきました。エネルギーが中から外へと弾け飛んだという感覚でした。「あなたは広い、広い、本当に広い存在です。無限大に広がっていく喜

びです。そんなあなたを、どんどん信じてください。」波動の中で、そう自分の中から伝わってきました。

ブラックはマイナスではありませんでした。愛へ帰る、母なる宇宙へ帰るかけがえのない仲間でした。お母さんのぬくもりに触れて、マイナスの宇宙がプラスへと変わっていく。凄まじいエネルギーは喜びのエネルギーとなって噴き出していきました。それがただ嬉しくて、こうやってブラックとともにこの道を歩いていきたい、それが私の人生なのだ本当に強く思いました。

後から、そう言えば塩川さんのワンポイントメッセージがなかったなとちらっと思ったのですが、「波動の中で、自分が自分に伝えてく

れたメッセージがワンポイントメッセージなのだ、それを信じていこう。」と思うと、ストーンと心で納得しました。自分の中にすべての答えがあります。自分に聞いていけばよいのだと感じさせていただきました。

最終日の一番最後に、塩川さんが真ん中に出て宇宙を思う瞑想をした時、たくさんの宇宙のブラックたちが「ともに愛へ帰りたい」と雄たけびを上げているようでした。その時、宇宙の底の底の奥底に凝り固まった意識たちのことをふっと思ひ出しました。以前、自宅での瞑想で心に向けた時は、ぬくもりが全く届かなかった世界でした。暗黒の宇宙の中で、全てを拒絶して、冷たく、真っ暗で、かちんこちに凝り固まっている意識たちがたくさんたくさんいます。塩川さんの波動は、その底の底の奥底で凝り固まった意識たちにもつすぐに働きかけているようでした。今の私の波動では全く届かなかった母のぬくもりが、塩川さんの波動では

まっすぐに届くのです。本当に全く違うのだと心で感じさせていただきました。

ただ思うこと、思えることがどんなに喜びであるのか、今回のセミナーで何度も実感しました。その為に肉体を頂きました。自分との約束を果たすために、何としても肉体が必要でした。お母さん、お母さん、ありがとうございます。肉体細胞、ありがとうございます。思う心の向け先を、しっかりと確認して瞑想を続けていきます。

本当にたくさんの心の体験をさせていただきました。セミナーで感じた思いを自宅での学びに生かしていきたいと思えます。本当にありがとうございます。

やっと自分の中の エネルギーが……

八月十日からの二泊三日のセミナーは、私にとって、とても有意義で、厳しいものでした。

長く学ばせて頂いてアマテラス、アマテラスと言われ続けていましたが、やっと自分の中のエネルギーが何だかわかるようになりました。

それは、己一番でした。

三日目に宇宙に向ける瞑想で、初めて肉ではない広がりを感じました。

まだ、まだ小さいですが、この広がりです。一番の思いを見ていこうと思います。

ありがとうございました。



これが自分の現状なのか……

二泊三日ありがとうございました。

地域の方々から温かく送り出していただき臨んだセミナーでした。

何とも言えない温かい波動も感じました。

皆さんで何度も歌った「ふるさと」、嬉しかったです。

しかし、一番の収穫は、自分が、本当はどこに心が向いているのか全然わかっていないという現実を突き付けられたことでした。一日目、三日目と時間が経つにつれ、勉強の質が高く深くなっていくことが心でもはつきりと感じられました。でもそれにつれ、自分の心の見方が表面上にとどまっていることもはつきりとわかってきました。

正直落ち込みました。このセミナーに心では

ついていけない自分。これが自分の現状なのか、今までの自分の勉強はやってきた「ふり」をしていただけだったのかと。

何かをしつかりと握っている、「欲」という一言の言葉で片付けるのは簡単だけど、ではその欲の自身は何なのか、ちっともわかっていませんでした。今まで自覚していた「自身」は表面上でした。本当の自身、深いところの自身はわかっています。

この握っているものを自分でひも解いていかなければ一歩も進みません。まずはここからです。

私との「約束」を果たしたい

「故郷」の演奏を聴きながら、「ふるさと」を歌いセミナーが始まった。会場は温かであれしかったです。愛の霧吹きに喜んで飛び回っている姿をみて素直だな、ああ、素直だとあんなに喜べるのだ、見ている私もうれしくなつて喜んでいることを、体験させていただきました。

「愛を思うこと、愛に思いを向ける大切さ」「愛を思うことは喜び」を今回のセミナーで学びました。

そうだなあと思いながら、何度も何度も聞いて知っているけれど、ピンとこなかったのは実践が足りなかったと反省しています。

喜びのセミナーを終えた今、私との「約束」を果たしたいと思っています。実践して結果を

出す。言われたことをあきらめずに淡々とやる。信じてやるだけだと思います。

必ずやれば結果が出る、結果が出ないのはやっていないから。全くその通りです。

一日の中で、どの位、愛に思いを向けているだろうか。愛のグッズを使いこなせていないのでは？もつと愛のグッズをちゃんと使って五感で「そうだ！その通りだ！」と納得しながら信を強くするように進んでいこうと思いました。

今の私の心の基準はどこにあるのだろうか？いつも心はどこを向いているのか？

私は、自分からアマテラスを求め、アマテラスに縫すがったことが今回はつきりとわかりまし

た。私は、アマテラスの自覚が希薄でした。ワ
ンポイント、有難うございました。

私の思っている先はアマテラスだった。思い
を向けている先はアマテラスだった。

頭では理解できないことでした。

しかし振り返れば、私の人生はアマテラス。
言いたくないけど、心貧しく、愛なきものなり
で、そのことにも気づいていないお粗末でした。
自分を粗末にしてみました。

アマテラスに優しい思いを向けられるよう
に、そして、アマテラスと共に愛へ帰りたくい
思っています。

この学びは、人間のあるべき姿の基本、ある
べき姿に戻る、当たり前前の姿に戻る学びだと心
底思いました。真剣に学んでいきます。

「ふるさと」の歌ありがとうございます。ま
た皆といっしょに歌いたいです。

セミナー、有難うございました。スタッフの
皆様、有難うございました。



自分を小さな小さな中に閉じ込めていた

私には縁がないと思っていた少人数セミナーに思いがけなく参加させていただき、本当に感謝です。

本セミナーとは格段の差がありました。田池先生や塩川さんが真近にいらして、その波動がピンピンと伝わってきます。愛の波動が凝縮されていて八〇〇人の会場とは全然違うと感じました。本セミナーの会場でも愛の波動は同じように流れているのですが、やはり大会場では拡散されていくのはしかたのないことだと思います。

今回の勉強会で強く感じたことは、自分では「心を見ている」「私は意識だ」と信じてきたつもりでも、私の思いは「肉」の次元でしかなかったということでした。それがワンポイントメツ

セージで指摘された「自分を小さな小さな中に閉じ込めていた」ことだったんですね。

「もつと、もつと素直に心を広げていって下さい」塩川さんのメツセージを受けました。先生に促されて手を大きく大きく広げていった時、広い広い何もない無限の空間を感じました。肉のことなどどうでもいいと思いました。

私は「心、心」と言いながら、必死に肉を整えようと生きてきました。整えようとすればするほど、肉の世界はどんどん崩れていき、これでもか、これでもかというくらい何にもなくなりました。しかしすべてが愛でした。

肉の世界では悲しい、苦しい、辛い、くやし、寂しいことも、意識の世界から見ればすべてが愛でした。

「肉の心」と「意識の心」の違い、ああ、こういうことだったのかと、二十二年目にしてようやくはつきりつかんだような気がします。私が求めている真実はここにしかないと今まで漠然と信じて、私なりに真面目に学んできたつもりでしたが、「つもりはつもり」の域を出ていない、私にはスパッと切るいきさきよさがありません。いつまでものんびんだらりと肉にしがみついても、ぶつぶつ、ぐちゃぐちゃとやつてきました。

厚い雲間からようやくすつきりとした青空が見えてきた今、私はスコーンと厚い雲をぬって、あの無限大に広がる青空へ、宇宙へ心を広げていきたいと思いました。

様々な愛のグッズを用意して下さって、至れり尽くせりの方法で私たちを導いて下さっている先生、塩川さん、周りのスタッフの皆様、そして快く私を送り出してくれた岩手、青森の仲間たち、本当にありがとうございました。

ここからは、岩手ではセミナー以外、みんなが集まることがなかなかできないので、岩手の仲間に報告するつもりで雑談的に書かせていただきます。

・うれしかったこと

①台風11号が接近しているなかでのセミナーでしたが、私は八月十日は花巻空港から名古屋の小牧空港に飛び、名古屋から近鉄特急で榎原神宮に行くつもりでした。朝九時出発の直前、岩手の仲間のOさんから「台風だけ大丈夫か」とメールが入りました。それから延々と午後三時にセミナー会場に着くまで、飛行機が無事着陸できたこと、特急が運休のため急行で三時間かかって榎原神宮に着いたことなどを報告しながら、メールのやりとりをしました。

ここに参加しているのは私一人ではない、仲間とともに学んでいるんだと実感でき、うれ

しかったです。

② 同室のMさんに私の話を聞いてもらい、またMさんの話を聞き、全く違う人生を歩んできた二人だけど、求めてきたものは同じ、目指すものも同じ、「あなたは私、私はあなた」を感じました。

③ 二日目、お風呂呂に入っている時、陽子さんと静香さんが来られ、偶然隣に座られたので、少しお手伝いさせてもらうつもりで、陽子さんの背中を流させてもらいました。温かいやさしい波動が伝わってきました。陽子さんの背中は赤ちゃんのように柔らかかったです。お母さんのぬくもりとゼロ歳児の波動を同時に感じました。

④ ホテルの部屋の窓から真近に見える檀原の山々、やさしいなと思いました。それは夫の故郷伊勢の山々と似ていました。どこかなつかしさを感じました。

⑤ 杉村さんの生伴奏で「ふるさと」を歌えたこ

と。杉村さんの演奏、オーケストラのように重厚で、かつ子守唄のようにやさしかったです。（歌詞をこの三日間で覚えるぞと意気込んだようでしたが、頭で覚えようとしても、似たような言葉がたくさんあって、四番までなかなか覚えられなかったです。その点、子供たちは素直だからすぐ覚えられるんですね。すごいです。）

以上長々と書いてしまいましたが、体験談とさせていただきます。

母のぬくもりだけが心に伝わってきました

ふるさとの替え歌からスタートしたセミナー。あの歌詞は黙読しても凄いです。

前日約十時間半かけて移動してきたせいもあり、体は疲れきっていましたが嬉しくて、嬉しくて「嬉しさが空回りしないように……」と、思っていた一日目。

一番前の席に座って田池留吉の波動を直接感じ、涙が止まりませんでした。

今回は瞑想の時間を多くとって頂き、自分の思いとの対話をさせていただきました。

前回「優しくなって下さい。もっと自分の意識に素直になってください。」と言って頂いた事を実践して臨みましたが、今回も同じ事を言って頂きました。

「まだまだ優しくくない。優しくない現象は全て

自分の心の中にある。」

帰ったら早速実践してみよう。夫は「私が優しくなって行っているか？」を知るためのバロメーター。そう思うと楽しく嬉しくなってきました。

「ああ全ては自分だった」との思いで夫に接すると、相手も少し優しくなってきました。

そして今まで、毎日ただ瞑想をしているだけでしたが、帰ってきてから早速「瞑想日記」も付け始めました。

① お母さんとゼロ歳の瞑想をしている時に、中のほうでやっぱり少し引つかかるものを感じ、心を見てみると、幼い頃、母に酷く折檻された時の「許さん！」の思いにぶつかり、

まだまだ母の肉の壁にこだわっている思いに
出会いました。その後、「ただ思う。何も考
えずにただ思う」の原点に戻り、瞑想を続け
ました。そうすると肉の母が消えて、母の意
識だけ……

母のぬくもりだけが心に伝わってきました。
た。

②別の日に「私は愛です」に中々素直になれ
ない思いに心を見ていくと、今是の肉で無知・
エゴ・欲・快楽を満たすためにやってきた出
来事が出てきました。消してしまいたい過去
です。「私は愛です」と言える人間ではない。
この棘のように刺さった思い……。

でも、もつと心を見て行くと、「そんな自
分に絶望しなさい。偽の自分を崩していきな
さい。過去の事はもう済んだことです。でも
そんな自分から目をそむけ、心を見ないで、
自分は立派！と思っっている事がだめなんで

す。全て間違ってきたんです。そんな自分と
真向かいになっていきなさい。そのために必
要な事だったんです。」泥と、汚物にまみれ
て帰っていった先に愛が待っていました。「お
帰り。よく帰ってきたね」と待っていてくれ
ました。

ありがとうございます。今回のセミナーの
チャンスを頂き、ありがとうございました。

セミナーで伝えて頂いた事、実践して参りま
す。

同室になったTさん、あなたと色んな事をお
話して、「また原点に戻ろう」との思いが湧い
てきました。ありがとうございます。

また、今回のセミナー開催にご尽力ください
ました皆様、本当にありがとうございます。

心の中の喜びは今も残っています

夏風邪と台風11号の影響でセミナー参加の予定、手順が狂ってきました。

何一つと予定通りに事は進まなかったけれど、気がつくると全てがスムーズにセミナーに向けて流れていきました。

田池留吉に心を合わせるよう、田池留吉に心を向けるように努めていました。

セミナーは、ただただ、ありがたいの思いしかありません。会場からはやさしい、うれしい思いが伝わってきました。

田池先生いわく、「愛の道具を使って、楽しんで、喜んで、遊んでいったらいい、そこから愛のエネルギーを体験すればええんや、喜びとありがたいと笑顔を忘れたらあかん、夫婦なかよくしいや」。その言葉と思いが、うれしく伝

わってきました。

現象で、他力信仰の根つこの深さを心の中で体験できました。心のどこかにまだまだ、金光教を信じている思いがありました。心は騙せません。

おでんの大根の話がよく理解できます。でも、現象の後の心の中の喜びは今も残っています。

他力まみれの欲たれの自分が、何か、今までは全く違った自分の存在があるような気がしました。

他力信仰の反省は一筋縄では、事は運びません。それほど、他力信仰の闇は根が深く、複雑怪奇ということです。

それほど深く心の中に喰いこんでいるということでした。 やっと、他力信仰の根深さが解つ

たような気がします。

このセミナーから大きな大きなチャンスを頂きました。

瞑想後に、心の奥底から伝わってくる思いに心を向けてくださいとも教えていただきました。

瞑想後に、反省文を綴るということも教えていただきました。

田池留吉に心を向けると、私たちは意識、私は愛、愛に帰りたいと切実な思いが伝わってきます。金光教も愛に帰れるんだと、いや、愛に帰りたいと伝わってきます。

他力信仰で雁字搦めになったこの心を、一筋縄ではいかないけれど、この心が少しでも素直な思いで田池留吉を呼べばいい、愛を感じればいい、そんな自分とともに、このチャンスを生かしていきます。

檀原セミナーに参加できて、本当によかったです。

台風さん、ありがとうございます

私は北部九州在住で学び始めて七日程、まだ力量不足の状態ですが、今回のセミナーに参加させていただける千載一遇の機会を与えていただきました。

このことは不思議でしたし、本当にありがとうございました。

ただど一方で、田池留吉の指し示す方向での実践が不足しているという自己評価がプレッシャーとなり、素直に飛び込んで行けない、己れ偉い心癖を見せてくれました。

私は本当にセミナーに参加して学べる条件は有るのか。

ヨシ、これは自分への実験だ、まずはその思いを見ていくことにしました。

私のセミナーでのお勉強は、出席する前から

始まっていました。

出発当日は台風11号が四国・中国地方に上陸し、セミナー会場への行く手を遮っていました。肉での判断では、セミナー開始時刻に間に合うのはとても無理なことです。

それよりか交通機関は動いてくれるのか、そんな緊張感の中での出発となりました。

すべては自分次第。すべてを受け容れて自分を信じて、台風と共に学ぼうと思いました。

それが何と、セミナー会場には、開始時間の十五分前に到着することができたのです。

びっくり仰天の体験となりました。

「台風さん、ありがとうございます。確りと心が見れました。ともに学べました。ありがとうございます。」

セミナー会場到着までの嬉しいお勉強となり

ました。

セミナーで学ぶテーマは愛です。愛に目覚めること、いつもいつも田池留吉に心を向けて、思うことが、どんなに大事であるのか学びます。

会場では、本物を生で感じるお勉強となります。このことを思うだけでも何となく嬉しくなっていました。

だけど現在の私は正しい瞑想はできていませんし、お母さんの温もりは遥か彼方なんです。

私は早くお母さんの温もりに出会いたい。急いで故郷に帰りたいのです。

そんな欲っタレ、エゴ、無知が詰め込まれた真っ黒けな自分を感じられます。

そこでワンポイントメッセージを受けました。

ここを外せば一歩も前には進めない、これらの自分の学びへの課題となります。

「他力に使った思い、念じる思いを確り見てください」と伝えていただきました。

ハイと素直に言えたことが嬉しかったです。ズバリでした。納得しました。

「他力の闇で一杯です。肉のレベルで学んできますよ。正しく学びましょう。サボるな。」と聞かえてきました。

本当に私はもうこれ以上、自分に知らん顔はできません。なぜ正しく学べないのか自問自答して自分の心に尋ねていきます。

そして、欲の思いをしつかり見て自分を修正していかねばならないと強く思いました。

そして、その証として瞑想日記を記録していきます。

学ぶことは成果を出すこと、自分に優しくなっていくこと、日々の瞑想日記を糧にステップアップを図つていこうと強く思いました。

そして、愛はプラスのエネルギー、愛に心を

向ける、愛を流すこと、愛を受けることを、愛のスプレーや愛の円盤等の愛の道具を使って楽しく学ぶことができました。

だけど自分で思っていないなくても、思っていることがあるのですね。

これはよほど心をつぶさに見ていかないと気がつかないと思います。

もうないと思っていた思い、神仏を握っていた残影を、ここを見ていく大切さを知りました。学びが一步も進めない原因の一つを学びました。

セミナーのオープンは「故郷」の詩で始まります。

故郷の詩は学びへの丹田呼吸でした。

会場は愛の部屋となり、「故郷」の詩の粒子が漂っています。

仲間達と共に合唱すれば意識の流れが言葉と
なって、それはそれは突き上がってくるものが

あります。

もうこれだけで充分です。

もつと真剣に学ばんといかんなあ。こんな思いが湧いてきました。

故郷の詩は天来の響きなんですね。確りと体験しました。

そして、最後の宇宙を思う瞑想は素晴らしかったです。

鈍感な私にも響いてきたんです。

「こんなにも愚かな私でも帰っていきけるのですか。そうですよ、ともにともに帰りましょう。みんな一緒、帰っておいで。」

こんなに鈍感な私にでも感じられる、この響き、波動とはいったい何なのでしょう。

「意識の流れは、どの人の心の中にも届きます」と伝えてくださった事は本当だったんだなと強く確信できました。

私は今回、生の本物のセミナーを体験できて本当に嬉しかったです。

台風さんとお友達になりました。学びの仲間もできました。

故郷の天来の響き、天来の友三人衆が出現しました。心を見る大切さ、思うことの大事さ、正しい瞑想の実践、波動の違いの体験、沢山沢山学びました。すべてが生で本物でした。そして愛です、一つでした。

今回の体験をこれからの自分の学びに、そして地元九州の天来の仲間との学びに有効に反映させていきます。

参加できたこと、とってもよかったです。ありがとうございます。

田池留吉先生、塩川香世さん、杉村和子さん、UTAブックの皆様、学びの仲間達、本当に本当にありがとうございます。



なぜ他力信仰の強い土地に住んでいるか？

セミナー当日は、台風の影響で電車が動かず急遽、車での参加になりました。会場までは五時間近くかかりましたが、不思議と時間前に着き少しの疲れも感じませんでした。

セミナーでの私のワンポイントは、なぜ他力信仰の強い土地に住んでいるかという事でした。私は又同じこと言われた、少しも進歩していないんだと思ったら、情けないやら悔しいやらで、私は意識を受けてくださった杉村さんに「私は南無阿弥陀仏なんか嫌いなのに、どうして？」と訊きにきました。

杉村さんは困ったように「遣ってないとか嫌いとか、そんなの冷たいんや」と言われ、その通りと納得です。

そうです、私は冷たかったのです。その通り

です。嫌いという事は、裏返せば好きということ、祈るということが大好きだったのです。

私の過去世が、どれだけ仏を信じて念仏を唱えてきた事か。親鸞、蓮如を崇拜して、祈って拝んできました。心で実感したとき、どれだけ私の過去世が必死で私に伝えてくれたのかと思ったとき、過去世の一人ひとりが、とても愛おしいと思えました。

「御免なさい。私は本当に冷たかった、冷たかったです。」

私にとって、仏さんの存在は、お年寄りが死が近くなったら拝むものと軽く思ってきました。でも、私の心の中は違っていました。しっかりと祈っています。拝んでいます。しがみ付いています。そんな自分を認めたくなかっただけ

でした。

苦しい苦しい過去世に出会うために、あえて苦しい土地に産んでいただいた私です。何度も伝えて頂いたのですが、己が偉くて認めたくなかったのです。過去世のことなど分からないと逃げていただけでした。本当に冷たかったです、自分に冷たかったです。

田池先生 杉村さんそしてUTAブックの皆さん、ありがとうございます。



もっと、瞑想の時間をもっと下さい！

今回の少人数セミナーに参加させてもらって、田池留吉に思いを向ける事が、どれほど大事か……心で強く感じました。本当に日々の生活の中で、常に田池留吉に思いを向けているのか。田池先生は「私は命がけで、この学びを、セミナーでの時間を過ごしています」と言われているけれど、私はそれに対してどうなのか。気がつけば、肉の生活に思いを向けている自分がいました。

瞑想の時間も確保して、「自分なりにやっています！」とはいえ、それは所詮うわべだけの勉強にすぎませんでした。

欲とエゴを丸出しにして、全く自分に対して誠実ではありませんでした。本当に本当に申し訳ない気持ちで一杯になりました。

田池留吉に思いを向けると、どんな思いが響

いてくるかを確認する事が大切だという事を、改めて思いました。

更に「もっと、瞑想の時間をもっと下さい」はい、本当にその通りでした。「何かをしてから」ではなく、まずは瞑想。そして毎日の生活の中で瞑想の時間を、ゆったりとした静かな時間を、自分で確保していこうと思いました。

ただ、自分の中に向けていくだけ、愛を思う喜び、愛へ帰る約束、愛のふるさどが心の中に響いてきます。

今度こそ本当の自分に素直にやさしくなっていくます。

三日間、このようにお勉強させてもらえる機会をもらえた事、本当に嬉しい嬉しい気持ちで一杯です。ありがとうございました。

愛へ帰る喜び、愛を思う喜び

はじめは、本当にこんな私が参加させてもらっていいのだろうかと思う不安と緊張感がありました。ただせっかくのチャンスだと思っ
て喜んでうれしく参加させていただきました。

回を追うごとに凄くなっていると思っ
ていましたが、本当にあの場は凄いです。温かく
やさしく喜び一杯、言葉はありません。ただ
ただうれしく、心は喜びで二泊三日が一瞬の
ようでした。

長い間セミナーに参加させていただきました
が初めてのことばかりでした。

講話で「思う」ということを強調されました。
あまりにも軽く捉えています。田池留吉を
思う、本当の自分を信じる信のなさを強烈に

感じました。本当の学びをしていなかったと
思いました。

あれから「ふるさと」の「愛へ帰る喜び、愛
を思う喜び、みんな一つこの道」のフレーズが
ずっと心の中に流れています。

宇宙に向ける瞑想も今まであまり感じられな
かったけれど、少しずつ、少しずつ響き、最後
は、どんどんどんどん広がって行って、知らな
い間に立ち上がっていました。ほんとうにうれ
しく、喜びよろこびでした。

家に帰ってからホームページがどんどん心に
響いてきます。心から「お母さん、お母さん、
ありがとう、生んでくれてありがとう」という

思いが溢れます。

本当にありがとうございます。瞑想を続けていきます。

愛の噴霧器も、先生がする人、してもらう人の波動で違うと言われますが、そのことも今回体験することができました。



前の宗教に心が向いています

すごい場所に参加させていただきまして、ありがとうございます。

ワンポイントメッセージの「前の宗教に心が向いています」は、「エッ！」という感じで真っ白になりましたが、私の心は覚えていました。

そのT氏とは一瞬の出会いでしたが、一言、

「あなたと私は出会うようになっていました。」

その言葉は、「私は素晴らしい」「特別」「認めよ」の心を喜ばせてくれました。

熱心に通ったわけでもなく、集いには参加していませんでした。それでも、田池先生が講話の中で話されていた「初恋の人だった」と、心が答えてくれました。

その後、自分たちのお部屋に帰っての「反省」「瞑想」は、私に本当に大事なことを気付かせ

てくれました。

「特別」「己一番」「素晴らしい我を認めよ」、こんな思いが、どれほど、どれほど、母の温もりを蹴散らし、宇宙を汚してきたか……。涙、涙、涙、懺悔、懺悔です。

でも、私はこうして「愛に帰ろう」って、学びの中にいる。喜んで喜んで、もう一度、やり直そうと思えました。参加させていただいて、ありがとうございます。

もっともっと素直に心を開いて下さい

今回のセミナーでの私の体験は、「田池留吉の愛」と「自分の内なる喜び」でした。今までの自分は、愛を感じたい、瞑想をして愛の温もりを感じたいと「愛、愛、愛……」と心に叫び、早く感じたいと焦っていました。でも今は、「愛」の文字を見ただけでこみ上げるものがあります。初日、先生が「思うことが大切、大事です」と言われました。

今までの自分は「感じたい」の気持ちが強くと感じるため頭の中で「愛、愛、愛、優しさ、温もり、喜び」と言葉だけを繰り返していました。今回の先生の言葉で、感じたいというのではなく、「田池留吉を思う」「愛を思う」ただ「思う」だけで胸が熱く、こみ上げるものが出てくる体験をしました。部屋に帰り、一人で本を開いて

も開いたページの文字を見ただけで、思いが通じるようにこみ上げてきます。

二日目には、塩川さんからワンポイント・アドバイスをいただきました。このアドバイスは今の自分の状況を現し、自分の知らない内なる自分を言葉で示してくれたものでした。喜んでいる嬉しい自分があったのです。

今回のセミナーの参加では、自分が基準に合っているのか、参加するまで不安を抱えていました。肉の自分は「参加しても良いのか」の気持ちを抱え会場に向かいました。しかし、この二日目のワンポイント・アドバイスで内なる自分の意識の喜びを感じさせていただきました。アドバイスの内容は「もっともっと素直に心を開いて下さい。あなたの心の中に優しい温

もりがある事を信じて、もっともっと自分の思いと、真向かいになってください」というものでした。

肉の自分は不安でいっぱいだが、心の中は喜んでいたのでと思い、このセミナーに参加させていただいた皆さんに感謝でした。

また、今回は二人部屋となり、同室のSさんとは、UTA会のセミナーでは話す機会もなかった方でした。団体の中では別行動をしそうな相手でしたが、二十四時間、行動を共にし、話していると共通点も多く、今回同室になったのも、何か意味があるのではと思いました。

今回のセミナーも肉の環境とは違い、自分には大きな意味があったのだと、ひしひしと感じます。

皆さん有難うございました。



イチからやり直しです

六月のweb瞑想会で「この地方は神を握っている人が多い」と指摘がありました。他方信仰の強い土地なので仕方がないと思いつつ、私はそういう類の行事には参加しないし、この学びの方に向いている、以前と比べたら変わってきたと思っていました。本物なのかは自信はなかったのですが、わかってきたつもりになっていました。それは頭の判断でした。肉的には体に次々と現象が出て、紹介状を持って病院巡りの状態ではありました。

七月下旬に塩川さんに「破門だ」と言われる夢を見て、榎原で致命的な事を言われるような恐怖がありました。夢で予感する感覚を自分の中で誇りつつ、不吉なことが現実になるのではないかという恐怖は肉基準でした。現象で己を

表すようなことをしてしまふのでは、と予想はしていましたが、ワンポイントメッセージに反応して、気象も何もかも意のままに動かしてきたという思いとともにエネルギーが噴出してきました。セミナー数日前から台風11号の動きを見守っていて、気象庁のHPやウエザーニューズで空港や地域の時間毎の暴風域に入る確率をチェックして、十日出発の飛行機予約を九日に変更しました。九日に飛行機は予定通り飛び、絶対、着陸すると信じていましたが、機体が揺れる時間も長く、緊張でした。セミナー参加に關してだけは気合いが入り、本気です。

正直に言いますと、セミナー最終日に大阪で大好きなアーティストのずっと見たかったトリオライブがあり、そちらに向ける思いも本気で

した。以前から見に行ってみたいと気になっていた建物が橿原の地にあることに気がつき、そちらも絶対見に行きたい。「絶対」という欲欲です。ライブは行きませんでした。セミナー前日までにはライブに思いが向いていました。キリストの世界に通じていると感じてはいましたが、「我は神なり」のエネルギーは心の底から噴き上がってきました。出してみて握っている現状がわかりました。念力パワーの密教の世界、宇宙のパワーに通じていると誇る思い、根深い思いはまだありました。

「思う」ということについての説明の中で意識しなくても思っているというような内容について、心当たりはありました。理不尽な現象がたくさん起こります。地域の学びの仲間内で橿原セミナーの前に大噴出がありました。私は間違っていないと自分の正しさを何があんでも押し通し、今までの流れの納得いかない点を並べて、責めて責めて強行突破でした。

私の受け止め方のズレもあるかと思いますが自分が意識しないエネルギー、念じるエネルギー、現象化していると思います。肉体細胞は受け止めてくれていますが、シグナルを発しています。間違っている、やめていこうと頭で思ってもエネルギーは即、噴出です。すさまじいエネルギーを、なぜ私に向けてくるのかと、母を、回りを呪ってきました。相手のすさまじいエネルギーは私でした。私のエネルギーを見せてくれました。セミナー最終日の最後の現象はひっくり返ってしまいました。映像を見たら飛び跳ねている自分に驚きました。肉は覚えていません。それほどの衝撃でした。

昨日の学びの仲間とのスカイプ瞑想会で「良かったね」と言われたことが嬉しかったです。イチからやり直します。田池先生、塩川さん、関係者の皆様、地域の皆さん、貴重な機会ありがとうございました。

自分の勉強のために書いておこう

「自分の勉強のためにも書いておこう」と思われましたら、短くても長くても結構ですので、八月二十日までに、このメール宛てお送りください」とありましたので、箇条書きで書いてみました。

- 1 とにかく反転していく。
- 2 マイナスからプラスへ思いを変えていく。
- 3 過去のマイナスの私が今世、命がけで生まれてきた事実があった。
- 4 死は怖くない。
- 5 必ず目覚めて帰る。
- 6 厳しいのは当然、そこを突き抜けないと何も分らない。
- 7 誰も救うことはできない、自分は自分で

しか救えない、人を頼らない、自分の足で進むのみ。

8 決心すると心が落ち着く。

9 「ありがとう」と自分に言ってみた、涙が溢れた。

10 「ありがとう」と自分が答えた。

11 自分が自分を支えている。

12 お母さんと呼んでみた、涙が溢れた。

13 お母さん、ありがとう。

14 私は意識、永遠に存在するもの、意識はひとつですと、唇が動いた。

15 眉間が緩み、何度も「お母さん」と呼んでいる。

16 お母さん、ありがとう、心からありがとうございます。

- 17 頭を使わないでお母さんを思います。
 - 18 くの歌が浮かんできたから、お母さんを
思い浮かべて、お母さんと呼んだ。
 - 19 愛の円盤、ありがとう。こちらこそ、あ
りがとう。三次元と異次元が存在する。
 - 20 出産や呼吸は力を抜いて楽に。
 - 21 無理に頭を回さない。(あれやこれやと肉
の私は思い悩んだ人生だった。)
 - 22 肉は程々。
 - 23 私は意識、波動、エネルギー、愛、母の
温もり、優しさ。
 - 24 意識の法は厳しく、優しく、単純で矛盾
なし。1+2=3
+(プラス)か-(マイナス)か、真か偽か、
永遠か一瞬か、無限か有限か、意識か肉か。
- *自分を大切に、日々、意識の法を役立てて、
今世の肉を終えていきたいと思いました。
ありがとうございました。



歌うたびに心が温かくなりました

セミナーで、みんなと歌ったふるさとの替え歌が優しく心に響き、歌うたびに心が温かくなりました。

忘れていたふるさととは、ここだよって、ここに帰っておいでって、ストレートに伝えてくれました。

先生の講話を聞いていると、ただ涙が出ました。愛の噴霧器による実習も、会場に愛がいっぱい広がって、嬉しいだけでした。

田池留吉に心を向ける瞑想で、ひとり、ひとりに嬉しいワンポイントをいただきました。

パワーを求めてきた心をしつかりと見ていきます。

過去から現在に至るまで目の前の肉、形の中で自分の思いを満足させようとパワーを求めて

きました。

そのエネルギーのままに、ただ頑張っていました。苦しいだけでした。

心を見て、自問自答しながら、「愛に帰ろう、愛しかないよ」と自分に語っていきます。共にふるさとに帰っていきます。

嬉しいセミナー、ありがとうございました。

自分に恥ずかしかったです

せつかくのチャンスを頂いたのに、自分に対して恥ずかしかったセミナーでした。

頭をクルクルと回し、「瞑想も本当に感じているの？」と疑ってばかりいました。

最終日、宇宙に向ける瞑想で前に出た時、先生がひとこと「前に出た人の瞑想を参考に……」で、またまた恥をかきたくないと肉の思いが入った瞑想をしていました。

文字通り命がけの田池先生の真剣さの前に、「なんと私は肉中心で意識を信じてこなかったんだろう」と思うシーンがいっぱいありました。「私たちは肉ではありません。私たちは意識、エネルギーです。」その言葉をとてもとても軽くとらえていたと思いました。

長い年月を学び、本当に遅まきですが、これ

からは自分に正直に素直に学んでいきたいと思っています。

杉村さん伴奏で、みなさんとの「ふるさとの替え歌」は、温かく心の隅々まで染み渡りました。

他力の標的にしてしまった皆さんや、たくさんのお別れした人たちと、これからも一緒に歌っていききたいです。

そして瞑想日記ですね。毎日一行でも積み重ねていきたいと思っています。

自分に素直になりなさい

結論から言えば、勿論、「嬉しい」「良かった」に尽きる。先生の言われることが、素直に心に入ってくる。今までは、一度肉の頭で考え、理解しようとしていた。理解できたものだけを受け入れ、そうでないものは、はねつけていた。それが今回は、不思議と肉の頭は働かず、素直にすーっと心に入ってくる。一言一言が心に響いてくる。霧吹きされると、嬉しさがどんどん出てくる。母を思っても、以前は苦しいばかりであったが、それが少し和らぎ、温もりさえ少し感じられるようになった。

そう簡単に素直になれるはずがないのだが、すこしばかりではあるが、素直になれたのは、なぜだろうか。

まず、会場の雰囲気良かった。学ぼうとす

る気持ちで、全員一つになっていた。心地よい緊張があった。それらと共鳴するように嬉しさがどんどん出てくる。

それともう一つ、自分の中に少し変化があった。参加すると決まってからでさえ、「自分の資格があるのか、他に適任の人がおられるのでは」とか、いつもの如くウジウジとした思いが出ていた。先生の言葉の中に「自分に素直になりなさい」というのがあったのを思い出し、自分自身に聞いてみた。本心はどっちなんだ、「行きたいのか」「行きたくないのか」と。

結果はもちろん「行きたい」。それならこの思いだけで十分ではないか、他の懸念は「考えることは要らない」と思えるようになった。だから参加しても、素直な心そのまま居られたの

だと思っ

素直にと言うけれど、どこまで確固たるものになっていいのか分からない。また、いつ旧に戻るかもしれない。この文章一つを取ってみても、素直に書いているのか、飾る気持ちは全く無いのか、よく見せたいという思いは消えているのか、頭ではそれらが無くても、本音はどうか。ゆるぎないものにするためには、揺れ動く心を絶えず見ていくしかないと思う。

今回を契機としてこれを肝に銘じてやっていきたい。



「命懸けの学びだ」とやっと思えました

UTA会とは違った環境を頂きまして、本当に有難うございました。

今迄何度も耳にしていた「箸^{はし}を取るたびに思うタイケトメキチ」「田池留吉を思う」今回はストレートに心に入ってきました。

今までのセミナー参加は、頭で理解していただけで、心は空っぽでした。

田池留吉からのメッセージはいつも届いていたのに「わからない」と放っていた事にも気付かせて頂き、何もわかっていなかった事にも気付



かせていただき、本当に嬉しいセミナーでした。先生が仰るとおり「命懸けの学びだ」とやっと思えました。

「絶対評価」「思う」この二点、そして「心を見る」「心で感じる」を学んでいきます。

一からです。ありがとうございました

町が「お帰り」と出迎えてくれます

WEB瞑想会セミナーに参加させていただいたこと、ほんとうによかったです。

まだ、学びの入り口にも立っていない私でした。

これからお母さんの反省と自己供養をやっていきます。

帰り、檀原神宮前駅から自宅の最寄り駅「富田林駅」に降りたら、富田林の町が「お帰り」と言ってくれたような気がして、「えっ!？」と、思っただけで、いつもの富田林駅の風景です。でも、その日は、温かく優しい思いが伝わってきました。

「こんなに優しい町でお勉強をさせてもらっているんだなあ」と思いながらバスに乗り、家に

入ると家がまた「お帰り」と出迎えてくれます。

私の足元では、飼い猫の「花」も大喜びでニャーニャーと鳴きながら転がっていました。

私は、今までずっと優しく温かい中に存在していたんだと思うと、胸がいっぱいになりました。

思うことが大切ということを心に刻んで、今日もお母さんの反省ノートを開いています。

WEB瞑想会セミナーに参加させていただいてありがとうございました。

やっと自分の中にあつた 「この思い」に出会えた！

今回の榎原セミナーで、ひとつスッキリしたことがありました。自分の向かう方向です。

今の学びの環境が当たり前前だと思っていたけれど、田池先生、塩川さん、古くから学びを続けてくださった方々に繋いでもらって「今」がある。自分は受け身な姿勢で学んでいた。

違う。私は一緒にやっていきたかったんだ。そんな思いでした。

今世、産んでもらって、やっと、自分の中に確かにあつた「この思い」に出会えました。

今、こうして感じていることが、とてもうれしくて、「自分との約束を果たすんだ」という気持ちになりました。

気持ちを新たに、学びを進めていこうと思います。

「愛の噴霧器」体験談

◇家中ふわりと柔らかい波動に

私と孫の虫刺され、もう一人の孫の口内に出来たオデキと噴霧すると、孫たちは喜び「気持ち良い〜」と……。

私の目が、とてもシヨボシヨボして開眼しているのが辛かったので噴霧すると同時に、心の底から突き上がる喜びが、「待っていた、待っていた」の雄叫びでした。申し訳なさでいっばいになります。

いがらつぽい喉に一吹きすると、「お前の沢山の呻き声を聞いてくれ、待っている沢山の呻き声を……。」こんなに私の宇宙は待っていてくれているというのに、私の肉の甘え、優柔不断さを痛感しました。

噴霧することで、瞑想に入るのが速いです。

五年生の孫が夏休みで数日泊まり、「ふるさとの替え歌」を殆ど覚えていた。

三年生の孫も、一緒に口ずさみます。

お泊り最終日、二人とも興奮止まずで中々就寝しない中、「喉がいがらつぽい」という二人に一吹き二吹きと噴霧すると、二人とも落ち着いたのには、驚いた。その後、隣の部屋では夫が就寝していたが、私の「ふるさとの替え歌」の口ずさみに、三人で合唱になり、五年生の孫は、「全部暗記出来た〜」と喜び、二回三回と繰り返しているうちに、二人とも何時の間にか眠りに着いていました。

とても和んだ一時ひとときでした。子供は素直ですね。

翌日、水替わりと称してビールを欠かさない夫は、朝から一滴も口にせず、夜は、「お茶を飲もうか」と言うのです。

ビックリ!!

朝から晩までアルコールを一滴も口にせず、「お茶」ですって!!

「では」と、愛の急須と愛の湯飲みで、「二人差し向かいのお茶」しました。

結婚して初めての出来事です。

ビックリ!!です。

その後、「家中ふわりと柔らかい波動に包まれているなあ」と感じました。

「愛の噴霧器」が届いてから毎日、家中噴霧し続けています。

愛のアネルギーは、凄いです。

そして、この日から二日程、何度も確かめました。我が家は無臭でした。

凄いことですね。

これが永く続くように、心の向け先を忘れる時間を少なくしていきます。

一瞬にして体験しました!

愛の噴霧器に思いを向けた瞬間、噴き出ししました!

「愛に帰る 愛へ帰る
ふるさとへ」 愛へ帰る人生が、私たちの人生でし



た。

「ともにともに帰ろう たったひとつ真実」
愛に帰るその為だけに産んでいただいた。

「わたしは愛です あなたは愛です」と、真つ直ぐ立つ「愛の噴霧器」は、正に田池留吉でした。

「帰っておいで、我が家に」 心に流れます。

「どんなときも待っている」 心に流れます。

待つてもらっていた、待つてもらっている。

こんな幸せな存在はない。私たちは、初めから幸せだったんだ。喜びだったんだ。感謝です、

歓喜です、感謝です。

「私たちは、愛の中に存在する愛でした」を、私たちに伝えて行こう。

歓喜です。

一瞬にして感じました。体験しました。

◇霧吹きを自分に……

何時も朝一番に、愛の水素水を作り、そのほとんどは、飲用に、残りの少しを霧吹きに入れて試しています。とにかく、あの水素がぶくぶくと出ているのがまず何と言っても嬉しいですね。それに、朝起きてすぐに、これをするので、とても気持ちがいいです。もちろん水素水は、色々な効果がありました。歯茎が、ちょっと緩い時等、水素水を口に含んでいると、作用しているのが分かりました。そして、もうそのすぐ後は、歯茎が引き締まった感じでした。そう言えば、最近カルシウムのサプリメントが切れていました。

それと、必ず、この愛の水素水を飲んでいると、宿便が少しずつ出ていると思います。それは、食べ物と排泄の関係を保つてチェックしていると、納得します。だから、体にいいと思います。自分の頭では、理解出来ない所で、この

水素水が、体の中に入って作用してくれているのを感じています。そして、それは、細胞レベルで働いていると思います。

本題の霧吹きですが、私は、その飲みながら、朝ですから、霧吹きを自分に向けて、頭から顔から吹きかけます。これが何とも気持ちがいいです。もちろん目が覚めますが、夏ですから、寒くないので、いいです。その後、手のひら、足の裏とまずかけて、しばらくしてから、腕、足とかけます。気持ちがいいですよ。気持ちがいいだけでなく、確かに作用していると思いますが、まだ始めたばかりなので、何がどうなったという訳ではないですが……愛のその細かい水滴が一面に広がって、とてもとても嬉しいです。それから、残りを部屋に歩きながら吹きかけます。「嬉しい」「嬉しい」といつているようです。それと、これは、はつきりと目に見えた事ですが、トイレの便座（木製）を、思い切って、この愛の霧吹きでかけてから、拭いてみました。

何と、本当に、ピッカピカになりました。それに、なんか、全く匂いが無くなったようです。それに、何ととっても、その木が、嬉しい嬉しいといっている様に感じました。今でも、つるつる状態です。これは匂いを消すという実験でやったのですが、匂いというよりも、その木材の質が根本的に変わってしまったように感じました。愛の意識、嬉しいです。という感じです。

それと、草刈りをしていて、何カ所も、蚊に刺されました。すぐに、愛の霧吹きをかけたらかゆみが無くなり、それで治まってしまいました。さされた痕はもちろんありますが、かゆくないので、ああそうか、といった感じです。これは、はつきりと効果が、ありました。

それと、今、癌の人が、私にやってくれと頼まれているのですが、西洋治療が体にきつすぎても、もう体が叫んでいるのですが……愛の水素水を持って行ってあげました。それを、小さいタオルに浸して、患部に当ててみられたらといっ

て、浸したものをあげました。霧吹きをふきかけた時は、少しびっくり状態という感じでしたが、この愛の水素水で浸したタオルは、効いているらしく、何度も変えてくれと言われ、私がいる間中、変え続けました。喉なので、しゃべられませんが、きつと気持ちがいいに違いありません。さもなくば、自分から変えてくれとは言わない人ですから。

という訳で、一応、今日はここまでにします。海外郵便でなかなか届きませんが、送っていただけで、ありがとうございました。本当に、この愛の水素水と、霧吹きで、生き返ったように感じています。ありがとうございます。

◇霧の波動がモニター画面を通して

我が家の体験談は、ほぼ消臭剤として役立っています。

1 / ある日長女が食卓テーブルにあったキムチセットが少し古かったようで匂いがきついと悲鳴をあげました……とつきにスプレーを思いついたので二、三回キムチセットの上を軽くスプレーをした瞬間に臭かった匂いが消えました……家族五人がびっくりしました。

2 / これはひょうとしたらもつときつい匂いにも効くかもしれない……
そこで今度はレストランの駐車場で実験。いつもこの駐車場は下水のマンホールがあり、そこからひどい匂いが出てきます。いつもは車から出てレストランに入るまで息を止めて走っていきまます。今回は車から降りてすぐに自分たちの顔に向けてスプレーをします。す



ると嫌な臭いが消えました。

3 / 家のリフォームでカビキラーをかけた壁から相当きつい化学剤の匂いが消えませんでした。そこで今度もスプレーをその壁と自分の顔に向けて数回かけました。やはり匂いがほとんど消えました……。以上ですが自分の顔にかける事が大変効果があると思えました。

4 / この愛だの榎原セミナーでの実況中継で田池先生がスプレーを何度もかけていましたがセミナー会場におけるその霧の波動が家のPCモニター画面を通して何度も同時に感じたのは驚きました。
5 / こまめにいろんな局面でスプレーをかける実験をしていきたいと思えます。

るんだなあをつくづく思いました。

この愛の水素水は愛の化粧水です。肌はすべすべ、汗も知らずの猛暑を過ごしています。ありがとうございました。

◇愛なんだ、意識なんだ！

第二十一回UTA会セミナーで田池留吉先生が反転した水素水をスプレーに入れ、「これは愛です、私です」と言われました。その時に私は「そうなんだ、愛なんだ、意識なんだ」と思い直しました。それ以前は、反転した水素水は愛のエネルギーが働くとは思っても、水素水は物質という思いをもっていました。

物質という形をもっても意識なんだと、改めて思い直しました。愛に反転した水素水の霧は湿疹にも良いし、体や口がくさい人や匂いのする動物にかけると匂いも消えると説明して

いました。

その霧をかけてもらう人を見ると、皆、嬉しそうです。私もどんな感じか、かけてもらいたくて、先生の所に行きました。

目が重たくてすつきりしないという程度でしたが、目にかけてもらったとたんに、視力が上がったみたい、眼鏡をかけていないのに、ピントが合って良く見えるのです。それまでは眼鏡が目合っていない人に、先生が眼鏡を反転するのは見ましたが、私の眼鏡はピントが合っていたので、反転してもらったことはなかった。反転した後に皆が「良く見えます」と言っても大したことはないだろうと思っていました。自分が実際体験すると、「加齢とともに視力が落ちるのは当たり前」と思っていただけに、愛のエネルギーで眼鏡をかけていなくても、今までよりもピントが合うのはいとおもいました。もちろんその後も眼鏡をかけていますが、眼鏡を外した時のピントが合った感じは、七日

たつても変わりませんでした。愛のエネルギーで肉体の状態を変えるのは凄いいと思いました。

セミナーの輪の中に出た時に、田池留吉先生が愛の水素水の霧を空間にかけた途端に、「うわーっ」と心の中からこみあげるものがあつて、すごく嬉しくなりました。

それは私だけでなく、その場に出た人たちが喜び反応していました。直接その霧が当たったわけではありませんが、霧をかけた近くにいる私の心が、すつと広がり、目を開けているのに、瞑想状態で愛の波動を感じているのと同じでした。嬉しさがずっと続き、嬉しい嬉しいという心から伝わってくる思いに、愛のエネルギーは凄いいと思いました。反転した水素水の霧は物質ですが、意識として愛のエネルギーを流している、愛の波動に心が合うことが大切なのだと思います。

そのほかの体験では、足に湿疹ではありませんが、赤くはれている小さな箇所が二か所あつ

たのですが、家で反転した水素水をスプレーに入れ、田池留吉に心を合わせ、その所にかきました。何分か後に見ると薬もぬっていないのに、赤い色がずいぶん治まりました。何度かかけると翌日には赤い個所の大きさが小さくなり、一か所は色もほとんど治まりました。

そして消臭については、愛の円盤や愛のカードを入れると冷蔵庫などの消臭に良いとは聞いていましたが、我が家の冷蔵庫は新しいせいもあったのか、愛のカードを入れても消臭の効果はわかりませんでした。セミナーに行っていたので、トイレの掃除はまだでしたのでトイレがアンモニアの匂いがしていました。反転した水素水をスプレーに入れ、トイレに吹きかけると匂いが半減していました。汗をかいたときにも、水素水の霧を吹きかけるとすぐ匂いが取れました。

愛の水素水に限らず、愛のグッズを使うときには、田池留吉に心を合わせることが大切と言

われています。だから使うときに嬉しくなりません。愛の水素水の効果だけに注目するのではなく、しっかりと愛を信じて、愛のエネルギーが存在することや愛のエネルギーは凄いということを感じて行きたいと思います。

◇ある日、愛の噴霧器を思うと、
とても幸せになりました

とても信じられないことですが、本当です。目を疑いました。

切花に、愛の噴霧器をかけたんです。

「これで変わるはずないよね。」

そんな思いでした。けど、なんと、二日ほど経ってから見ると、腐っていた部分（茶色に変色していた部分）が、元のエンジ色になっていました。センコウ花火という花です。ワレモコウに似た、つぶつぶの。

「ええっ!!! 何回も見て、これ、エンジ色やんな?」

娘に聞いてみました。娘はその部分が茶色になっていることを知りません。

なので、残念ですが、証明者にはなれないですが、本当です。

それからもかなりの日数、(一週間以上)綺麗な色を保っていました。

もう一つは孫の靴です。

綺麗に洗っても底敷にこびりついている匂いは取れていませんでした。

やってみよか?

あっ……、一瞬で臭いが消えました。

すごいです。

それと、ある日、愛の噴霧器をふっと思うと、とても幸せになりました。



嬉しくなりました。
ありがとうございます。

◇蚊に刺されると

直ぐにシユツ、シユー

蚊に刺され痒くてつい爪を入れて搔いてしま
います。

それが膿かさふたんで瘡蓋かさふたになりかけた所に噴霧器が
来ました。試しに水素水を入れ早速やってみま
した。

あくる日、瘡蓋かさふたが綺麗に剥がれ、何時もより
跡が綺麗でつるつとしています。

それ以来、蚊に刺されると直ぐに二〜三回
シユーシユーとかけます。痒みも殆どなく通過、
大助かり、あの何とも言えない痒みから解放さ
れました。

今迄、アロエなどを使っていたましたが、それ

以上の効果があり、今年は傷あとも少なく、肌
もすべすべしています。

それともう一つ左眼が重たくなり、しつくり
しない時もシユーシユーとやっています。そ
れも辛かったのですが最近、気付いたのですが
軽くなっています。

◇愛の噴霧器は田池留吉でした

最初私に、体験談は書けるかなと思いつながら
使ってみたいと思いき直に申し込みました

嬉しくてまず家の中の観葉植物、犬、犬のト
イレもちろん自分にも、主人にもシャワーして
みました

植物は元気に、三匹の犬は嫌がらずに嬉しそ
うにじつとしてシャワーを浴びています

主人はどうでしょうかあまり反応はありません
んが心では何か感じてるかどうかわかりませ

私自身肉がとても強いですが、スプレーしているうちに自分に優しくなってきたような感じでした。

中に思いが向いていきます。庭から見える木々、草花、さわやかな風もやさしくやさしく響いてきます。

セミも、虫も喜び一杯で歌っています。皆ひとつだと思えます。

肉の思いが強い私ですが、この噴霧器は肉から意識へと誘^{いざよ}ってくれ、「あなたも愛ですよ」と伝えてくれるようです。

まだまだですが、喜んで日々瞑想して、愛の噴霧器を活用させていただきます。

愛の噴霧器は田池留吉でした。すごいです。ありがとうございます、うまく言えませんが、嬉しいですよ。

自分に「もつともつと素直になつていきたい」「もつともつと心を開放していきたい」、そんな気持ちになるスプレーです。

◇この学びを信じていくのが怖い

私はある勉強会で、瞑想中に「この学びを信じていくのが怖い」と思いました。その時に、ある人が「愛の噴霧器」をかけ回つてくださり、私にもかけてもらいました。直ぐには、「かけてもらったんだ」と思いながらも、反応しなかったものが、段々と「これが先生の愛のエネルギー、愛のパワーなんだ」と思うようになり、私の中で「信じるのが怖い」と思っていた心が、次第に緩ま^{ゆる}ま^{ゆる}つていくのに気づきました。そう思うと、私にも反応したのがうれしくて、「これは私に一番に必要なものなんだ」と思い、家に帰って申し込みました。

届いたら、直ぐに、キムチ、生ごみ、その他に試してみましたが、臭^{にお}いは消え、うれしかったです。

私は、まだ信が弱いから、余計にかける時は、

すっかりと「田池留吉を」思い、「お札ふだ」にならないように心がけて、家中にかけました。

顔とかも、身体にもかけて、夫には「ミストだ、ミストだ、気持ちがいいよ」と言いながら使っていました。

夏の時だから、自然にかけられて良かったです。冬ではおかしいから、今だから、かけ始めるには、いい時期でした。

少しでも信じていけるようにと、噴霧器で愛の水素水をかけてからすると、反省も瞑想も、やり易かったです。

昼間は、どうしてもしなくては成らない事がありましたので、夜になって反省しようとしたら、夫から「寝る時間だから」と止められ、ふとんに入って瞑想しようと、思いを向けようと色々と試みましたが、「難しい」と気づきました。夜も遅かったのですが、「こんなことでは駄目だ」と思い、愛の水素水、愛の噴霧器を使って、必死になって「田池留吉」を思い、瞑想したり

思いを向ける練習をしたら、なかったときよりやり易いことに気づきました。「無し」と「有る時」との効果の違いを充分に知りました。

色々としながら、塩川香世さんの替え歌もよく口ずさみ、杉村さんの演奏もよく聞きながら歌わせてもらい、いろんな協力なり応援もありで、信じていく心が、私なりにできるようになり「信じていけるのが嬉しい」、「この学びにして良かった」、「めぐり合えて良かった」となりました。

田池先生に「信じていますか」と問われれば、「まだまだです」かも知れませんが、とにかくうれしいです。

今からがスタートです。長い長い助走でしたが、私には大切に必要な時間でした。

まだ、しっかりとした学びの基本もないようですので、正しい基本を知り、始めていきます。いろんな道具達を用意して頂き、田池先生にありがとうございました。

◇ 11時58分40秒で止まった時計

お世話になっております。

家を作る仕事をしております。

いつも現場に掛けている時計が、朝、来てみると11時58分40秒で止まっていました。その日は、そのままにして、次の日に外して電池を取り替えたり、叩いたり、どうやっても動きませんでした。「壊れたんだな」と諦めて電池を抜き、そのまま車に入れておきました。十三日の夜のことです。

明日から休みなので、子供と愛の水素水を作り、愛の噴霧器を初めて使いました。まず私たちにとやってみると、体の中から、すごいエネルギーが噴出しました。

そして、「部屋の中」「玄関」外に出て「車」、積んである「時計」にスプレーしようとドアを開け、「時計」に乾電池入れたら動くじゃありませんか。

驚きました。「どうせすぐに止まるんじゃないか」と叩いてみましたが、止まりません。不思議です。車にスプレーした時点で、車すべてが愛になったのですね。

その後、ずーっと止まることなく、本日、現場に掛けてきました。

今思うと、「いつたい何だったんだろう」と思います。愛のエネルギーは、自分には違う世界の事で、水の味が変わるのも、深く受け止めていなかった。同じように、田池留吉も、この学びも、自分の外にあったのかもしれない。

ごめんなさい、本当にごめんなさい。

あゝ申し訳ありませんでした。すべてを受け入れて早く本当の自分に出会いたいです。

◇ このまま枯れるのかな？

八月五日に愛の噴霧器が届きました。最初に
どういう使い方をしたら良いかと迷いました。
とりあえず水素水を入れてみることにしまし
た。そして各部屋に噴霧してみました。部屋が
さわやかな空気に変わる気がします。朝晩噴霧
して回ります。

肉では、それ以上の変化は感じられず、「や
はり意識を信じる信が足りないのかなー」と、
そんな思いがよぎりました。

何か変化が感じられるものかと思い、外に置
いてあるプランターの花に噴霧することにしま
した。

この花は、貰って植えてみたものの、何か元
気がなくヒョロヒョロして、そのまま枯れるの
かなと思っていました。

朝晩、部屋に噴霧するとき、一緒に葉にも噴
霧してみました。

三日位たつと、なんとなく葉に元気が出てき
始めました。今まで、ただなんとなく貰ってき

たから（夫が）植えていただけでした。

噴霧しながら「愛しい」と思いながら「元氣
になつてね」、そんな思いでした。

今では、三、四倍くらいまで大きくなり、「こ
んなに元気になるんだなー」と不思議な気持ち
や、思うことの大切さを痛感しています。

今まで、さんざんマイナスの思いを垂れ流し
てきました。というか、むしろ、まき散らして
きました。「思っているだけだから、相手にな
んか通じない」と、どこか思っていました。

思いの世界を軽く見ていました。「自分の出
す思いに心を向けなければ」と痛感しました。

色々なグッズ中で、一番、私にとって変化が
感じられるものでした。

やはりそれは「思い向ける」ということでし
た。つい肉の思いが先行してしまいます。瞬時
にマイナスの思いを発します。

自分の発する思いに「心を向けていこう」と
今更ながらに思うことでした。

◇ シュツシューツと、幸せ幸せ……

○二一回のセミナーの時、田池先生が水素水の噴射器を高くあげながら歩いていく後姿を見て、なぜか不思議に涙が溢れました。購入したいと思いました。

○器が届き、直ぐに水素水を入れ、生臭い場所にトイレと風呂にも「愛とプラスのエネルギー、水素水」と思いつつ噴霧しました。直ぐに匂いが消え、「ワーイ、嬉しいなー、嬉しい嬉しい……」と思いました。

お風呂にも噴霧しました。なんとなく透明感のような思いました。

○トイレが、どうにもならない程に近かった。反省しながら少しずつ良くなったが、買い物途中、ふーんと匂った。帰宅してから、反省、瞑想、反転、反転の連続でした。ティツシュに噴霧し、肌着に当て、痛みと匂いは、直ぐ

に大分と良くなったようだ。

○完治したと思っていた水虫が、また痒くなりだした。風呂から出て、水素水を噴霧し、ティツシュで軽く拭き取り靴下を履いて寝た。翌日も翌日も繰り返し、三日目が過ぎ去った。すると、アレツ、かゆみが止まっている。不思議な不思議な、水素水の噴霧器でした。やはり偉大な愛の噴霧器でした。

○朝起きて、何となく、匂いのする部屋に気付いた。愛の水素水のスプレーを片手に、上に向けシュツシュツしてみた。「アアいいなー、いいなー」と思えた。霧なので、わずかずつ出るため減りません。片手を上に向け、シュツシューツと、幸せ幸せ。アア嬉しい、シュツシュツシューツ。

○まだまだ実践中なのですが、なかなかです。タバコの匂いは凄かったです、少しずつ良くなり、夫婦の愛の調和にも、少しずつ優しい波動が芽生えつつある今です。私が余りに

も大きく聳えていた「アマテラス」でした。

○風呂の中へ、愛の水素水を噴霧して入浴すると、少々のかぶれなどは完治しました。

◇小川の流れみたいにな

気持ちのよい音が……

スプレーが届いた日、二十六歳の長男、二十三歳の長女に水素水を注入し、「シュツ、シュツ！」と噴霧すると、二人共、子供のように笑顔で大喜びをしました。

その後、トイレや浴室の臭いが消臭される驚き。強い洗剤を使用しなくても、トイレや浴室の清掃がきれいに汚れを落としてくれる驚き。

その中でも、これを書こうと思ったのは、台所の排水口についてです。私の家は、八階建ての二階で、新築の住宅へ移り住んで十四年になります。時々、ドロドロした油やゴミ、カスの

固まりが排水管に付着して流れが悪いのか、ポコポコと音を立て「詰まっているのかなあ？」と思うことがあります。排水口の清掃も、随時やっていました。このスプレーを毎日、夕食の片付けの後に噴霧するようにしました。すると、食器を洗い流した後に、排水口を伝って一階まで、滝の清流のような気持ちのよい音が聞こえるようになりました。

私の実家は田舎で、家の前に田んぼを挟んで小川があります。その小川の流れみたいに、とても気持ちのよい音がするのです。住宅の排水管にも、環境にも優しく、ポコポコポコ……って音が「凄いなあ！」と、毎日、驚いて嬉しくなります。

その他、沢山書きたいことがあります。この排水口について書かせていただきました。ありがとうございます。

◇台風のさなか、

愛の噴霧器が到着！

「申し込みに間に合ったのか、どうか」と思っていた愛の噴霧器が届きました。日本に台風がやってきて、猛威を奮っています。

大きな勢力と言われてやってきました。

沖縄、九州、四国、いよいよ風も雨も強くなってきました。テレビを見ると、大変な状態が映し出されています。

私にとつての台風は、前夜からの夢で始まりました。

どんどん川の水かさが増してきて、恐怖です。どうにか陸に逃げても、恐怖はそのままです。夢の中でも、ちゃんと恐怖の心が出てきます。いよいよ、夢の中ではなく、本当に風も雨も強くなってきて、恐怖がせり上がってきました。

不安と恐怖。

私は、この不安と恐怖で狂ってきた。

そんな台風のさなか、郵便屋さんが届けてくださいました。

愛の噴霧器です。

カッパを着て、雨でズクズクになりながら、届けてくださいました。

前のセミナーで、田池先生が、「このひと粒ひと粒の水が、タイケトメキチです」と言われて、みんなにシュツシュツとしてくださいました。

思い出したら嬉しくて、容器に水素水を入れて、シュツとしました。

そうしたら、細かい霧がシュウーツと空へ帰っていくようで、嬉しくて。

この心で、不安と恐怖を包んであげるんだと、不安と恐怖を思います。

こうしてやっていくこの道。

大きな不安も恐怖も、少しずつ受け入れていく学び。

不安と恐怖で狂ってきた私、かわいそうでした。ごめんね、私。

ともに帰ろう、過去世のすべてに必ず伝えま
す。ごめんなさい、帰ろうね。

シューっとしながら、「ともにともに帰ろう
〜〜」と歌います。

嬉しいです、苦しいです、嬉しいです。

ありがとうございます。

その後から、榎原セミナーが始まりました。

画面で先生が、愛の噴霧器でシューッとされ
ています。

苦しいやら、嬉しいやら、苦しいやら、嬉し
いやら。ごちゃまぜです。

そして、生ゴミのバケツにシューッとしたら、
匂いが弱くなりました。

◇お父さん、実験させて！

八月二日、愛の噴霧器をクボハウスさんで買
いました。手にした時「嬉しい」と思いました。

八月三日、愛の水素水を入れて台所のテーブ
ルの上で、シューッと噴きました。それを見た
私は「わぁー」と、言つてのけぞつてしまいま
した。「私が間違つていました」と、言葉が飛
び出たのです。

びっくり、びっくりです。続けると「私はあ
なた」と続き、「己を現したい。そうしてやつ
てきました」「勝ちたかつたあー、皆に認めて
もらいたかつた」「すこし、明かりが見えてきた。
嬉しいー、嬉しいー」と出てきました。

「これは凄い愛の噴霧器！」と、驚きました。
寝室や、トイレ、部屋を「愛の部屋」に変え
ようと、掛けて回りました。心が嬉しくなつて
きました。

主人が体調をくずして寝ていましたので、家
の中が暗い気がしていたのです。

八月五日、寝ていた主人が、「お尻が痛い
の見てくれ」と、言います。汗にまみれた手で
掻きむしつたのでしょう。ひどく赤くなつた二

センチくらいに膿みかけたのが七個ほどありました。痛くて眠れなかつたそうです。こんなになつたのは初めてです。

「お父さん、ちようどいいわ。実験、実験させて」と、愛の噴霧器をシューッと掛けました。私が楽しそうに言うので、主人は暴れることなく、子供のようにお尻を出していました。

次の朝です。

「痛くて寝苦しかったでしょう」と聞きながらお尻を見ました。

あんなに赤くなっていたぶつぶつが、赤みが少し引いて、なんだか痛みが通り過ぎたような色をしていました。

主人が「よく眠れた」と言いました。起きてから鏡の前で自分で見て、「今までで、これが一番ひどいかゆみやつた」と言いました。

私は「すごい、愛の噴霧器！ 体験談に書いてー、やつたー」と喜びました。

私の口内炎にもシューッと掛けました。田池

先生が以前「口内炎が出来る人は、欲が深い」と、教えて下さったのです。「毎日毎日、欲で生きて来たなー」と、思いました。そうしないと生きていけないような気がしていました。今、あるものでも十分に暮らしていけるのに、無駄なお金を使い、捨ててきたなあと反省しました。

また、びっくりなことが起こりました。優しい優しい波動の意識が「ゆっくり治しましょう」と、胸から聞こえてきたのです。本当の「私」からだと思えました。本当の「私」は、私のことをよく知ってくれている。私は、感動しました。ゆっくり治そうー。私は、何でも早く早くよくなりたいたいと思ってきました。いつもでした。ゆっくり治そうと思うと、心が落ち着きました。それから一週間ほどで、忘れていたうちに痛みがなくなっていました。

いろいろ試しました。

お風呂場に置いてある観葉植物も、生き生きと元気になりました。部屋のアンスリウムも

元気になりました。

私が一番驚くのは、愛の噴霧器をシューッとすると、私のがけ反って、お腹の底のほうから「グオーーツ」と闇が出てくることです。そして、闇が反省をはじめることです。

シューッと噴くと異語がたくさん出てきます。「急がないでください。他力的に使うと危険です」と語ってきてくれました。

「みんなと故郷にいっしょに帰りたい。心を見て行こう」と、私が元気になります。

田池先生、UTA会をお世話してくださる方、ありがとうございます。

◇愛の噴霧器が語ってきます

愛の噴霧器を思うだけでうれしいから、愛の噴霧器を一日でも早く使いたくて、購入できる初日に買い求めました。家に帰ってすぐに水素

水を作り、いよいよ噴射。わぁーと愛が広がる。

楽しい!!

空気が変わる。うれしい!!

自分に噴射すると一瞬で人が変わる。やさしく明るい私に変わる。その時夫が、私に用事があるらしく、遠くから声を掛けました。

「はいっ！」と言って、喜んで駆け寄りました。こんなこと初めてです!! 自分でも驚きました。今までなら「なに!! そんな遠くから声かけても聞こえへん!!」って、怒っていました。愛犬のララは、どこにいても、何をしていても、呼ぶと喜んで飛んで来てくれました。そのように私も出来たのです。

「遠くから呼ぶな、用事のあるお前がこっちへ来い」と、いつも思っていた偉い私が、ララのようにしっぽを振れたのです。あんなに見下してきた夫に、「はいっ」と言って駆け寄るなんて、奇跡です。

こんなこともありました。来客のある機会に、家の中の観葉植物を増やしました。早速、愛の噴霧器の登場です。愛の噴霧器をたった一噴きしただけで、翌朝、はち切れんばかりの勢いのある植物に変身していました。活き活きした葉、活性化された細胞のエネルギーが溢れていました。それが手に取るように感じられました。すごかったです。

今まで、人間関係が、肉の私の課題でした。私が自己主張するからうまくいかない。私が我慢して相手に合わせようとすれば、しんどくなつて、好んで一人の時間を作りました。どうしたらあんなに仲良くできるのか、楽しそうに出来るのか。一人でいても自己主張していました。「私はここよ、私を認めろ、素晴らしいと認めろ」。誰かと居ても一人でも「肉が私」と信じている私は叫んでいました。それが苦しかった。根本的に苦しかったのです。人と居て

も一人でも苦しかったのです。

田池留吉を思う。何もない状態で居られる。こんな幸せはない。人に自分をどう見せるか。どう表すか。どうしたら認められるか。いい人、立派な人と認められるか。どう頑張ればいいのか。どうしたら共に幸せでいられるのか。あれこれ考え肉を使う。こんな疲れることをしていたら、身も心もおかしくなってしまう。ここにあるだけでよかった。求めなくても頑張らなくても、ここにあるだけで幸せだった。だから、周りに誰が居ても居なくても、私は幸せだった。「死んでも結婚したくない」と思っていた夫に連れ添い、長年苦しんできましたが、愛の噴霧器で、家も、家の中の空気も、夫も、私も、愛に包まれ、共に居られるようになってきました。

私自身が問題だったのです。相手は関係ない。私が、どこに心に向けているかだけでした。

夫や子供を支配したい思いや、なぜこれ程までに私は偉いのか、その思いはどこから来るのか、疑問でした。バックに神が鎮座していたからでした。私が求めた神です。それは肉を持たない寂しい、真実を知らない意識たちです。そのエネルギーを結集させて頑張ってきたのです。頑張ることは要らなかつたことを知り、「ともに」の思いで、それらの私に、心を向けています。立派も、特別も、上の位も、神も、何もなかつたです。

肉を基準とする私が、作ってきた思いでした。

愛の噴霧器が語ってきます。

「愛しか存在しません。愛を感じ愛を信じる、そのために私は存在しています。愛、それはあなた自身です。あなたが愛なのです。愛を流してください。愛を待つたくさんの意識に、宇宙に伝えてください。皆、待っています。ひたすら待ち続けています。愛を流す、それがあなた

の仕事です。その仕事を、肉ある時も、ない時も、遂行できるようにあなたになつてください。私はあなたを信じられます。私はあなた、あなたは私だから信じられるのです。」

懺悔と喜びと、ありがとうが溢れます。間違ってきました。間違いに気付いて本当の自分、愛に蘇るのが人生でした。心が広がっていく、どんどん広がっていく、私はこの広がっていく存在でした。目に見えないエネルギー、それが私でした。留まることなく広がりが続けるのですね。無限大、はい、肉を遥かに遥かに超えた存在、私は宇宙、私は偉大でした。ありがとうございます、お母さん。肉を繋いでいただきました。次元移行を果たしてまいります。きつときつと約束を果たしてまいります。

◇霧に心が向くようになりました

噴霧器が我が家に届いたのは夕方でした。夕食の支度をしていましたので、おかずにかけてみようと思いました。

煮物をしていましたので二つに分けて確かめることにしました。

噴霧器をかけたほうが味がまろやかになってコクがありました、これには「分からない」と言うことが多い夫も「違っている」と頷うなずきました。

次にしたことは犬のナナちゃんです。八歳になつて口の周りの毛が白くなつてきました、歯がぬけたこともあり、口臭もかなりきつくなつていました。

まず体に噴きかけて、口のなかに三回噴きかけてみました。鼻を近づけて匂いがかかなりしなくなっていました。

毎日、口にシュツとかけてあげていたら、愛の噴霧器を手にもつて近づくと仰向けになりました。そしてペロペロと舐めるようになりました。きつと喜んでくれていると思います。

歯も、歯茎も、丈夫になつていくのではないかなと思うようになりました。

汗をかいて帰ってきた夫のTシャツにシュツとしてみました。すると汗臭い匂いが一瞬のうちに消えました。これは何度かしていると簡単には消えないことがあります。なぜだろうと思つてみると、ただ匂いを消そうと噴きかけていました。

肉の生活に心を奪われているとOリングも柔らかくなります。「心を田池留吉に常に向けていない」との促しのように感じます。

生ゴミ箱にかけました。お風呂に入る時にシュツとしてみました。

匂いだけではなく、汚れにもいいのではないかと試してみました。

お風呂掃除の時にかけてみたら、湯垢ゆあかの部分が簡単にきれいになりました。

カーペットの上に錆が付いた時は見事にきれいになって、これには驚きました。

シュツシュツと使っているうちに、霧に心が向くようになりました。そして水というものに関心が出てきました。

お風呂に入っていると、お湯がとてもきれいなのです。受け入れてくれているみたいなのです。水って水素と酸素の結合で出来るのだと教わりました。

田池先生が元の元という話しをしてくれたことを思い出しました。

元の元はエネルギー、愛のエネルギーなのだと教えてもらっています。

なぜか分からないけど、探していたもののよ

うに思います。「長いあいだ探し続けていたものだ」という感じがするのです。

あなたは何者ですか。なぜ生まれてきたのですか。人生の目的はなんでしょうか。

怖かったのです。死ぬという恐怖から逃れたかったです。

肉は区別差別があるけど、みんなに公平なもののは死ぬということだと思ってきました。

学びに集い、学ばせていただいて「真実とはなにか」と教えてもらって、ようやく田池留吉に心に向けていくことを知りました。

その方向へと心に向けて生活をしています。が、なにかあると肉に心が大きく傾いていきます。

そんな自分の心を、愛のグッズで向け先の修正をしながら、残された時間を生活していきます。

色々な愛のグッズをありがとうございます。

田池留吉を思うこと、愛に心を向けていくこと、それを知った私は本当に幸せものです。

「お母さん、産んでくれてありがとうございます」って言える人生が嬉しいです。

◇田池留吉、ありがとうございます

初めて愛の噴霧器を使用しようと思い、噴霧器に水素水を入れて愛のカードの上に置きました。

「田池留吉」と思いながら噴霧器に触れたら、涙が溢れてきました。

「田池留吉、ありがとうございます」と言いながら、心は喜んでいきます。そして、心の中から、温もりが湧いてきて嬉しかったです。

ありがとうございます。

◇すぐに結果を……

先日、寝てるときに左足のふくらはぎがつつてしまって、いつもだったら起きて何時間かしたら、ほっておいても治るのに、なかなか治りませんでした。

次の日も、ずーっと同じような状態で、違和感がありました。

なので愛のスプレーをかけて実験してみようと思い、スプレーしてみました。

少し症状が軽くなりました。でも完治まではいきませんでした。

気長に付き合おうと思い、次の日もスプレーしてみました。

その時も症状が軽くなって治りそうだったけど、まだスッキリはしませんでしたが、しばらくすると、痛みが消えていることに気付きました。

その時すぐに治らなくても、時間をかけて、何度かすれば、肉体細胞も応えてくれることを知りました。いつもすぐに「結果が出なければダメ」といような物事に対して答えを急がせてきたけれど、「そうじゃないよ」と教えてもらえた気がしました。

愛のスプレーは、子供たちも大好きで、シュツシュツとよくしてくれます。

子供は、本当に素直に喜んで、楽しんで、シュツシュツしているのを感じます。

「ふるさと」の替え歌も、我が家で一番最初に覚えたのは子供でした。

杉村さんの伴奏で合唱するチャンスをいただき、子供たちの心の中に「ふるさと」のメロディーが刻まれたことが本当に嬉しいです。

大人も、子供も、みんなひとつでこの道を進んでいける。そう感じました。

体験談を書く機会を与えてもらえてよかったです。ありがとうございました。

◇素敵な噴霧器・愛の噴霧器

我が家に愛の噴霧器が届きました。センスがよい素敵な形。「きつとプロ仕様でしょうね」なんて勝手に想像しながら、早速、体験開始。

水素水を作って「ありがとう、うれしいです」の思いを乗せて、田池留吉を思いながらシュー、シューツ。

お部屋もエルの身体にも、クロのお尻も肉球にも、お耳の中にも、勿論、お手洗いに、臭いパパのお洋服に、私のお口に、髪にシューツ。

小躍りしながら、しあわせ……。ちよつと放置して結果を見ることにしました。

私は「良く言えば楽天家、悪く言えばズボラ」

感覚が鈍いのです。

夫に「食器の洗い方が粗相だ」とよく忠告されます。「不潔だ」というのです。ずーっと何十年間も言われ続けています。

でも、私には、ちつとも汚いようには思えず、食中毒も一回もしたことはありません。

あらゆるところに「良い菌」と「悪い菌」がお互いにバランスを取り合って共存していると思っています。

夫はめつぼう清潔好き。

五十数年間、犬を飼っています。喜んで手や首や顔を舐めまくっても、一向に平気。

部屋に二匹の犬猫の排便排尿の箱があっても大丈夫。

でも、今回は夫をご要望にこたえて、愛の噴霧器でやさしく、そしていっぱい……。

愛の我が家になっていた穏やかな空間が、きつと柔らかな空気に包まれているのです。その証拠にうれしさが充滿しているのです。

食器を洗うときもこころして、水素水を噴霧して洗い上げて乾燥する事にしました。ひとつまた夫に素直になれました。

ちよつとだけ、一滴アロマオイルを添加し、シューすると、さわやか香りがして、ハッピー。エルとク口のブラッシングには欠かせない大事な愛のお道具になっていました。

家具を拭くとき、冷蔵庫の中のお掃除、エトセトラ……。

洗顔時、たつぷり噴霧して、シャンプー後にも利用します。

こうして、愛の噴霧器はわが家の一員になってしまいました。

ありがとう……。

そして、夫にごめんなさい……。

◇ 毎日の生活が楽しくなった！

愛の噴霧器が届いてから、毎日の生活が楽しくなってきました。

愛のエネルギーの凄さに日々驚きです。

色々やってみました。

歯肉炎で歯茎から血が出たので、口の中にスプレーしました。

翌日には、痛みも腫れもなく、血も止まっています。

ものもらいができ、今までは治るのに何日もかかっていたのですが、何度かスプレーしているうちに、翌日には腫れも引いてそのままきれいに治りました。

毎日お風呂から出るときには、髪の毛から全身にスプレーします。

アセモが毎年出ていましたが、出かかってもすぐに治っています。

我が家の愛猫二匹も愛の噴霧器でかけると、気持ち良さそうにじっとしています。それどころか、今まで使わなければ治らなかった、角膜炎

用の目薬も、今は使わなくても良くなっているのです。

動物は素直だなあと、つくづく思います。

愛の噴霧器で、娘とお互いに掛け合いをしました。

田池留吉を思わないですと、何にも感じません。しかし田池留吉を思つて掛けると、とても嬉しいんです。

嬉しいから、指と指を合わせました。

そしたら、もつと嬉しくなつて、お互いに「嬉しいねっ」て泣きながら、笑っていました。

愛の噴霧器は今、我が家の中心人物です。

◇噴霧器を使った三つの体験

①はげの木にかぶれて

自宅の裏庭に、はげの木があります。

一般的に、はげの木は、いわゆる漆うるしかぶれが

あると言われています。

十年ほど自分で剪定せんていしていますが、私は一度もかぶれた事がありませんでした。今年は、伸びすぎた枝を思いきって切りました。コンパクトに仕立て上げようと思ったからです。今回も剪定後、特にかぶれた様子はありませんでした。

……が、二三日してから、ふと鏡に映った自分を見た時、「アレッこの首の辺り、なんかピンク色になっているなあ〜でも、痛くも痒くもないし……」と、その時は、なぜか気にも留めませんでした。

翌日見ると、昨日よりも赤くなっていて、みみず腫れのようになっているではありませんか！さすがに私もギヤーと思い、「はげの木のかぶれだあ〜。なんで今年に限って……」と。

肉体細胞に思いを向けてみましたが、……欲です、治したい気持ちの方が勝って空回りしている自分を感じました。情けない、これが今の自分の現状だ。

愛の水素水を自分なりに作りました。（この自分なりというのが曲者くせものです。）

愛の水素水をかぶれた所につけてみました。かぶれは熱をもっている感じでした。冷たくて気持ちが良いかったです。しかし、自分の心の中は自分の肉体細胞に優しい思いを向けられず、冷たい自分を感じました。まだ痒みかゆはありませんでした。こんな状態の二、三日後に噴霧器が届きました!!

嬉しくて、早速、愛の水素水を自分なりに作りました。（トホホ、ここでまた自分なり……なんです。）このあたりになると、かぶれが痒くなっていたんです。やっと、田池留吉に向けながら水素水を作りました。かぶれにシュツシュツとかけてみたら、アレッ痒くないぞ、痒みが治まっている!

嬉しくなりました。「これで治るぞ〜」と欲ぼけの私はそう思いました。が、しばらくは痒みが治まってくれていたの

ですが、また痒みがぶり返してきました。さらなる痒みと共に。

スプレーすればする程に、痒みが増していくようで、私は痒みをジツと我慢しました。パソコンで、はげの木かぶれを調べると、搔くとさらに痒みが増すと出ていたからです。治るどころか、痒みとチリチリする痛みも伴って、益々赤く腫れてきました。

なぜか……私は徹底的に肉の思いになって、あらゆる塗り薬をつけました。パソコンで調べたヒアルロン酸入りローション、ムヒ、ウナ、オロナイン。キンカンは搔いたキズにピリピリしそうなのでやめました。しかし、指や綿棒などで塗ると刺激になるのか、益々痒くなりました。お風呂では、身体が温まると更に痒くなりました。お風呂では、もうお手上げでした。私は、自分がこのような状態になってみて、やっと自分の出してきた思い、出している思いと向き合おう……と思いはじめました。

剪定をする時や、何かをする時には、「田池留吉に心に向けて……」と心がけていたのですが、今回の剪定では、全くそれがなく、「早く仕上げてしまおう」という気持ちのまま作業をしていた自分を思い出しました。

二メートル位の物置の上に乗る、バツサバツサと切っていた自分。いつもは、木に「ごめんね、切らせてね、世代交代だよ」、などと話しかけながら剪定するのに、今回は問答無用だったと思います。そういえば、はげの木の葉が顔や首に何分も触れていたのですが、自分は大丈夫という思いで作業をすすめていました。

自分の、上から目線の思い、切り捨てる思い……優しさなど、ありませんでした。そして、自分の信じる信の薄さを思い知らされました。自分なりに心に向ける、愛の水素水を作る、その向け先は田池先生が指し示して下さっている次元とは、全くかけ離れていたものでした。

先生がおっしゃっていた、作り手とそれを受

け取る側の信の強弱によると。自分は、欲、欲、欲でした。

自分の状態を「良い方向に」とか、「治そう」とか、結果を目的としてしまう心癖です。結果よりも何よりも、まず心を向ける、思う、という事が大切なのに。

何だか、それから嬉しくなりました。自分の真つ黒、バカさ加減が感じられるのが嬉しいのです。「剪定を早く終わらせよう」とか、家事でも何でも常に心をキュウキュウにしていたように思います。夫にかぶれを見せると、毎回夫は、「うん、うん、良くなってきているよ」と言ってくれるのですが、「こんなに赤くて腫れているのに、どこ見てんじゃ〜ボケ〜」と。

ボケは私でした。夫の優しさがわかっていない大バカ者でした。

そして、三週間ほど経過した現在は、幅三センチ、顎の下から一二センチ程の帯状のかぶれは、ほとんど跡形もわからない位になりました。

それでも、自分からマイナスのエネルギーが出ていると、「間違っていますよ」とカユカユと教えてくれる時があります。まさに五訓の中の、「日々の生活の中で、自分の作ってきたエネルギーを感じてください」です。自分が肉体細胞と反対の思いを流している事を、今回のかぶれは教えてくれたんだと思っています。

冷たい自分を感じながら、確認しながら、しっかりと自分を見つめていきます。ありがとうございます。

② 夫の寝起きが良くなりました

夫は腰痛持ちです。そのせいか、朝の起床時は「身体中が痛い、痛い」と言っつて、ベッドの中で、いつもモジョモジョしている事が多く、スツと起きられません。

そんな芋虫さん状態の夫に「失礼しま〜す」と、私は愛の噴霧器で夫にスプレーしてみました。夫は「オオ〜」なんて言いながら、嬉しそ

うにもがきながらも、起き出しました。

私は夫に首を突き出しながら、「お願いしま
す」と、スプレーしてもらいます。

私はなぜか、いつもゴジラのような手つきに
なってしまうのですが、何かしら嬉しくなります。
毎回、心の向け先を確認しながら、愛の噴霧器
を使わせて頂いています。

③車の運転前に、

夫に吹きかけてみました

夫の運転は、安全運転なのですが、ひとたび
自分の気に入らない割り込み方や、追い越し方
をされたりすると、目や鼻、身体中から凄まじ
いエネルギーを放出します。そんな夫に、車に
乗る前に、愛の噴霧器をスプレーしてみました。
「ウォー」なんて言いながら、嬉しそうに、玄
関から出かけていきました。

さて、どうなる事やら。

それから、帰宅した夫が言うには、「車の中で、

とにかく嬉しくて、軽くて、正調『ふるさと』（塩
川さん作詞）を、ずっと歌って運転する事が出
来た」と喜んでいました。

私が隣に座って小言を言うよりも、ずっと良
いなあ〜と思いました。正しい瞑想が出来るよ
うに、愛の噴霧器や、頂いている愛のグッズの
数々を活用させて頂いています。

◇右足の小指が

愛の噴霧器はすごいと思います。愛のエネル
ギーがいっぱい詰まっています。

私は、右足の小指が、過去、ぞんざいに扱っ
たせいで痛み出しました。私は気が急せぐ方で、
それにあわてん坊なので、よく、テーパーの脚
や、物の角で、小指を思いきり何度もうちまし
た。それは、もう数えきれないほどで、何日か
したら治ってしまうので、気にも留めませんで

した。

突然です。小指が痛くて小指に力を入れることも出来ず、手の指で触っても痛いんですが、見た目は腫れてもなく、左足の小指と比べても変わりありません。

田池留吉を思い、肉体細胞に、右足の小指に思いを向けましたが、良くなりません。そんな時に、愛の噴霧器の購入をホームページで見すぐに購入しました。

実験開始です。田池留吉に心を向けて、肉体細胞、小指を思い、シューシューシューと三回噴きかけました。心の中から突然に「ごめんなさい、間違っていました」と噴出してきました。涙とともに懺悔していました。

その時に、「肉体細胞を、肉だとの思いで、こき使ってきたんだ」と、そのエネルギーのすさまじいかったことを知りました。

自分の肉体細胞をも支配する思い。何もかも思いの儘に操る思いが、私の中にいっぱい詰

まっていたことも教えられていました。嬉しかったです。

そして、小指はいつペンには良くなりませんでした、その後二回した後には痛みもなくなり、良くなりました。肉体細胞にありがとうの現象でした。

◇「愛の噴霧器」がやってきた！

「愛の噴霧器」が我が家に来たので、早速、水素水を作り入れました。

先ず部屋中に噴霧し、思いを向けてみました。「ありがとう、ありがとう、ありがとう、その思いが心の中に満ちてきたのです。

水素水、愛の円盤、そして愛の噴霧器と、それこそ至れり尽くせりに揃えて頂き、感謝しかありません。

本当にありがとうございます。

体験1

洗顔後、化粧水として使うと、とても気持ち
が良く、さっぱりする。

歯磨き後、最後にスプレーするとさっぱりす
る。

洗髪後、スプレーして乾かすとしっとりする。

体験2

夕食に、じゃこおろしを作って食べたところ、
夏大根なのでとても辛く、ピリピリしたのでス
プレーして、食べると辛味が軽減したので、と
てもびっくりした。

体験3

左の足先が痛くなったので、スプレーして思
いを向けていると痛みが、ずいぶん楽になった。

体験4

地域の勉強会から「愛の噴霧器を持っている
人は持参してください」と、連絡があり、持つ
て行きました。

皆で掛け合っていると、とても嬉しくなり、
「ともに学んでいく仲間」という思いがわかきあ
がり、更に心が通じたように思えました。

その時、手を下に下げ、どれぐらい着くかを
はかり、次にスプレーしてはかると、ずい分下
に手が着き、皆さん、それぞれ驚いていました。
家に帰り、夫婦で、もう一度、測はかってみると
ずい分下に着き、身体が柔らかくなっているの
を更に実感しました。

肉体細胞も喜んでいると思え、嬉しく思えま
した。

体験5

お風呂、キッチン、洗濯槽、洗面所、トイレ
など水回りにスプレーすると、スッキリ感が増
したように思えました。

これからも、もつと、もつと体験を重ねていきたいと思っています。

ありがとうございます。

◇ 水鉄砲みたいに壁、床、水びたし

嬉しかった。「いっぱい、いっぱい愛かけて、あれにも、これにも」、そう思ってた。特に主人のタバコのおい、口臭、一番にかけたい思った。今、思えば、全部肉やし、肉をよくしたい——まさしく愛と欲はあいません。その通りでした。当たり前のように、キャップがあると思ひ、先端を取って、噴射……。

すると水鉄砲みたいに、壁、床、水びたし。

「なんで、霧になれへんの。どうして……」

そこで出てきた思ひは、「こんな不良品送りやがって」と、やくざ以下の思ひ。

いつも自分は正しくて、周りのやつらが悪い。

その通りに「出してもらった」と思った。

「どうなってるのか？ ストツパーかかっているかなあ。体験談書かなあかんし、壊したらあかんし、主人に聞くしかない」と思った。

私の生きてきた、人を頼る癖を見せてもらったと思う。

主人が、いとも簡単に、先端をゆるめると、霧になった！ 試しやから水道水だけど、私に向けて噴射。

嬉しかった、感激。ずうーつと、こんな感じ。自分ができんと主人に頼る。本当に他力、他力。自分で考えようとしない、考えてるつもりやけど、思いつかん。そんな人まかせな生き方。しっかり見せてもらった。

やれやれ、愛の噴霧器と私の欲、まったく合わず、それでも、今日から愛に向けて実験していく。

ありがとうございます。

少人数セミナーにあわせて、朝から夕方まで

勉強会に参加させてもらった。私の家は壁一枚の長屋、友達が誘ってくれて、おもいつきり闖出しさせてもらってるのが、とてもありがたいです。

休憩の合間に、愛の噴射機の登場です。かかった瞬間、うれしくって、ただただ転げまわったり、走り回ったり、「うわーうわー」と飛び跳ねる？お爺、お婆も、子供にかえったように、参加された人たちは、みんな、子供みたいでした。なにもかも、吹っ飛んでしまっただけです。

田池先生が言われたように、子供は素直。四歳の孫が水素水を飲みますし、愛の噴霧器が我が家に来れば、かならず、かけてほしい。お花や、主人がタバコを吸ったあと、かけます。孫が一番喜んでくれるようです。

眠くって、ぐずり出した時、か



けると、なおるし、四歳の孫と娘が本気で喧嘩してる時、ふたりとも、ニコニコになるのも、嬉しいです。

九ヶ月の孫が、あせも？おむつかぶれ？どっちかわからないけど、シュシュツとかけてあげたら、次の日なおってました。娘もびっくり！喜んでます。

まだまだ、思いついたら、「実験、体験を」と思っています。嬉しいのは、主人が愛の円盤、水素水、愛の噴霧器、孫や私にかけられても、嫌がらず、ニコニコ笑ってくれているのが、なによりです。

学びの話をすると、すぐ怒るけど、愛のグッズは受け入れてくれてるようで、愛の波動、私の勉強なんだと痛感してます。

主人のタバコの匂い、口臭。特に口臭が、なくなつたように思いました。

◇瞑想の時間だよ！

田池留吉を思い、愛の噴霧器をシュー。

玄関、靴箱、トイレ、部屋、物入れ、階段、お風呂場、洗面所、台所、毎朝続けてきました。

毎日、色とりどりの靴が靴箱や玄関に並びます。並んでいるたくさんの靴にも下駄箱にも、田池留吉を思い、愛の噴霧器でシュー。田池留吉を思うチャンスです。たくさんの靴たちが、田池留吉に心に向けて合わせる協力をしてきている応援団に思えてきて、楽しくなってきました。

毎日暑い日が続き、生ゴミの匂いは強烈です。生ゴミを出した後のボックスに田池留吉を思いシュー、愛の噴霧器を使います。一瞬にして凄い匂いが消えています。生ゴミの匂いが強烈なだけに、ワー凄い、驚きも強烈です。消臭剤がいらなくなりました。

おはようー。愛の噴霧器とともに朝の挨拶です。観葉植物にもシュー、葉がイキイキとしてとても元気で綺麗です。

夫にもシュー、自分にもシューです。楽しいです。

愛の噴霧器が我が家に来てから、前から続けていた夫婦二人でする瞑想への思いが変わっています。「ふるさと」の歌を二人で歌えることが、どんどん嬉しくなってきました。自分の「ふるさと」も、夫の北朝鮮の「ふるさと」も嬉しい思いで思えるようになりました。それが何よりも、何よりも嬉しいです。

愛の噴霧器が我が家に来てから、夫から「朝の瞑想の時間だよ」と声がかかります。夫から言ってもらえることが、とても嬉しいです。今までの私の口癖「でも、だって、だから」が少なくなつて、とても気持ちが悪くなり、自分で自分を縛っていたことに気が付きます。お互いに、ピッチャーになつたり、キャッチャーになつ

たり、指合わせも嬉しいのです。

「ふるさと」の歌を、毎朝瞑想の前と後に歌います。こんな時が来るなんて思ってもいませんでした。「ふるさと」の歌を歌う時、自分だけが自分のリズムで暴走してしまいます。そんな自分にも気が付き、自然にリズムを合わせながら歌えるようになりました。

愛の噴霧器、愛の水素水、愛の円盤、日々の生活の中で「心の向け先はこちらですよ」と、田池留吉に向けて合わせていくことを促してくれている愛です。どのような時も、「ふるさと」の歌の歌詞が、その時々のように自然に答えてくれます。素直に「そうでした」と思える自分がいます。嬉しいのです。

今日の瞑想のなかで「超えていこう喜びで、とわにひとつ我が友」から夫は学びの最高の友、最高の応援者だと思えました。そして、私の心の投影だった。そんな思いが溢れてきました。夫婦喧嘩しても、姉妹喧嘩しても、意見の食い

違いがあっても、私の心の中に「ふるさと」の歌が流れています。愛が流れています。ともにともに帰ろう。そう思える自分に変わっていくだけでした。そんな自分を確立していける今があることに感謝です。

至れり尽せりのなかで、学ばせて頂きました。冷たい冷たい自分の心の中に「ふるさと」の歌を広げていきます。温かくて、広くて、深い深い母の心が、「ふるさと」を歌えば、心に響き溢れてきます。「お母さん、ありがとう。みんな、みんな、ありがとう」。それだけでよかったのだと思えてきて、幸せです。みんなひとつ、この道。愛に帰るこの道は、私達の本当の「ふるさと」に繋がっている喜びの道でした。ともに学べる喜びを「ふるさと」の歌とともに広げていきます。ありがとうございました。

◇愛の噴霧器が我が家に

〜家族で実験〜

楽しみにしていた愛の噴霧器が遂に我が家に到着し、夏休みで家にいた子供たちと、わくわくしながら開けてみました。

「わぁ〜田池先生がセミナーで使っていた愛の噴霧器と同じや〜!!」

まだ愛の水素水を入れてスプレーしていないのに、見ただけで、うれしくてうれしくてたまりませんでした。

まず、何から試してみようかと思い、愛の水素水を入れて愛の円盤に置き、田池留吉を思い「愛のスプレー」を作りました。

本を読んでいた息子の傍に行き、シュツッ！宿題をしていた娘にもシュツッ！二人とも、ここに喜んでいました。愛のスプレーをしている私の方がうれしくて、調子に乗り、飼っている文鳥にもシュツッ！文鳥はいきなりスプレー

され驚き、止まり木から落下してしまいました。「ごめん、ごめん、いきなりするとビックリするよね。」

しかし、きっと落下するほどうれしかったのでしょうか。

そして、「次はママやったるー！」と、子供たちに愛の噴霧器を取られ、シュツッ、シュツッ、シュツッ！私は両手を上げ、「ワー〜うれしい、うれしい」と跳びはねて喜んでしまい、子供たちは、私のあまりの喜び振りに目を丸くさせていましたが、愛のスプレーでシュツッ！とすることが楽しくてシュツッ、シュツッ！シュツッシュツッ！と、かけ合いをしていました。

その他、次々にいろいろ試そう、実験しよう、お部屋にシュツッ！空気がクリアになり、愛の部屋になります。

お掃除にも、床にシュツッ！愛のお家になります。お料理にもシュツッ！普段の料理がおいしくなります。

バナナにもシュツッ！バナナの皮独特の臭いが軽減されます。火傷やけどにもすぐにシュツッ！いつもは、すぐに冷やしても水ぶくれになり、治るまで痛みますが、水ぶくれにならずに治りました。

色々と体験させて頂きました。本当に愛のパワーってすごいと感じました。

愛の噴霧器が我が家に来て、家族でわいわい楽しく色々と実験、体験できたことが、何よりうれしい体験でした。ありがとうございます。

◇なんなの、この感じ！

愛の噴霧器を手にして、部屋に、私に、シュツッシュツ振りかけました。

うわー何これ？なんなの、この感じ。「息をしている、私は息をしている」。今まで感じたことがない、思ったこともない、「息をしている」

なんて。

あー、嬉しい、嬉しい、息をしている、私は私に生かされてきたんだなあ。

肉体細胞にも生かされ、全てのものにも生かされてきたんだと感じられました。

そう感じられる事が、とても嬉しかったです。

この感じた思いを大切にしていきます。
ありがとうございます。

◇これしかないと実感！

実家に帰って愛の噴霧器を見て触ってシュツッとして、こみあげてくる嬉しさ、優しさを感じました。

愛を思う事の大切さ、愛を思うと、なんとも言えない感覚……。日々、愛を思う、常に思う事の大切さ、これしかないと実感、確認できました。

◇コンタクトレンズのかけら

試してみた、どれもこれも、プラスの結果を目の当たりにさせてくれますが、最近のことです一つ。

姉と母のところへ行つた時のこと。着いてすぐに、姉の様子がおかしい。聞けば、「コンタクトレンズが目の中で割れてしまったらしい」とのこと。大きい部分はすぐに取り出せたけれど、残りの小さいかけらが、なかなか取れず、目が真っ赤になつてきた。あれやこれや、思いつくことをやってみたが、どうにもならない。目の表面がグジュグジュしてきて、痛々しい。

ここまでは、姉のするがままに見ていただけ、持っていた愛の噴霧器を出して、「これを試させてほしい」と頼んでみたところ、了解してくれたので、その目の下まぶたのところへ静

かにたつぷりと噴霧して、そこへ愛のハンカチタオルを当て、とっさに愛の円盤もハンカチの間に挟んで、しばらくしてから、そつと外してみた。はつきりと赤みが薄れていて、目の中にへばりついていたレンズのかけらが、見てすぐに分かる下のほうに降りてきていた。そこで、それを指でつまんで外すことが出来、みんなで驚くやら、ほつとするやら。

姉も、母もだけれど、自分でも正直驚いた。この出来事を通して、愛のエネルギーを信じていると思つていた自分が、一番信じていなかったことに気付いてしまった。

これが田池留吉に抵抗する思いなんだ、それが自分の現状なんだって。だから瞑想しても向かない、向いてない。だから何も分からない。それでも、意識的に向ける努力を、真剣にしていくだけなのだと思つた。

◇朝のスタート

朝起きて、おはよう、ありがとう。愛、愛……と思いつながら、部屋中にシュシュツ、それが朝のスタートになりました。

汗臭い時に使うと、臭いが気にならなくなりました。

犬用の抱き枕、変な臭いがしていたのが、臭いしません。

人間用の枕は、あまり変わりませんでした。

生ごみは、少し和らぐ感じでした。

効果は分かりませんが、犬の水や、餌、植物にもシュシュツとやっています。

愛の噴霧器を使うのが何より、楽しいです。

田池留吉を思う、田池留吉に心を合わせて使う。これからも続けていきます。ありがとうございました。

◇泣いても仕様がなし!!

暑い暑い……、とりわけ汗かきの私は、頭から水をかぶったような汗、それがいやな臭いとなって気分まで悪くなりそう。そんな時、タイケトメキチと思いつながら、頭に愛の噴霧器でシュツシュツとし、扇風機にしばらくあたっていたら見事に臭いは消え、頭は軽く、気分まですっきり。「私にも体験できた」と、とても嬉しく思いました。

もうひとつ。日々のお粗末な頭をクルクル回して生活しているせいで、忙しく、疲れていきます。特に主婦にとって頑張りどころの夕刻。疲れもピークで、気分は落ちこみ、「泣いても仕様がなし」と自分に言い聞かせて何とか家事をこなす、という日が続いていました。

ここで、「そうだ」と思いつき、タイケトメキチに心を向けて自分に何度かシュツシュツとやると、すんなり動けるようになったのです。

これを習慣にして以来、かなり体調の悪い日があつたにもかかわらず、「泣いても仕様がなない」などと思う事はなくなりました。軽く動けています。

田池先生と出会って、ずい分長い時間が経ちますが、素直でない私は、何につけ、皆さんのようにすつと反応することができません。それがコンプレックスになり、マイナスに向かつてしまふのですが、愛の噴霧器の力も借りて改めようと思つています。

そして、先生の仰言る「絶対評価」という事を励みに、自分の心を見ていきます。

◇ふつくら焼き上がったパン

・家で育てている観葉植物なのですが、水をあげるのを忘れてしまい、水分がカラカラの状態、葉っぱが全て下に垂れ下がってしまつてい

ました。葉っぱに「ごめんね」と「ありがとう」を思いながら、噴霧器でスプレーしました。すぐには反応はありませんでしたが、次の日に見ると、すっかり元気になり、葉っぱはピンピンしていました。下の葉っぱは、まだもう少しといたつた所ですが、思わず嬉しくなり、朝起きると「おはよう」と「ありがとう」と声をかけるようになりました。なんだか葉っぱも「ありがとう」と言ってくれているような感じに思えて、今では、それが日課となりました。

・主人の服が、なぜか洗濯しても、臭いとまではいかないのですが、臭いがします。独特な汗のような臭いです。一人の人に「噴霧器してみたら？」と言われて、「まさか、さすがにこの臭いは消えないだろうな」と思いながらも、やってみました。

驚きました。さつきまでの臭いとは変わり、全く臭いが消えた訳ではありませんが、嫌な臭

いが無くなりました。「嘘でしょ？」と思いがら、何度も臭ってしまいました。服が臭ったときは、ぜひ使いたいと思います。

・朝食べる食パンに、何気なく、噴霧器でスプレーし、トースターに入れました。見た目は変わらないのですが、パンがふっくらとして焼き上がり美味しくなりました。

◇爆発寸前の自分へ向けて

愛の噴霧器を購入したその日、嬉しさで、早速、愛の水素水を作り、真新しい噴霧器に満たして、家中を愛の水素水で噴射して回りました。

そして覚えたての、「ふるさと」を歌いながら、自分自身に向けて噴射すると、前回のセミナーで田池先生に直接、愛の噴霧器で噴射していた「感激の瞬間」がよみがえります。

嬉しいな。自分は、どんなに恵まれた立場に生かされてあるのかを思い、本当に幸せを感じました。

その日の夕食後ことです。あんなに喜んでいたのに、何気ない夫の一言を掴んでしまいました。無性に腹が立って仕方ありません。

いつもの心癖で、肉を基盤に、形で判断し、瞬時に自分を正当化します。

そして戦いの準備をしているのです。

「私は正しい〜」、叫びたいエネルギー抱えながら、用事の振りをして、自分の部屋へ一目散。「どう考えても自分が正しい……」、怒りで爆発寸前の自分へ向けて、愛の噴霧器を二回三回、いや五回六回と噴射しながら、「ふるさと」を口ずさみます。

「ともにとともに帰ろう……」

最初、私は、夫の意識に向けて歌いました。「供養してやるぞ」とばかりに。しかし、歌いながら、気持ちりがドンドン変化してくるんです。何とも

言えない不思議な感覚なんです。確かに歌っているのは私だけけど、もう一人の私が、心の奥より肉の私に向けて歌ってくれるのです。

「帰っておいで我が家に、どんな時も待ってる……」

これが波動……？ 私が、歌えば歌うほどに、やさしい温もりが歌詞と相まって伝わってくるのです。

「とともにともに帰ろう……帰っておいで我が家に、どんな時も待ってる」

本当の私が、肉の私に向けて、「ふるさと」を発してくれるのです。

その優しさと温もりに、思わず号泣してしまいました。

間違っていました。間違っていました。

自分対自分の意識の世界でした。私は意識でした。今、自分との約束を思い出し、その約束を遂行できる過程にありました。

「ふるさと」を歌いながら、愛の噴霧器を浴びながら、心は少しずつ広がっていくことを確認しています。

ありがとうございます。これからも心を見る過程に、大いに活用させていただきます。

◇洗剤容器でミストのかけ合い

噴霧器を申し込む前、心の中のクリアできない思いが詰まって、「実験してみよう」という前向きな思いと、それとは逆の「欲の思い」がいっぱい詰まっていることも納得し、確認の上で「噴霧器」を申し込みました。

マイナスのエネルギーの確認ばかり。プラスに反転出来ない。作り笑いも出来ない自分でした。

噴霧器が届いた日、途端とたんに、心の中が明るくなりました。(理由はわかりませんでした。)

暑く、ムシムシした日が続く中、近所の子供達のなかでは、洗剤容器でミストのかけ合いが流行っていました。

そんな子供達から「おばちゃん」と言って誘われ、私も噴霧器と一緒に参加しました。

子供達の真つ黒に日焼けした笑顔を見ていたら、自分も、自然と笑顔になっていました。

隣にいた主人は、「お前が、ええかつこしーやから、子供らにバカにされて、服がベタベタになっているやないかー」と一言。

心の底から笑ってみよう。本当に自分を見つめていこう、向き合っていこう。

噴霧器が我家に届いてから、自分の中、心の中が、著しく変わっているように思いました。

何度も何度も、噴霧しないと……肉肉肉、無知、エゴ、欲、意識の世界に水素水が浸透していく感覚。

しっかりと心を見る。

つぶさに見る。念じる思い、支配する思い。「こうなったら、あーなったら」と頭を回してきた思い。他力の思いが、続々と出てくる。

嬉しい、嬉しい、なんだか分からないけれど、心の中で喜んでいいる。

殻を突き破るのは、なかなか難しいです。けれど、やめる訳にはいきません。

愛の水素水を噴霧して、心の中は、「嬉しい」と感じています。

しっかりと心を見るように促されて、頑固な、こびりついている自分に、愛の水素水を噴霧しながら、日々、心を見続けていきます。ありがとうございます。気が付きを促してもらえらる喜び、出会い。ありがとう。

◇見えなくなる恐怖

愛の噴霧器が届いた次の日のことです。夕食の準備をしていると、急に、痛くはないのですが、目の中に雷の閃光のような光が走って、とても目が見えにくくなりました。目を瞑^{つむ}つても、その閃光は消えることはありません。

「何で？ 如何^{どう}して？」と、私は恐怖を感じました。もう眼科は開いてないし、「明日になっても治らなかつたら眼科に行こう」と思いました。

私は十八年程前に、白内障で手術をしているので、「それが原因かな？」とか、いろいろ思いました。

そして、何より「目が見えなくなるのでは……？」という恐怖を身体全体に感じました。

その時です。「アッ！ 愛の噴霧器」と思い、自分の目に噴射しました。そして、私の中に恐怖の思い、肉が無くなっていく恐怖の思いが、こ

んなに詰まっていることを改めて感じました。

「ああ、私は本当に何もしてこなかった。こんな苦しい心があるのに、何も見てこなかった。」

そう思うや、「ただただ、申し訳ない」という思いが込み上げ、涙が出ました。

しばらくして目を開けてみました。

あんなに眩^{まぶ}しくて見えずらかったのに、今は楽に見えます。目を瞑^{つむ}つても、あの閃光がありません。「あれは何だったんだろう？」と思いました。

今現在も、今までと変わらず楽に見えています。本当にありがとうございました。



ニューヨーク ワシントン広場

体験文集 Vol.3 【秋号】

初版発行 2014年9月21日

編者 **UTAブック**
編集協力 宇野敏一／岡田有弘
装丁 金子 互
電子図書製作 **DEP** (株式会社シルクふぁみりい)
発行 **UTAブック** (株式会社シルクふぁみりい)
大阪府南河内郡河南町大宝 3-10-15
TEL FAX 0721-21-4712
印刷・製本 モリモト印刷株式会社

© UTA-BOOK, Printed in Japan 2014